

【石川県地域がん情報管理事業報告書】

# 石川県におけるがん登録

(平成16年標準集計・平成12年罹患者生存率集計)

平成20年3月

石 川 県



# 目 次

<b>I 石川県地域がん情報管理事業の概要</b> .....	<b>1</b>
1 目 的 .....	1
2 実施体系の概要 .....	3
3 届出・登録・集計対象となる悪性新生物 .....	5
<b>II 地域がん登録の評価（登録精度）</b> .....	<b>6</b>
1 届出の精度 .....	6
2 診断の精度 .....	7
<b>III 罹患集計</b> .....	<b>8</b>
1 罹患数、罹患率、年齢調整罹患率 .....	8
2 年齢階級別罹患率 .....	12
<b>IV 死亡集計</b> .....	<b>17</b>
1 死亡数、死亡率、年齢調整死亡率 .....	17
2 年齢階級別死亡率 .....	21
<b>V 受療状況</b> .....	<b>23</b>
1 来院の動機 .....	23
2 自覚症状の有無 .....	24
3 病巣のひろがり .....	25
4 診断方法 .....	26
5 治療方法 .....	28
<b>VI 地域特性</b> .....	<b>32</b>
1 医療圏別罹患率及び死亡率 .....	32
2 医療圏別年齢調整罹患率及び年齢調整死亡率 .....	36
<b>VII 全国推計値との比較</b> .....	<b>40</b>
1 罹患率の比較 .....	40
2 年齢調整罹患率の比較 .....	42
3 死亡率の比較 .....	43
4 年齢調整死亡率の比較 .....	44
<b>VIII 生存率集計</b> .....	<b>45</b>
1 生存率集計対象及び方法 .....	45
2 生存率の概要 .....	46
3 生存率と受療状況 .....	49
<参考>二次医療圏域 .....	50

# 付 表

## I 罹患集計関係

表 1-1	罹患数、罹患率、年齢調整罹患率	51
表 1-2	部位別罹患率経年変化(平成4年～16年)	51
表 1-3	部位別年齢調整罹患率経年変化(平成4年～16年)	52
表 1-4	年齢階級別罹患率	53
表 1-5	年齢階級別罹患率	55
表 1-6	年齢階級別罹患順位及び罹患数	57

## II 死亡集計関係

表 2-1	死亡数、死亡率、年齢調整死亡率	58
表 2-2	部位別死亡率経年変化(平成4年～16年)	58
表 2-3	部位別年齢調整死亡率経年変化(平成4年～16年)	59
表 2-4	年齢階級別死亡率	60

## III 受療状況関係

表 3-1	来院の動機	62
表 3-2	自覚症状の有無	63
表 3-3	病巣のひろがり	64
表 3-4	診断方法	65
表 3-5	治療方法	66
表 3-6	手術	67

## IV 地域特性

表 4-1	医療圏別罹患数、罹患率、年齢調整罹患率 死亡数、死亡率、年齢調整死亡率	68
-------	--	----

## V 全国推計値との比較関係

表 5-1	罹患率の比較	72
表 5-2	年齢調整罹患率の比較	72
表 5-3	死亡率の比較	73
表 5-4	年齢調整死亡率の比較	73

## VI 生存集計関係

表 6-1	部位別、性別5年生存率(累積生存率、相対生存率)	74
表 6-2	検診群、非検診群別累積5年生存率	74
表 6-3	病巣のひろがり別累積5年生存率	74

## 資 料

石川県地域がん情報管理事業実施要綱	75
石川県地域がん情報管理事業実施要領	76
石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領細則	77
石川県地域がん情報管理事業業務区分	79
障害対策及びセキュリティ対策	80
石川県生活習慣病検診等管理指導協議会設置要綱	81
石川県生活習慣病検診等管理指導協議会委員名簿	83
石川県悪性新生物届出票	84
記入・届出上の留意事項	85
石川県がん情報管理事業におけるがん登録届出医療機関名及び届出数	87

# I 石川県地域がん情報管理事業の概要

- 1 目的
- 2 実施体系の概要
- 3 届出・登録・集計対象となる悪性新生物

## 1 目的

がん(悪性新生物)は、図1に示すとおり、死亡原因の第1位を占めており、また増加の一途をたどっている。その対策を実効的かつ効率的に推進することは、県民の健康の保持・増進を図る上で極めて重要な課題である。そのためには「がん登録」によってがん罹患数等を的確に把握し、がんに関する動向、地域性等を踏まえて、がん対策を検討・実施することが必要不可欠である。

石川県地域がん情報管理事業では、県内で発症したがんについてその発病から治癒または死亡に至るまでの全経過に関する医療情報を多方面から集め、個々の悪性新生物ごとに集約し、これらの情報を使用して、次の諸活動に資することとしている。

- (1) がん登録統計<sup>※</sup>の作成、解析、報告
  - ① 罹患数の集計及び罹患率の動向の把握
  - ② 受療状況の把握
  - ③ 生存率の動向の把握
  - ④ がん登録統計の解析と報告
- (2) がん統計<sup>※※</sup>の活用
  - ① がんの予防、医療活動の企画と評価
  - ② 医療施設における対がん活動の援助
  - ③ がん予防、医療活動の普及、啓発
  - ④ 生活習慣、生活環境のモニタリングの一環
- (3) 地域がん情報の活用
  - ① がん検診の精度評価
  - ② 医療施設におけるがん医療の評価の支援
  - ③ 疫学研究への活用

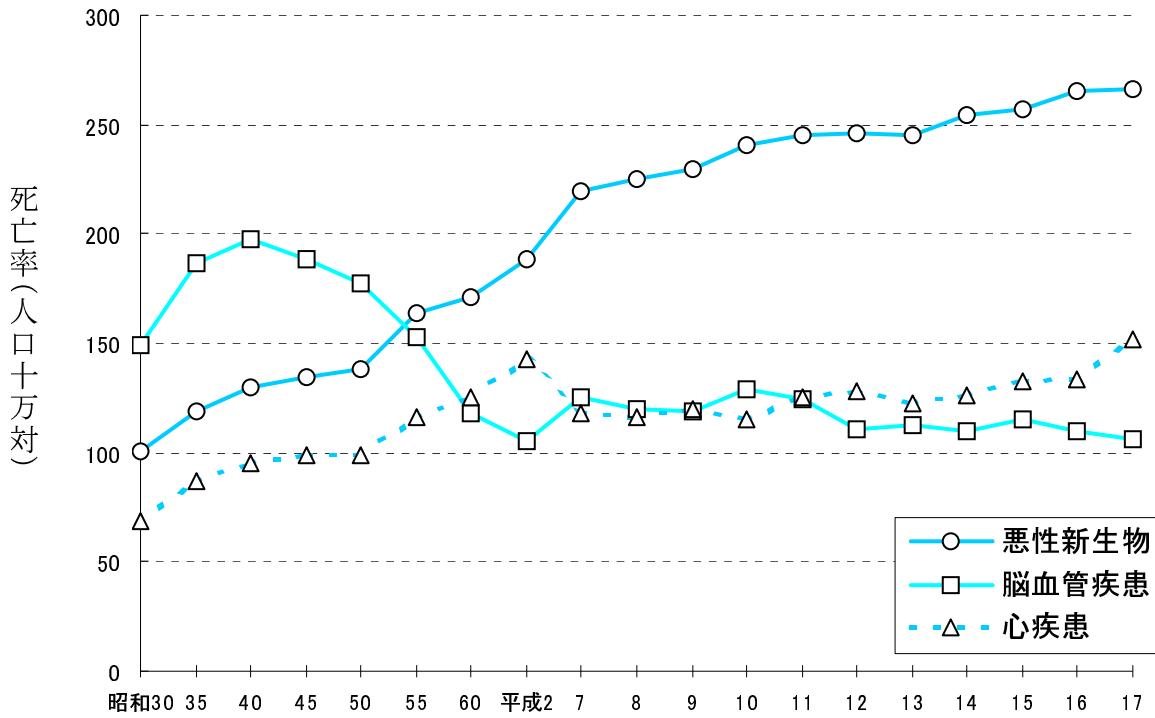
---

### 注) 用語の定義

※ がん登録統計とは、がん登録(主治医や検診機関からの届出)によって集計される統計をいう。

※※ がん統計とは、上記のがん登録統計にがん死亡(人口動態調査死亡票によるもの)統計を加えた統計をいう。

図1 石川県の死因別死亡率の年次推移



【参考】平成7年に死因分類国際統計分類第10回修正 ICD-10 及び死亡診断書の改正（「疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。」の注意書きが加えられた。）等の変更があった。

## 2 実施体制の概要

### (1) 実施体制

この事業は、平成3年(1月から試行、10月から本格実施)から、石川県が実施主体となり社団法人石川県医師会、県内全医療施設及び金沢市保健所の協力を得て実施している(p4、実施体制図参照)。

### (2) 事業の精度管理・評価、プライバシー保護等に関する指導、助言

地域がん情報管理事業を進めるにあたり「石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会」において、がん登録資料の利用に際し、個人の秘密保護及び情報管理に必要な事項を審議する。また、集計、解析結果の評価及びがんの動向等について専門的見地からの指導、助言を求めている(p4、実施体制図参照)。

### (3) 地域がん情報の収集・集計・解析・報告等の方法

「地域がん情報」には大きく分けて①がん罹患・受療情報、②がん死亡情報、の2種類がある。このうち、がん罹患・受療情報の収集は県医師会に委託している。県医師会は県内医療施設の医師から届出される「石川県悪性新生物届出票」を精査、補足し、届出票の内容を入力している。

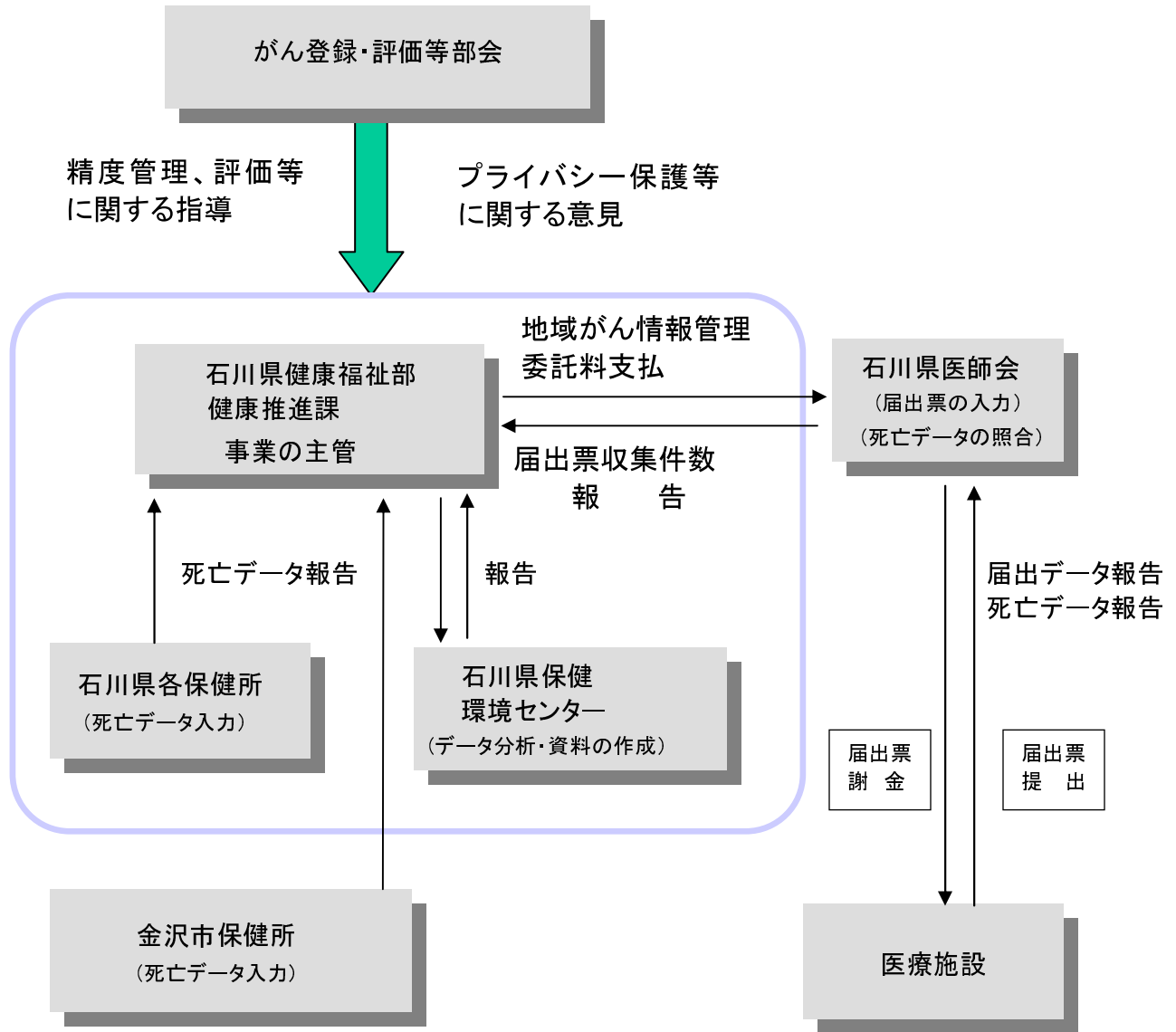
一方、がん死亡情報は県保健所及び金沢市保健所が人口動態調査死亡票の内容を入力し、県健康推進課がそれをとりまとめ、県医師会に送付する<sup>注)</sup>。

県医師会は罹患情報と死亡情報との照合、同定を行い、当事業の対象情報を登録する。登録情報は、県保健環境センターに送付され、そこで罹患数(率)、受療状況、生存率等について集計、解析する。その結果は県健康推進課が報告書として公表する。

---

注) 死亡票の使用に関して厚生労働省「指定統計調査調査票使用」の許可を得て行っている。

# 地域がん情報管理事業の実施体制図





### 3 届出・登録・集計対象となる悪性新生物

#### (1) 登録対象者

県内に住み、県内医療施設において登録対象がんに罹患したと診断された者及びそれによる死亡者を対象とする（外国人を含む）。その登録は次の2つのルートによる。

##### ① 罹患患者の登録

県内医療施設が登録対象がんの患者を診断した場合に提出される「石川県悪性新生物届出票」（以下、「届出票」という。）を県医師会で収集しその内容を入力する。

##### ② 死亡患者の登録

保健所で人口動態調査死亡票（以下、「死亡票」という。）を収集しその内容を入力する。

#### (2) 対象となる悪性新生物

届出対象となる悪性新生物の範囲は「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正（ICD-10）」のうち原発部位が表1に記載した男性8部位、女性10部位（以下、「登録部位」という。）とした。

なお、当事業は精度管理等の観点から男性8部位、女性10部位で開始したが、その罹患数合計は、全国推定罹患数（「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」平成10年度報告書：主任研究者 大島明）により試算すると、全部位の罹患数合計に対し、男性75.0%、女性82.0%を占める。

#### (3) 人口及び標準人口

罹患率・死亡率の計算には、国勢調査年次は国勢調査人口を用い、中間年は石川県推計人口を用いた。年齢調整の標準人口には昭和60年モデル人口を用いた。

#### (4) 平成16年標準集計

登録された悪性新生物のうち、平成16年1月1日から平成16年12月31日の間に罹患日を持つもの（死亡票のみで登録されたがんについては、死亡日を罹患日とした。）について、集計・解析した<sup>注)</sup>。

注) 厚生省「地域がん登録」研究班「地域がん登録の手引き-改訂第3版」(1988)において、罹患数集計は登録精度向上のため集計対象年から2年経過した後に行うとしている。

表1 届出対象部位

国際基本分類 (ICD-10)	種 別
C16	胃の悪性新生物
C18	結腸の悪性新生物
C20、C19、C21	直腸、直腸S状結腸移行部及び肛門の悪性新生物
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物
C23、C24	胆のう(嚢)及び肝外胆管の悪性新生物
C25	膵の悪性新生物
C33、C34	気管、気管支及び肺の悪性新生物
C50(女)、D05(女)	女性乳房の悪性新生物
C55、C53、C54、D06	子宮の悪性新生物
C73	甲状腺の悪性新生物

## II 地域がん登録の評価（登録精度）

- 1 届出の精度
- 2 診断の精度

### 1 届出の精度

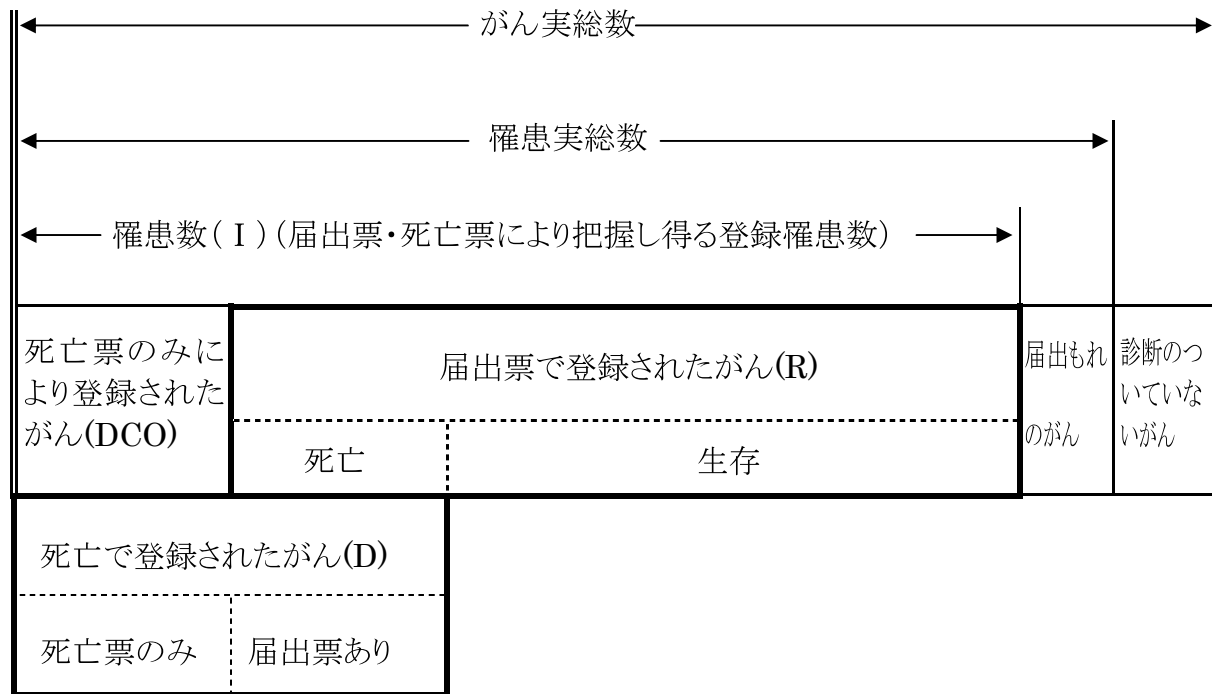
#### (1) 死亡票のみによる登録の割合＝DCO割合（Death Certificate Only）<sup>注1)</sup>

平成 16 年中の罹患数は 3,011(平成 15 年 2,733)、そのうち死亡票のみによる登録数は 1,635(同 1,645)、DCO割合は 54.3%(60.2%)であり、平成 15 年より 5.9 ポイント減少した。

#### (2) 罹患数とがん死亡数との比＝I / D 比（Incidence / Death）<sup>注2)</sup>

平成 16 年中の罹患数は 3,011(平成 15 年 2,733)、死亡数は 2,398(同 2,317)で、I / D 比は 1.26(同 1.18)となっている。

図2 がん総数と登録数



注1) 届出の精度は、対象地域の実際の罹患数のうち、どれだけが登録されているかによって判断すべきであるが、これを常時調査することは容易ではない。そこで、「罹患数の中で、死亡票のみで登録されたものがどれだけあるか(DCOの割合)」によって測定する方法が諸外国で広く用いられている。この指標は、生存例の届出もれの程度を間接的に示す負の指標であり、数字が小さいほど届出もれが少ないと考えられ、この率が20%未満になることが一応の目標とされている。

(厚生省地域がん登録研究班「地域がん登録の手引き」改訂第4版(1999)より)

注2) 罹患数の信頼度の指標として、「罹患数とがん死亡者数との比」も観察する必要がある。全がんについてこの比の値が 1.5 以下の場合、届出もれのあることが推定される。

(厚生省地域がん登録研究班「地域がん登録の手引き」改訂第4版(1999)より)

## 2 診断の精度

### 組織診で確かめられた者の割合<sup>注)</sup>

平成16年の罹患数は3,011(平成15年2,733)、組織診実施数は1,255(同847)、組織診で確かめられた者の割合は41.7%(同31.0%)であり、平成15年より10.7ポイント増加した。

また、罹患数のうちDCOを除いたものを分母とした、組織診で確かめられたものの割合は91.2%(同77.8%)であり、平成15年より13.4ポイント増加した。

注) がんの診断は、最終的には組織診による。そこで、国際的には、組織診で確かめられたがんが、登録した罹患数の中でどれだけを占めるかを調べ、これを診断精度の指標としている。

また、届出のない(死亡票のみ)がんについては、組織診が行われたかどうか明確でない場合が多いため、届出票のあるもの(罹患数のうちDCOを除いたもの)を分母とし、組織診のあるものを分子として、この割合を求める方法もとられている。

表2 石川県における登録精度総括表(平成4年から16年)

	罹患数		組織診実施数 (H)	死亡数 (D)	届出精度		診断精度	
	(I)	死亡票のみで登録された数 (DCO)			DCO割合 (DCO/I) (%)	I/D値 (I/D)	組織診で確かめられた者の割合 (H/I) (%)	DCOを除いた者を分母とした組織診で確かめられた者の割合 (H/R) (%)
H16	3,011	1,635	1,255	2,398	54.3	1.26	41.7	91.2
H15	2,733	1,645	847	2,317	60.2	1.18	31.0	77.8
H14	3,125	1,600	1,224	2,317	51.2	1.35	39.2	80.3
H13	2,998	1,553	1,173	2,237	51.8	1.34	39.1	81.2
H12	2,947	1,524	933	2,256	51.7	1.31	31.7	65.6
H11	3,180	1,425	1,164	2,227	44.8	1.43	36.6	66.3
H10	3,229	1,401	1,214	2,189	43.4	1.48	37.6	66.4
H9	3,262	1,377	1,172	2,092	42.2	1.56	35.9	62.2
H8	3,189	1,343	1,222	2,078	42.1	1.53	38.3	66.2
H7	3,290	1,295	1,292	1,994	39.4	1.65	39.3	64.8
H6	3,337	1,056	1,504	1,885	31.6	1.77	45.1	65.9
H5	3,274	1,136	1,432	1,847	34.7	1.77	43.7	67.1
H4	3,263	1,206	1,311	1,793	37.0	1.82	40.2	63.7

I=罹患数      DCO=罹患数中死亡票のみで登録されているもの

H=組織診実施数      D=死亡数

R=罹患数中届出票で登録されているもの((I)-(DCO))

### 【参考】登録精度の全国状況(平成12年)

厚生省がん研究助成金「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」平成15年度報告書(主任研究者 大島 明)によれば、全国13府県市の登録精度の平均値は以下のとおりである。

DCO/I : 19.9% (5.6% - 36.3%)      I/D : 1.79 (1.53 - 2.45)

H/I : 68.5% (51.0% - 86.4%)      H/R : 85.4% (65.1% - 96.0%)

### Ⅲ 罹患集計

#### 1 罹患数、罹患率、年齢調整罹患率

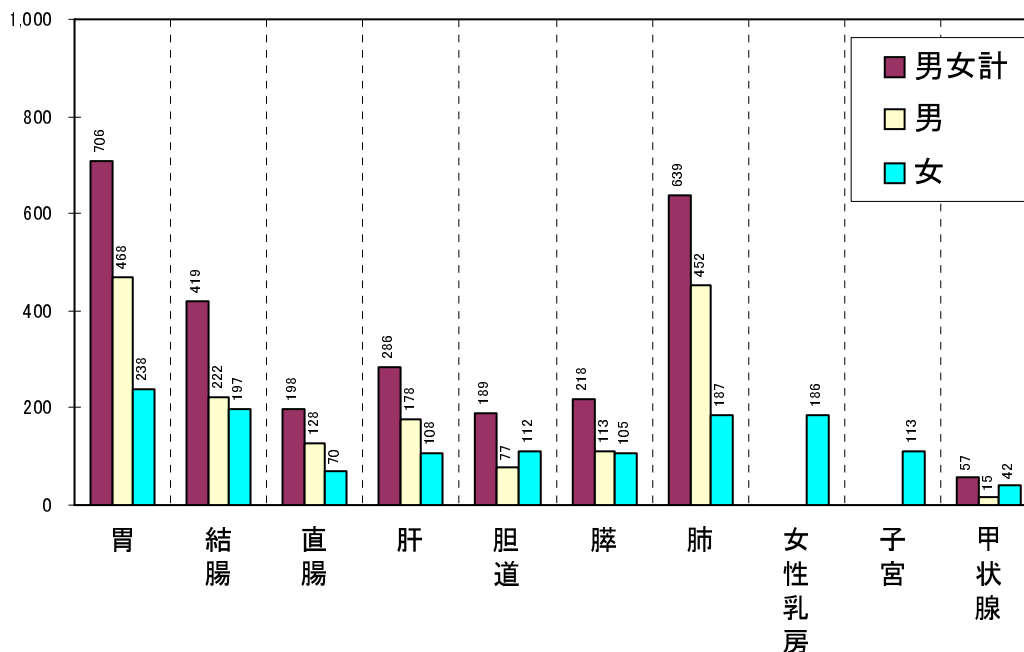
#### 2 年齢階級別罹患率

#### 1 罹患数、罹患率、年齢調整罹患率

##### (1) 罹患数（付表 1-1）

平成16年の罹患数は、男女計3,011(男8部位、女10部位合計)であり、男は1,653(8部位)、女は1,358(10部位)であった。部位別では、胃(706)、肺(639)、結腸(419)の順であった。また、結腸と直腸をあわせて大腸とすると、胃(706)、肺(639)、大腸(617)の順であった。性別では、男は胃(468)、肺(452)、結腸(222)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(350)とすると胃、肺、大腸の順であった。女は胃(238)、結腸(197)、肺(187)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(267)とすると、大腸、胃、肺の順であった。

図3-1 罹患数

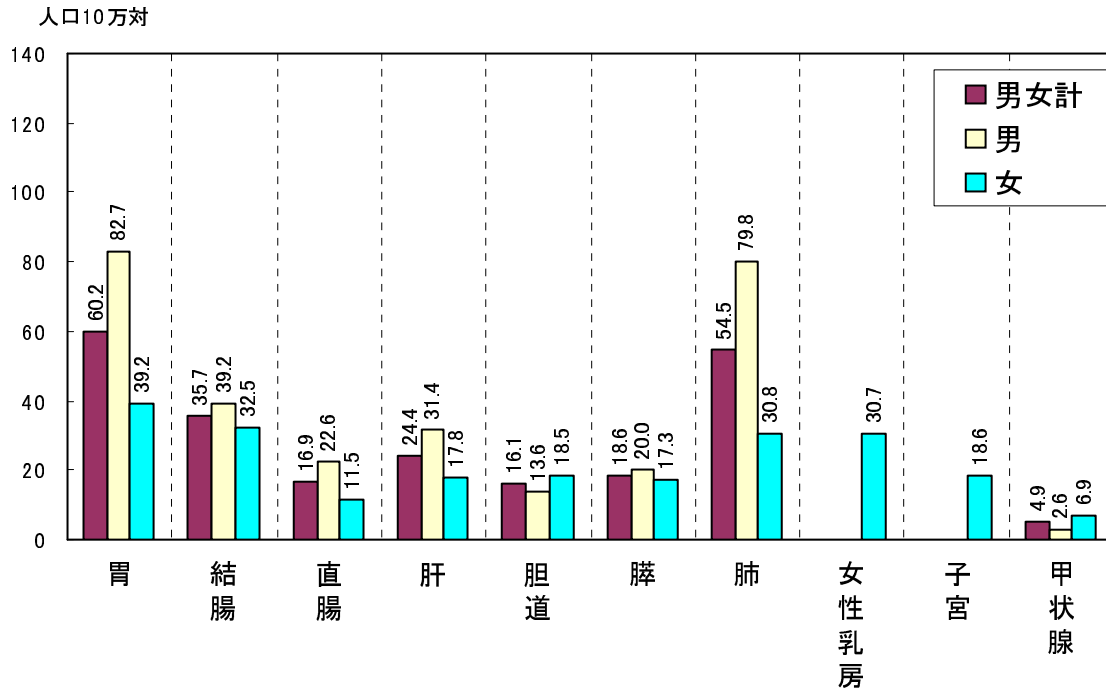


##### (2) 罹患率（付表 1-1）

平成16年の罹患率(人口10万対)は男女計で胃(60.2)、肺(54.5)、結腸(35.7)の順であった。また、結腸と直腸をあわせて大腸(52.6)とすると胃、肺、大腸の順であった。

性別では、男は胃(82.7)、肺(79.8)、結腸(39.2)、肝(31.4)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(61.8)とすると胃、肺、大腸の順となる。女は胃(39.2)、結腸(32.5)、肺(30.8)、乳房(30.7)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(44.0)とすると大腸、胃、肺の順であった。

図3-2 罹患率

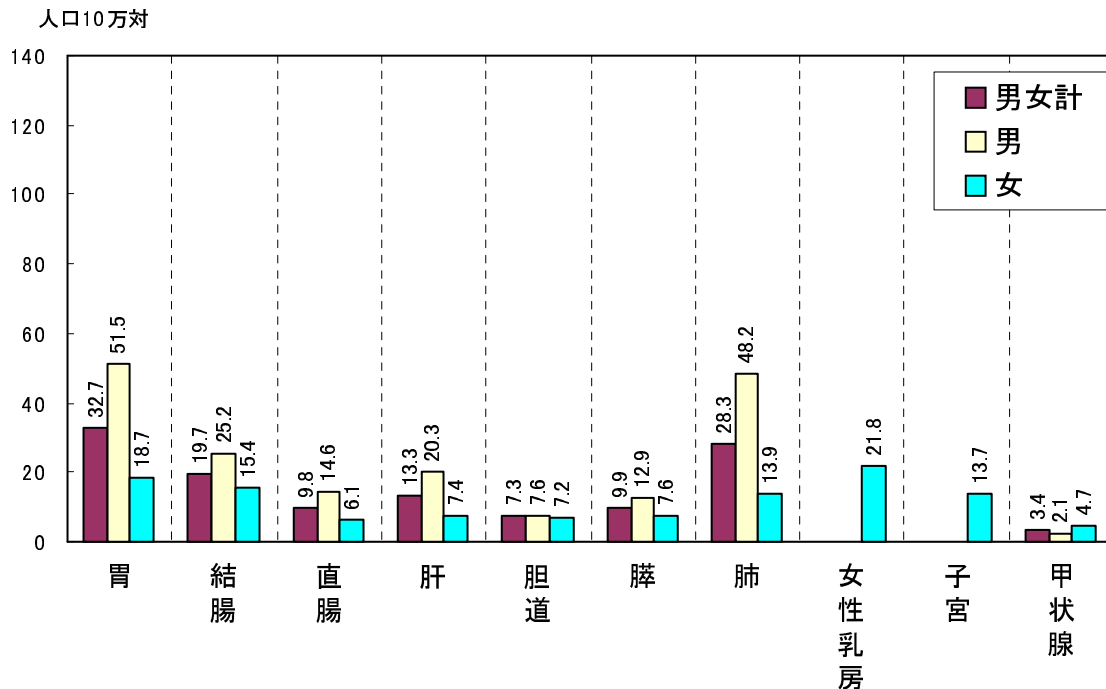


(3) 年齢調整罹患率 (付表 1-1)

直接法による年齢調整罹患率(人口 10 万対、昭和 60 年モデル人口使用)は、男女計では、胃(32.7)、肺(28.3)、結腸(19.7)の順になっており、結腸と直腸をあわせて大腸(29.5)とすると胃、大腸、肺の順であった。

性別では、男は胃(51.5)、肺(48.2)、結腸(25.2)、肝(20.3)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(39.8)とすると胃、肺、大腸の順となる。女は乳房(21.8)、胃(18.7)、結腸(15.4)、肺(13.9)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(21.5)とすると乳房、大腸、胃の順となる。

図3-3 年齢調整罹患率

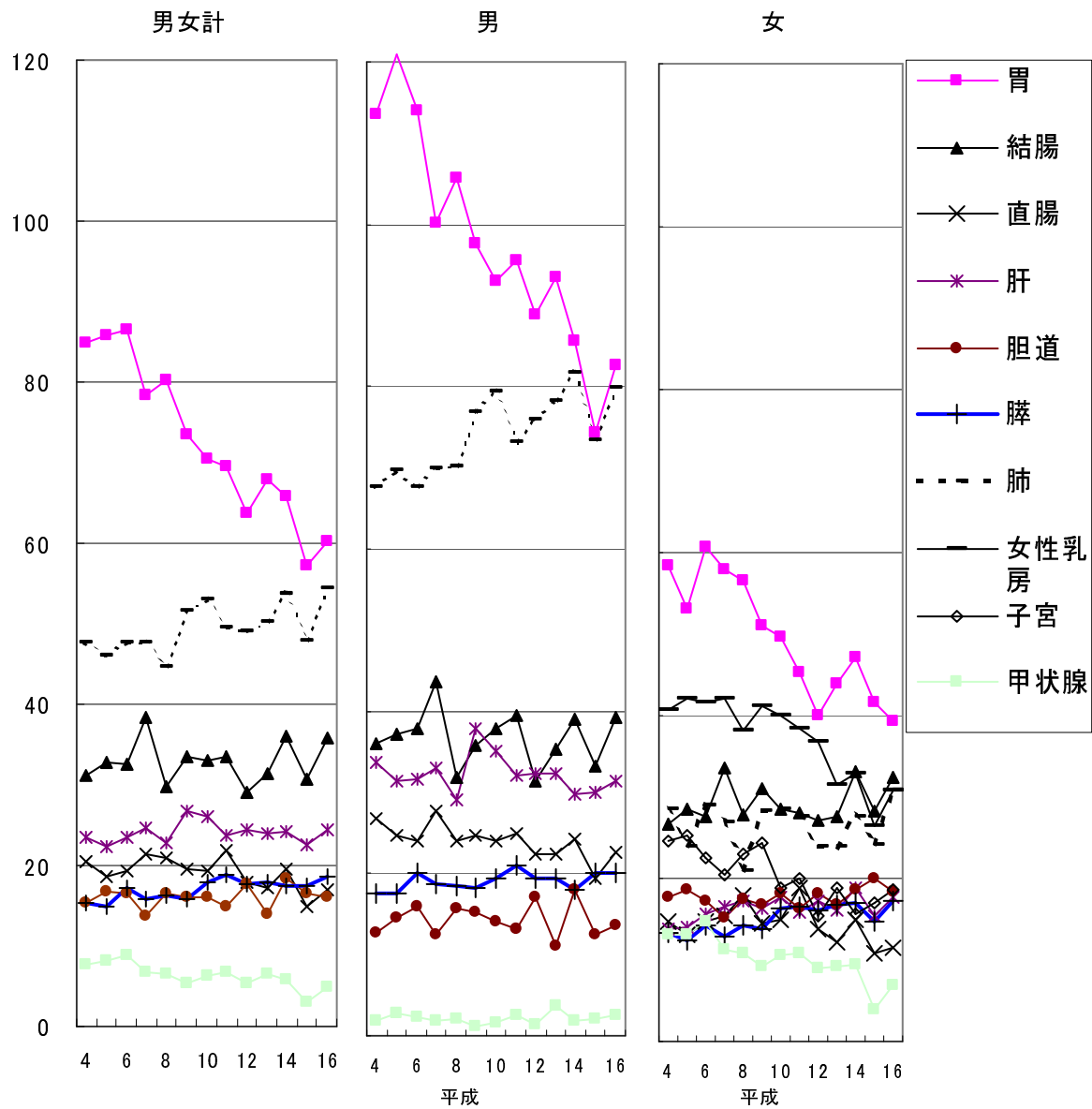


(4) 罹患率の経年変化(平成4年~16年)(付表1-2)

全体的には胃が減少傾向にあるように見えるが単年度の変動が大きい一概には言えない。

図3-4 罹患率の経年変化

人口10万対

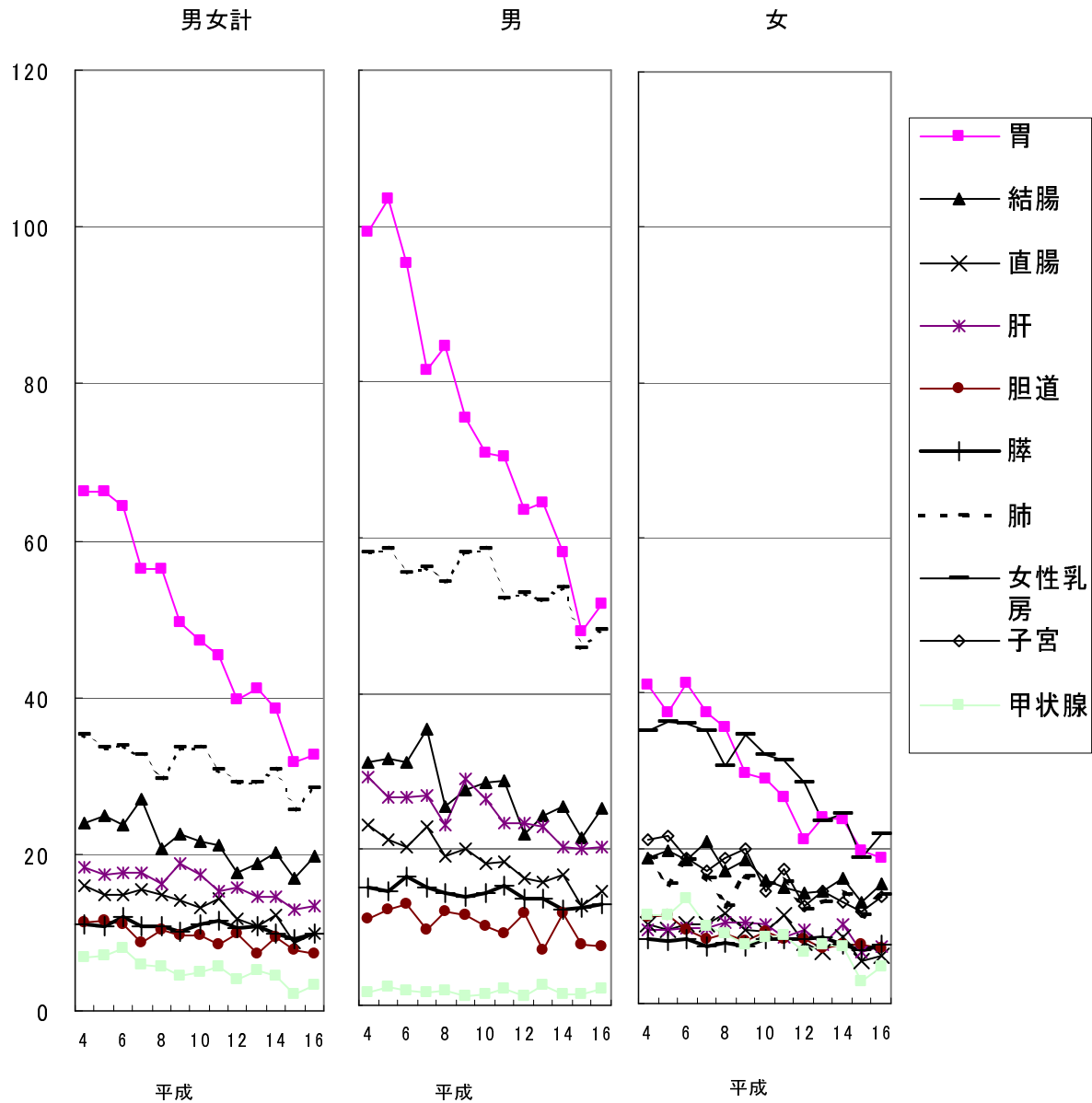


(5) 年齢調整罹患率<sup>注)</sup>の経年変化(平成4年~16年) (付表 1-3)

男女とも胃が減少傾向にある。

図 3-5 年齢調整罹患率の経年変化

人口 10 万対



注) 罹患数を全人口で割ったものが(粗)罹患率であるが、(粗)罹患率は高齢者が多い方が高い罹患率を示しやすいため、地域比較や経年比較をするには適切な指標とはいえない。そこで、年齢構成を基準人口に補正して計算したのが年齢調整罹患率である。

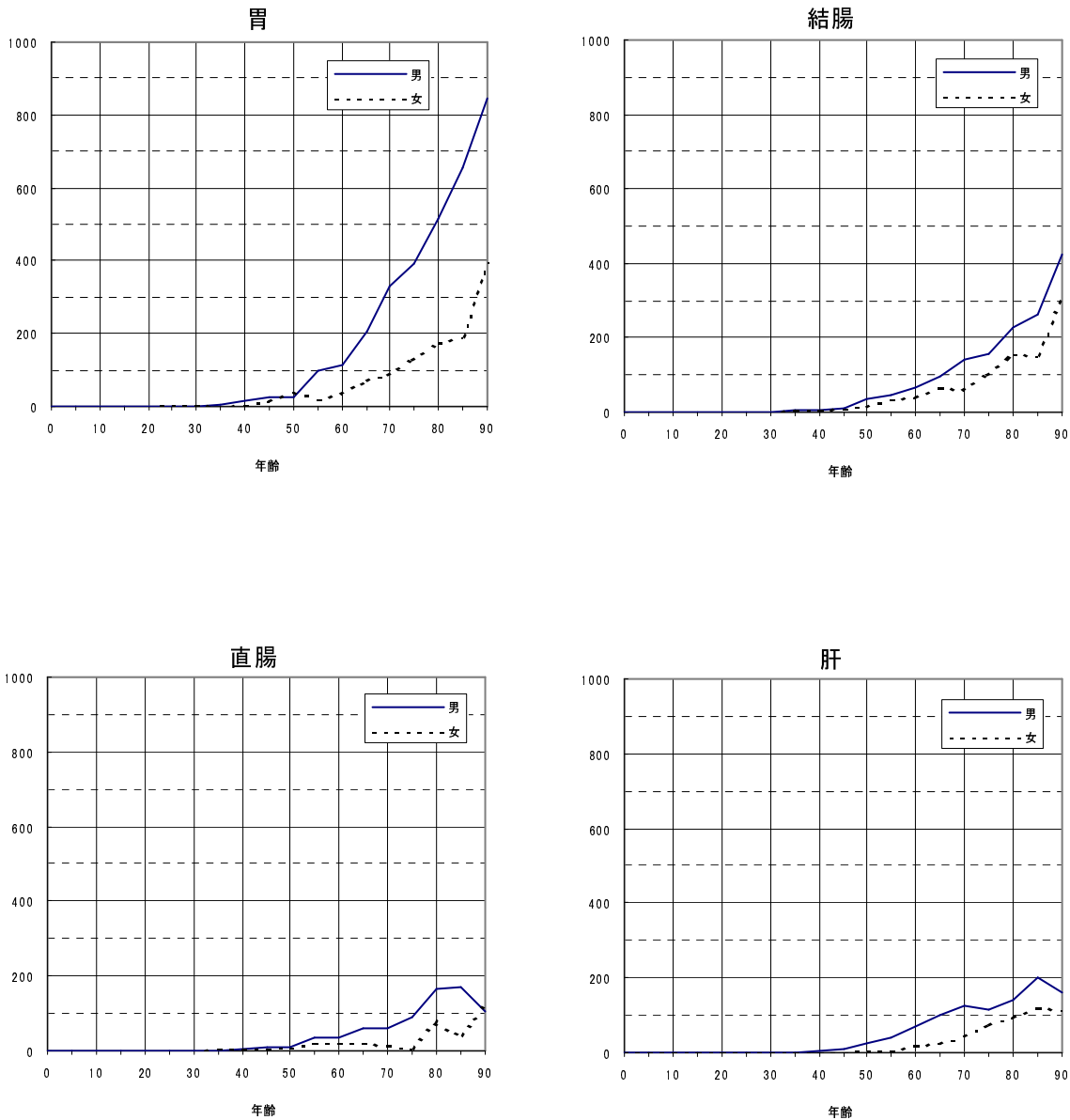
## 2 年齢階級別罹患率

### (1) 年齢階級別罹患率（付表 1-5）

男女ともほぼ加齢に従って増加の傾向を示している。特に肺、胃においては加齢とともに急激な増加を示している。

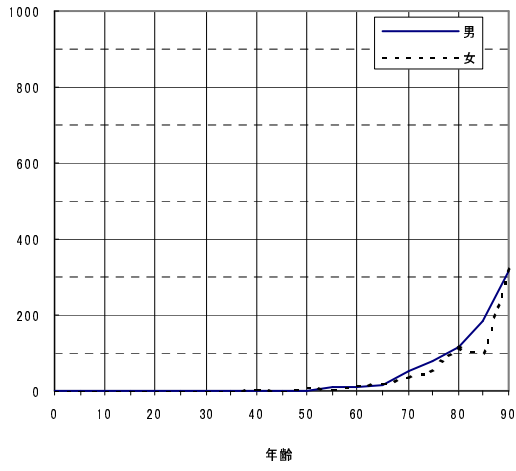
女では、乳房及び子宮は加齢による変化が少ない。

図 3-6 男女別年齢階級別罹患率(人口 10 万対)

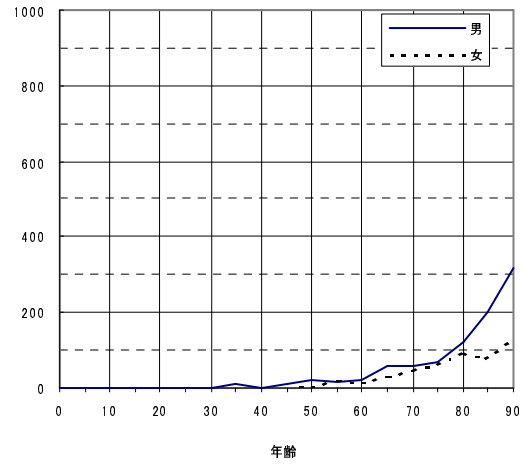




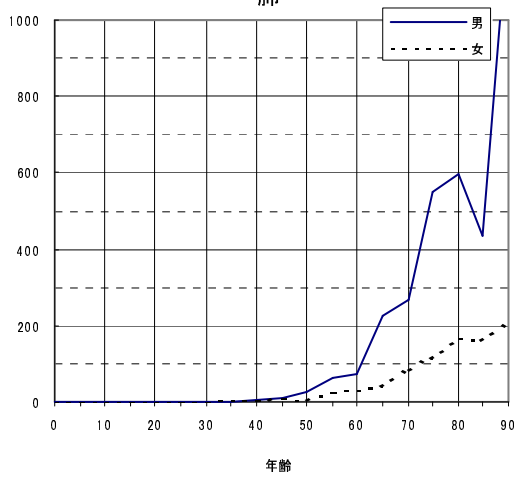
胆道



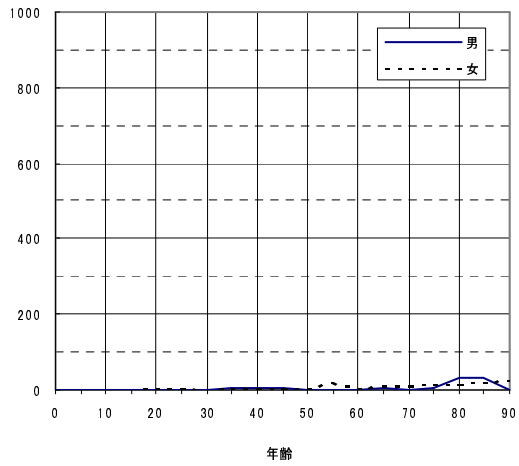
脾



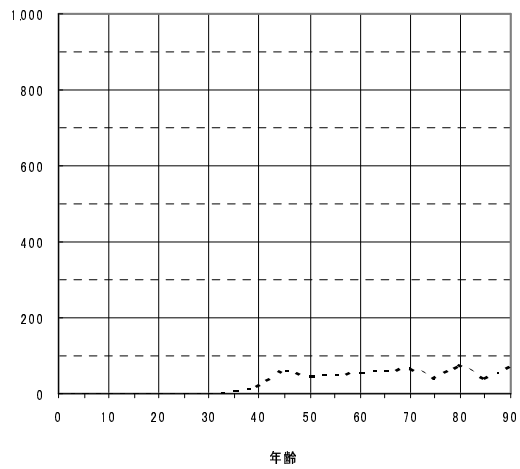
肺



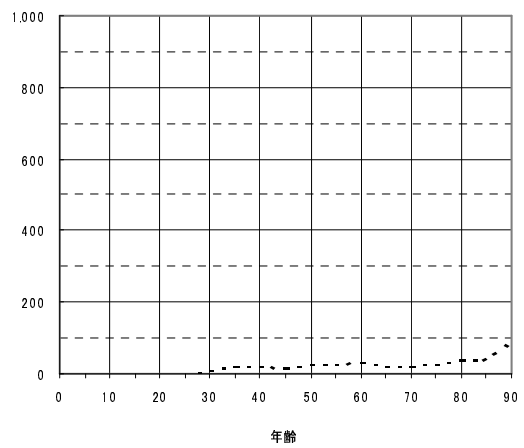
甲状腺



女性乳房



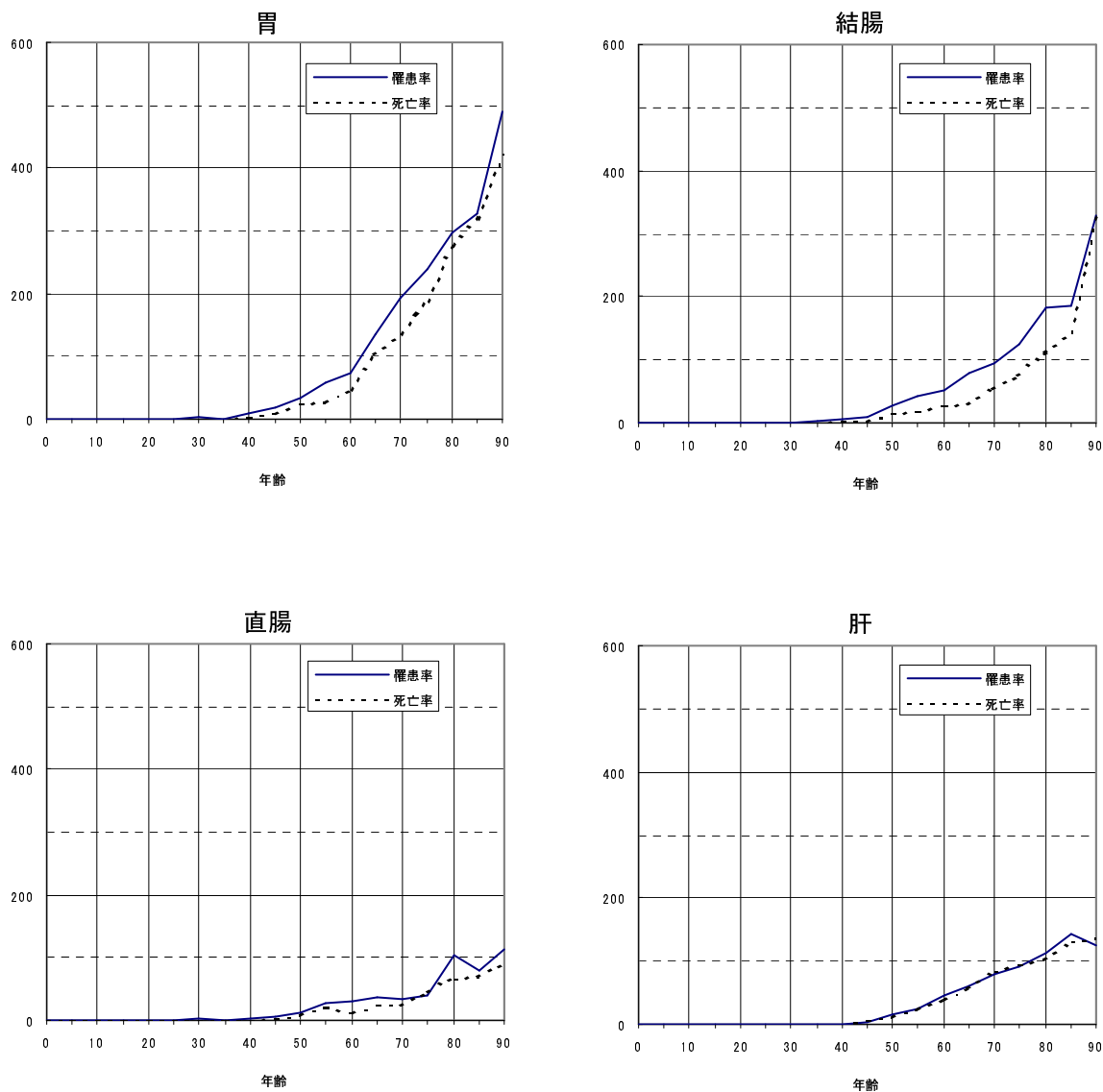
子宮



## (2) 年齢階級別罹患率、死亡率比較（付表 1-5、2-4）

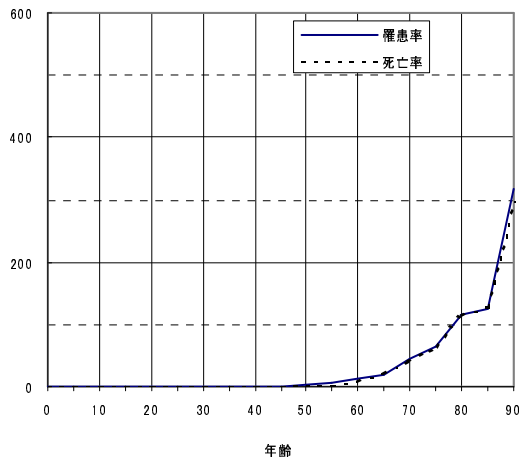
死亡に関する集計結果はIV章で記載するが、部位別の年齢階級別罹患率と死亡率の比較は図 3-7 のとおりであった。

図 3-7 年齢階級別罹患率、死亡率（男女計）（人口 10 万対）

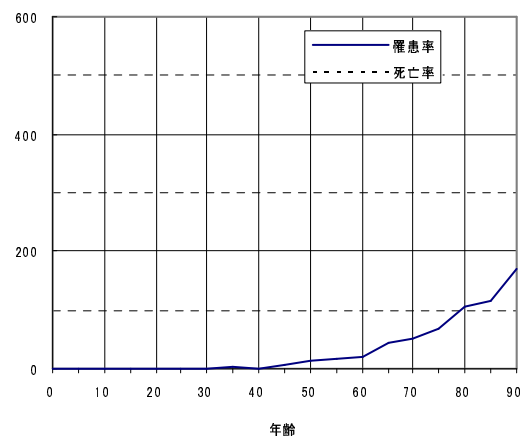


注) 罹患率と死亡率は同一年内の比較であり、罹患者群と死亡者群が同一集団ではないため、死亡率が罹患率を上回る場合がある。

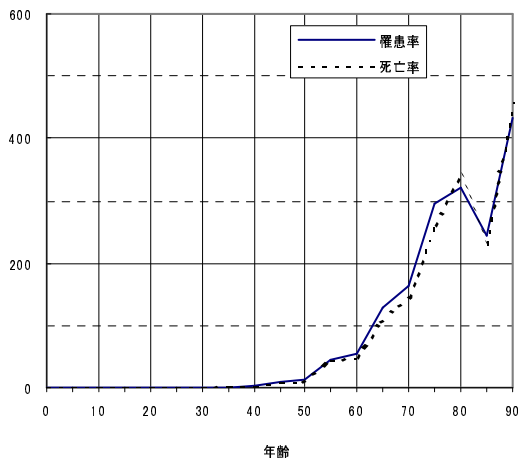
胆道



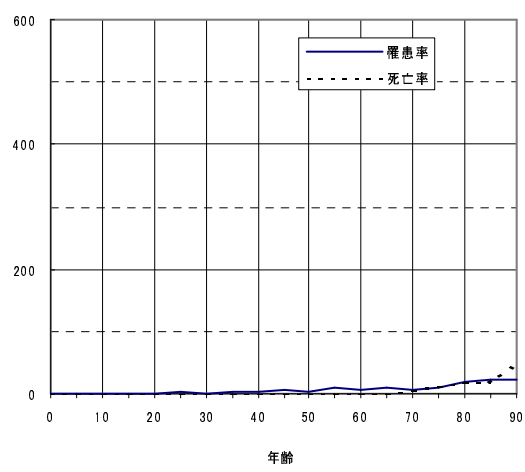
膵



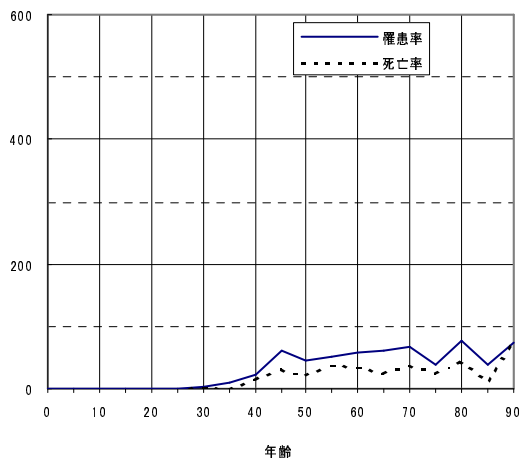
肺



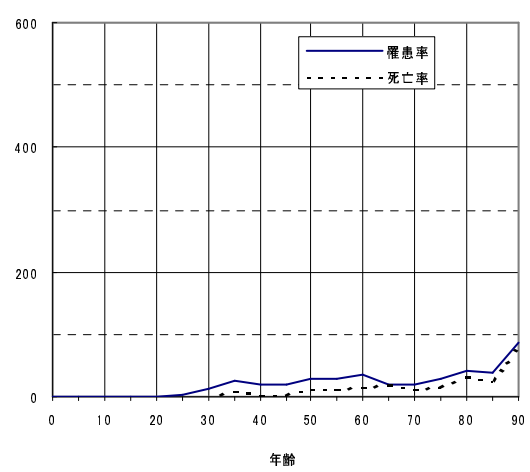
甲状腺



女性乳房



子宮



注) 女性乳房及び子宮の母数は、女性人口

### (3) 死亡数に対する罹患数の割合

死亡数に対する罹患数の割合を部位別にとりまとめた(表3)。この割合は部位ごとの生存率の相対的な大小の傾向を示唆するものであり、割合の大きい方が生存率が高いことを示唆すると考えられる。

男女計で最も高いのは甲状腺であり、次いで結腸、直腸、胃といった消化管が続き、膵、肝、胆道、肺は1に近い値となっている。女性の子宮、乳房も高い値となっており、生存率が高いことを示唆している。

表 3 死亡数に対する罹患数の割合

	男女計	男	女
胃	1.31	1.30	1.33
結腸	1.70	1.85	1.56
直腸	1.42	1.41	1.46
肝	1.01	0.97	1.09
胆道	1.04	1.03	1.06
膵	0.92	0.86	1.00
肺	1.09	1.07	1.13
女性乳房			1.74
子宮			2.05
甲状腺	2.28	2.50	2.21

# IV 死亡集計

## 1 死亡数、死亡率、年齢調整死亡

### 2 年齢階級別死亡率

#### 1 死亡数、死亡率、年齢調整死亡率

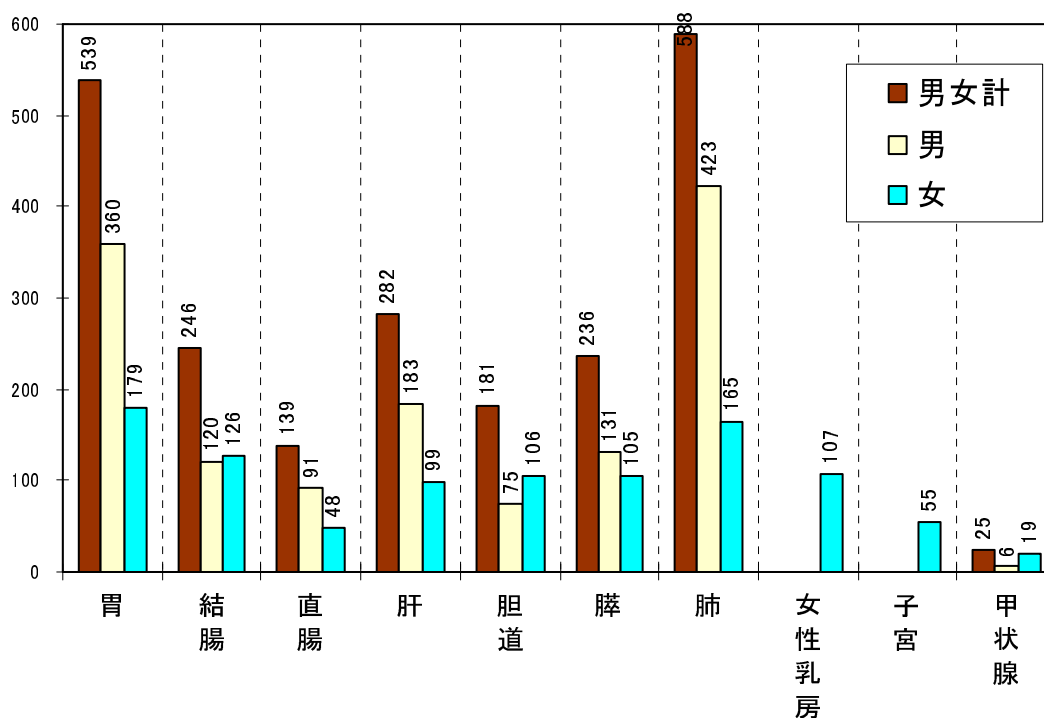
##### (1) 死亡数（付表 2-1）

平成 16年のがん死亡数は男女計で 2,398(男8部位、女 10 部位合計)であり<sup>注)</sup>、部位別では肺(588)、胃(539)、肝(282)、結腸(246)の順になっており、結腸と直腸をあわせて大腸(385)とすると肺、胃、大腸の順となる。

性別では、男は 1,389であり、部位別では肺(423)、胃(360)、肝(183)、膵(131)の順になっており、結腸と直腸をあわせて大腸(211)とすると肺、胃、大腸の順となる。

女は 1,009であり、部位別では胃(179)、肺(165)、結腸(126)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸(174)とすると胃、大腸、肺の順となる。

図 4 - 1 死亡数



注) データには外国人を含めているため、衛生統計年報(平成 16 年、石川県健康福祉部)の数値とは一部異なる。

## (2) 死亡率、年齢調整死亡率（付表 2-1）

死亡率(人口 10 万対)は、男女計で最も高いのは肺(50.1)、胃(46.0)、肝(24.1)の順となっている。性別で見ると、男の部位別では肺(74.7)、胃(63.6)、肝(32.3)の順となっている。女の部位別では胃(29.5)、肺(27.2)、結腸(20.8)の順となっている。

直接法による年齢調整死亡率(昭和 60 年モデル人口使用)は、前記死亡率と男女計・男性の順位は同じであるが、女の順位は胃、乳房、肺の順となっている。

図 4-2 死亡率

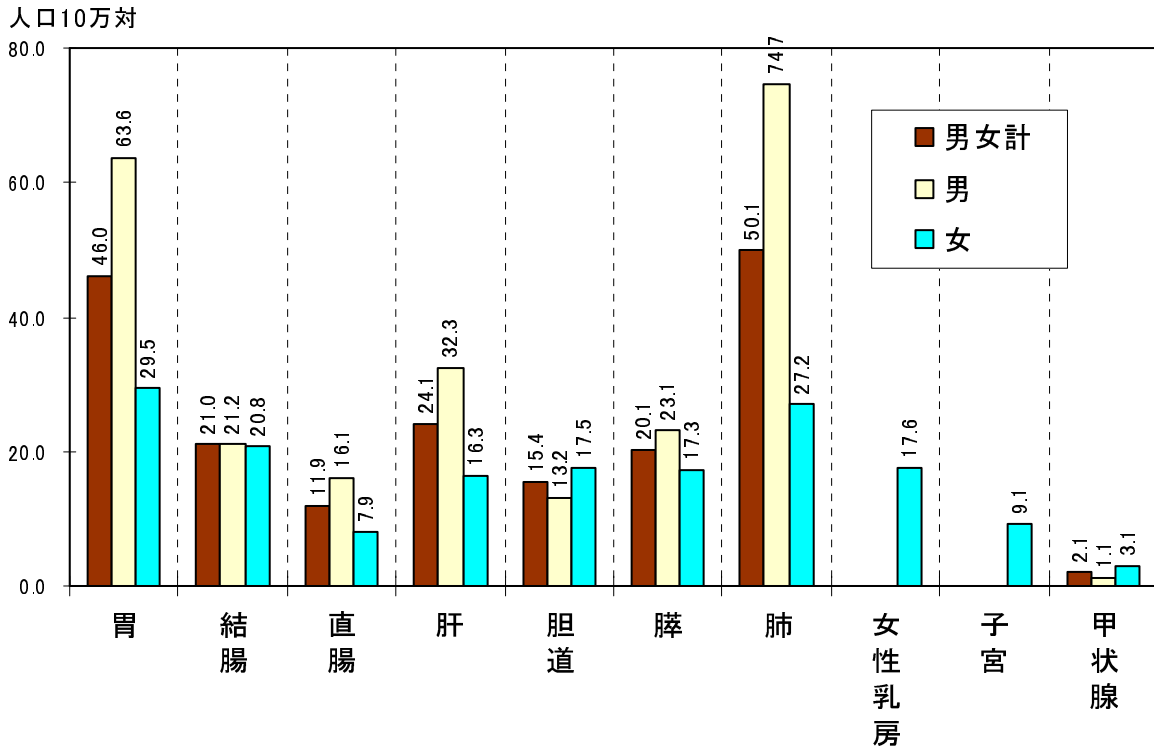
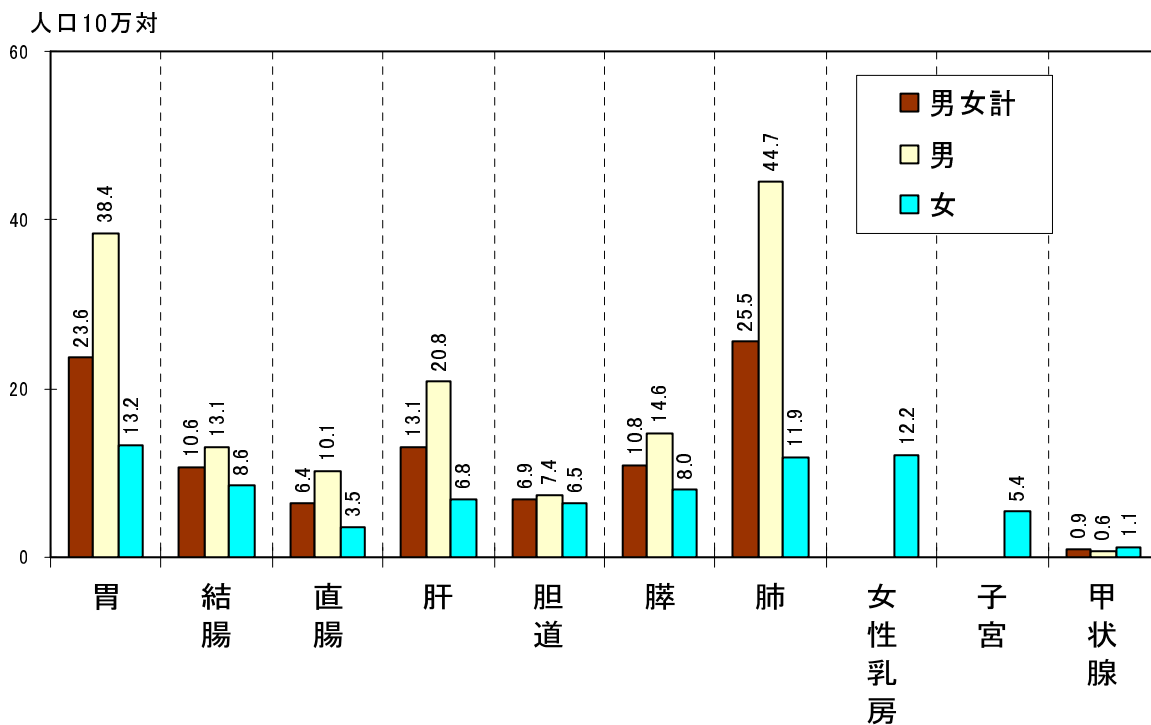


図 4-3 年齢調整死亡率

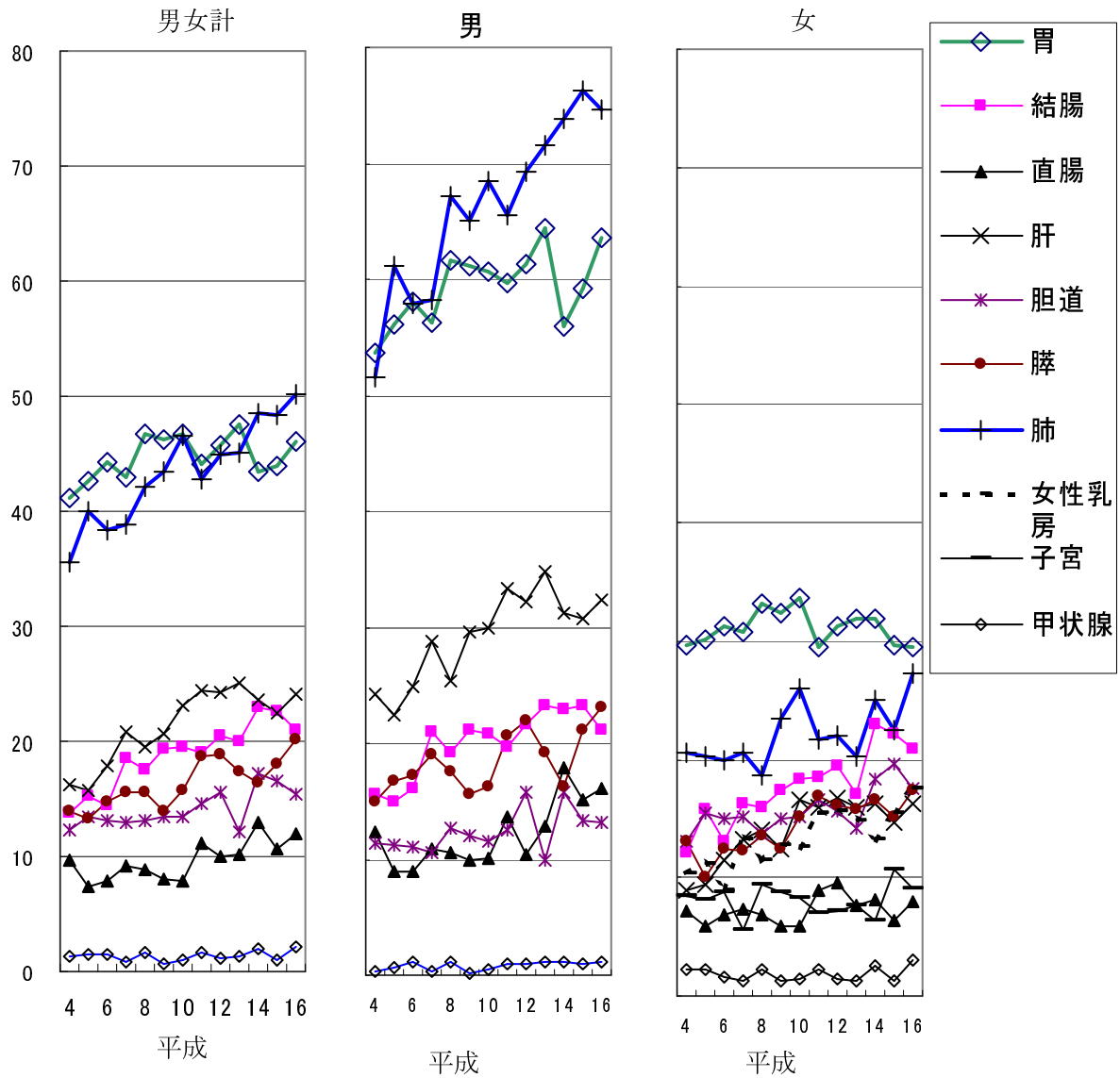


### (3) 死亡率の経年変化(平成4年~16年) (付表 2-2)

死亡率の経年変化を図 4-4 に示した。

図 4-4 死亡率の経年変化

人口 10 万対

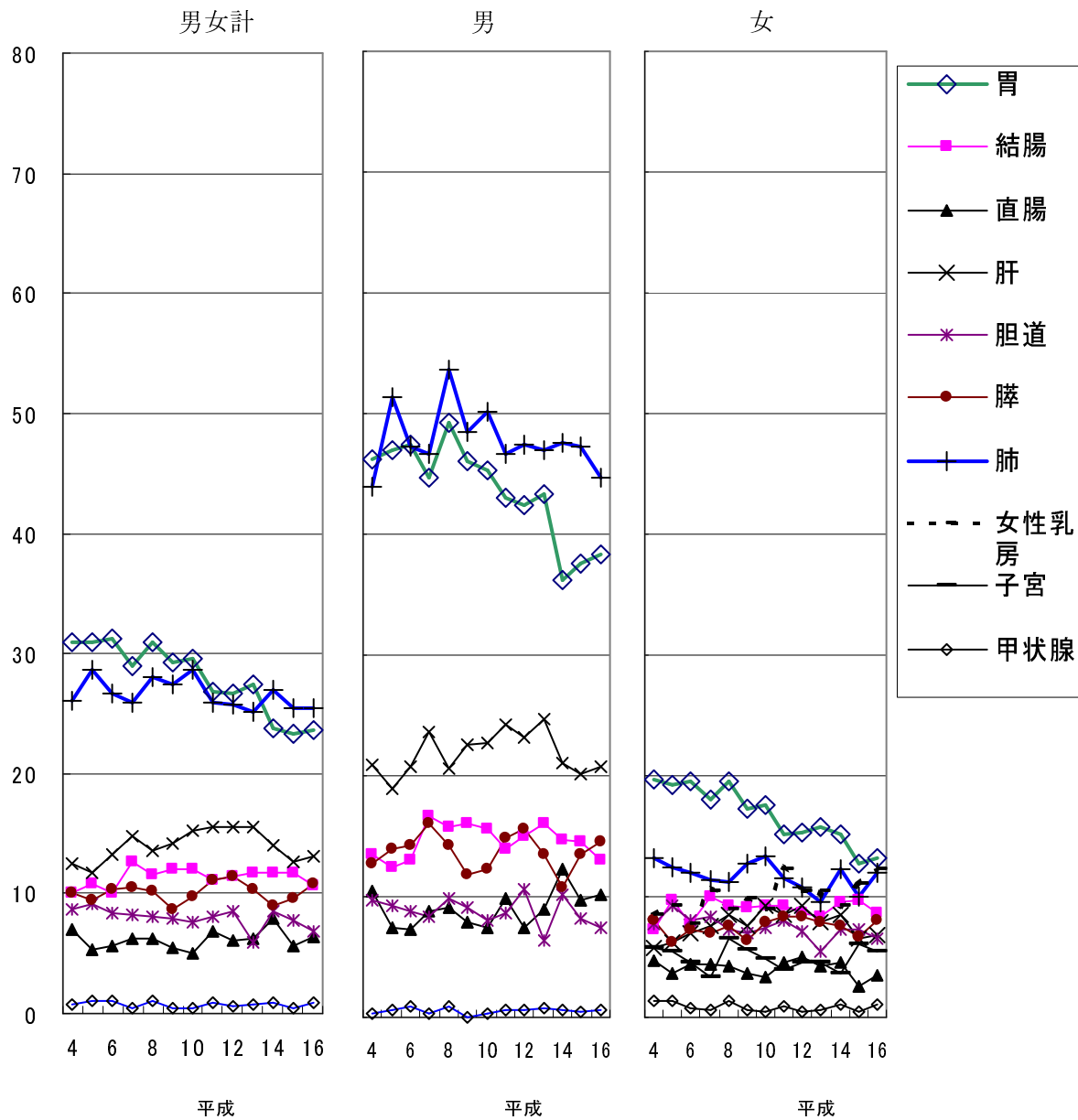


(4) 年齢調整死亡率の経年変化(平成4年～16年) (付表2-3)

年齢調整死亡率<sup>注)</sup>の経年変化を図4-5に示した。

図4-5 年齢調整死亡率の経年変化

人口10万対



注) (粗)死亡率は死亡数を全人口で割ったものであり、高齢者が多い方が高くなる傾向があるため、年齢構成を補正した年齢調整死亡率を地域比較や経年変化を見るための指標としている。

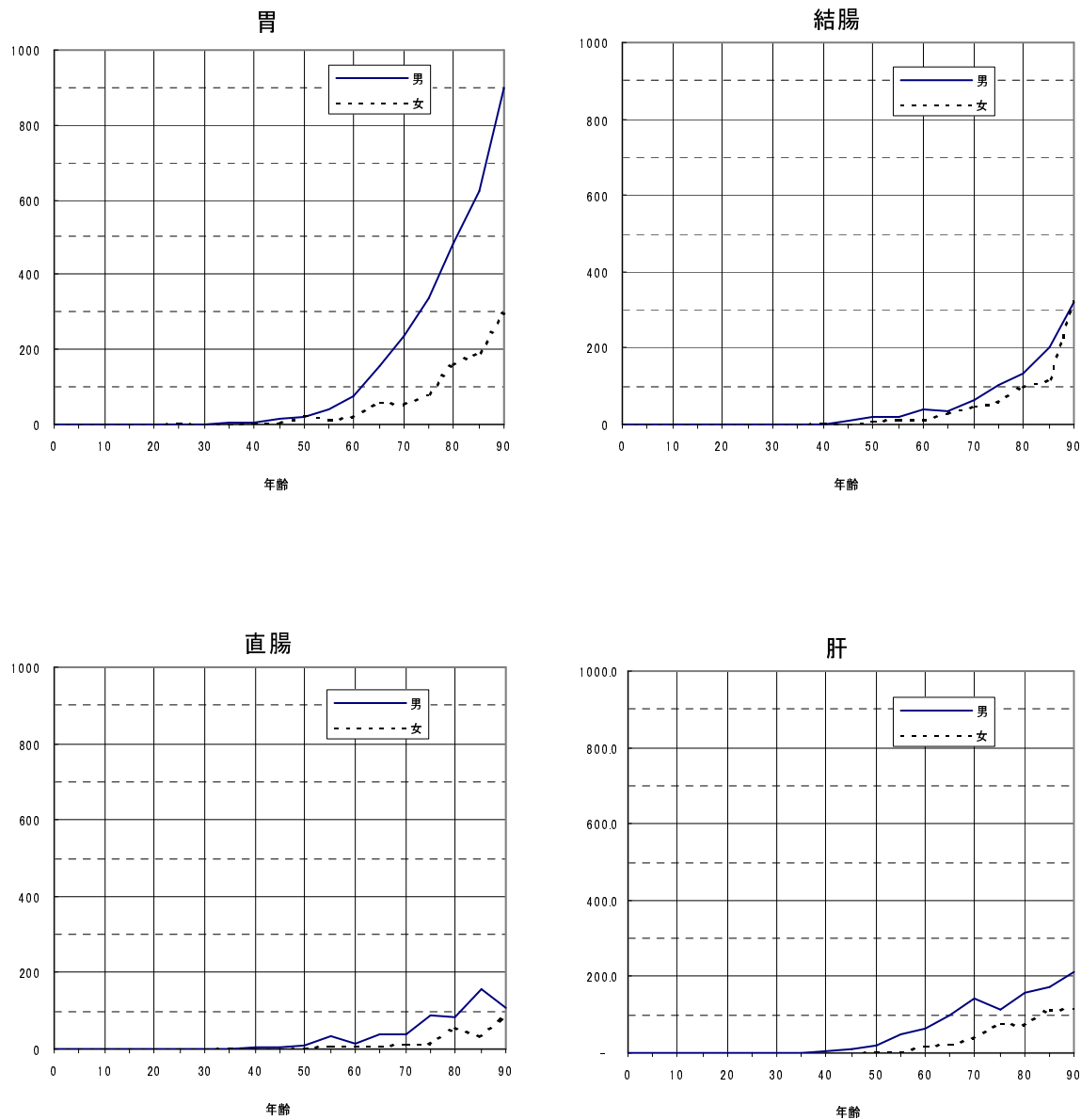


## 2 年齢階級別死亡率

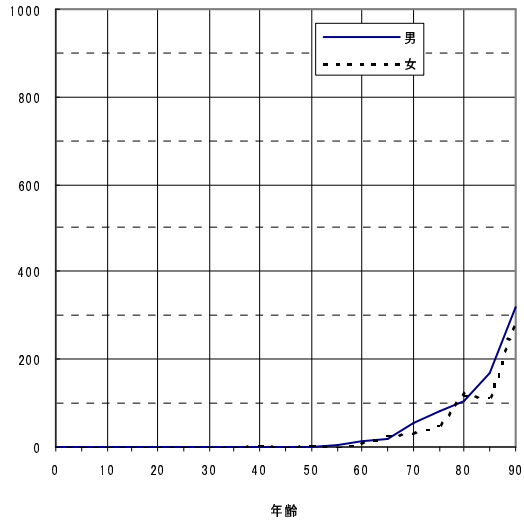
男女別の年齢階級別死亡率を図 4-6 に示した(附表 2-4)。

男女とも、すべての部位において、加齢に従って増加傾向がみられ、男性の胃、肺について顕著であり、女性乳房及びび子宮については、比較的ゆるやかである。

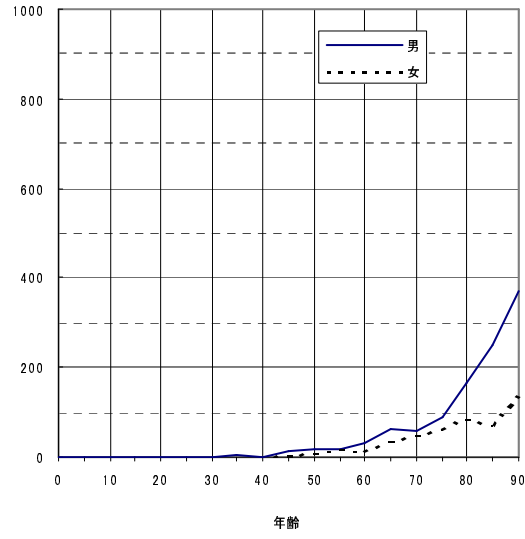
図 4-6 年齢階級別死亡率 (人口 10 万対)



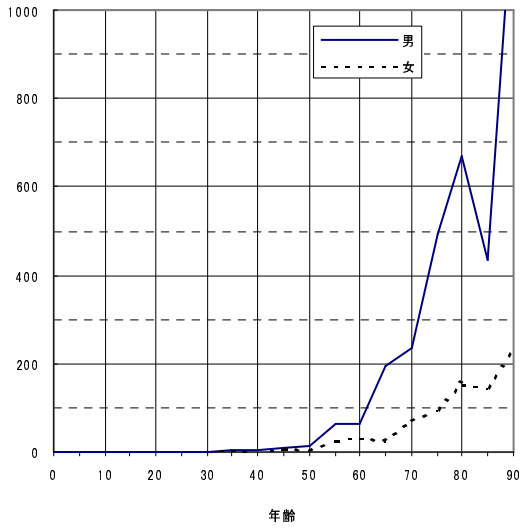
胆道



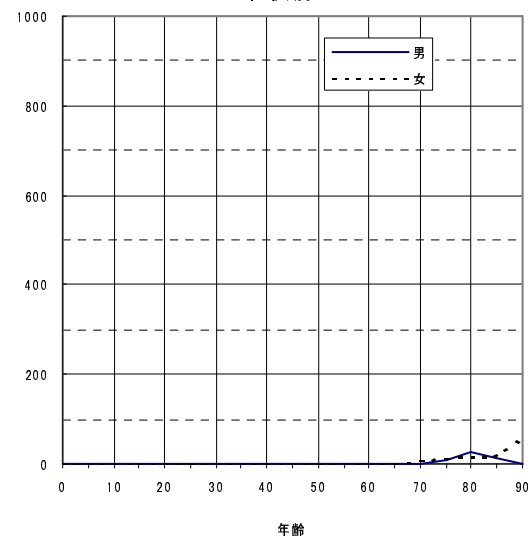
脾



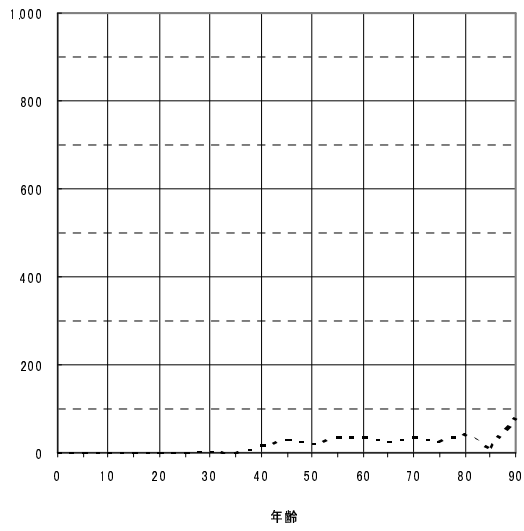
肺



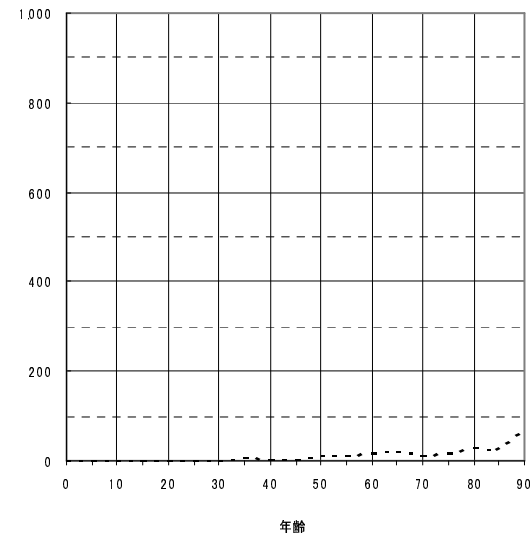
甲状腺



女性乳房



子宮



# V 受療状況

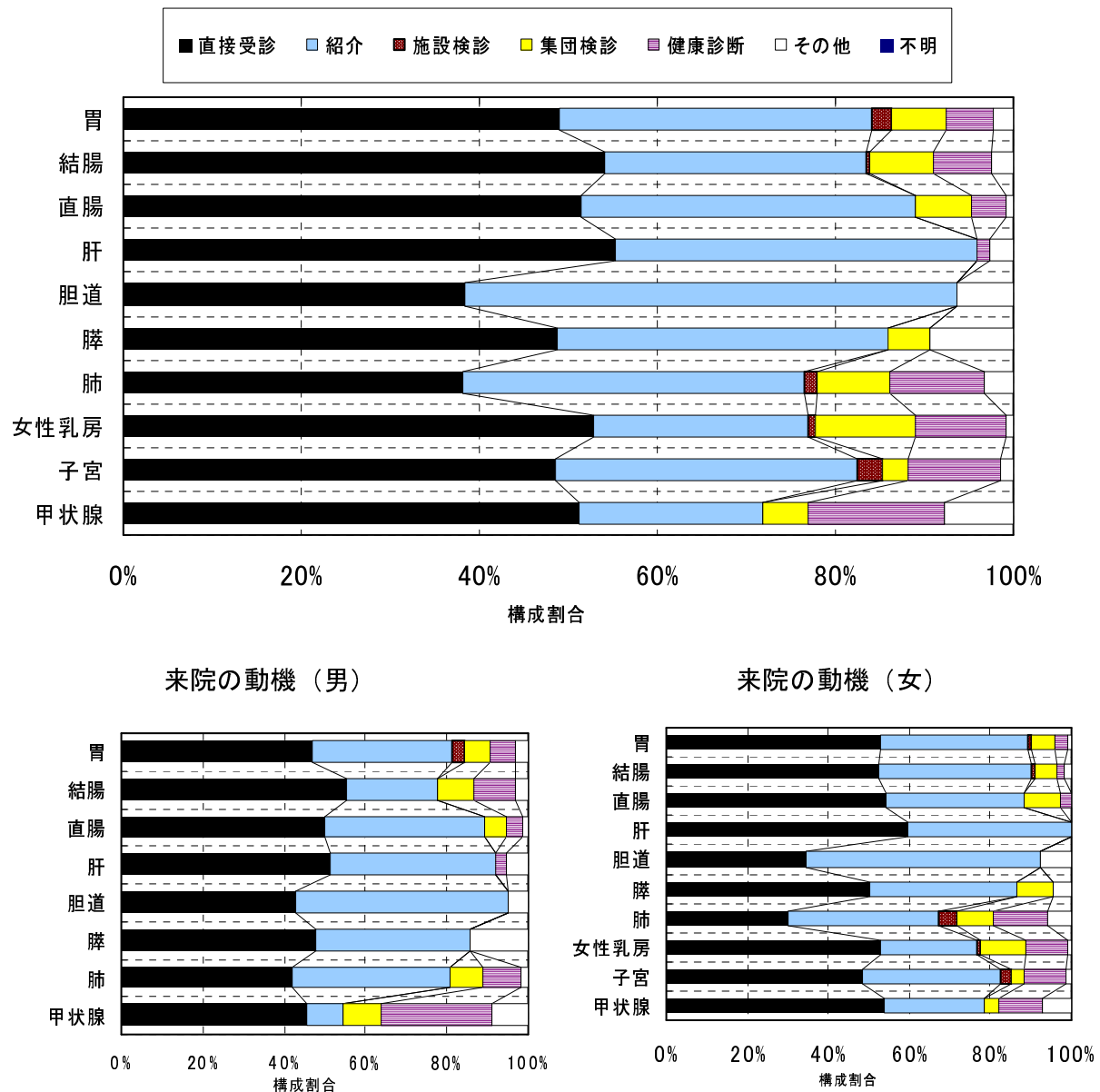
- 1 来院の動機
- 2 自覚症状の有無
- 3 病巣のひろがり
- 4 診断方法
- 5 治療方法

## 1 来院の動機

集計対象は1,307であり、男女計、10部位計で直接受診（48.7%）、他院からの紹介（34.4%）、健康診断（6.7%）となっている。施設検診、集団検診、健康診断をあわせると（以下「検診」という。）14.2%であった（付表3-1）。

検診が来院の動機になっているものを部位別にみると、乳房（22.2%）、甲状腺（20.5%）、肺（20.3%）の順となっている。

図 5-1 来院の動機（男女計）

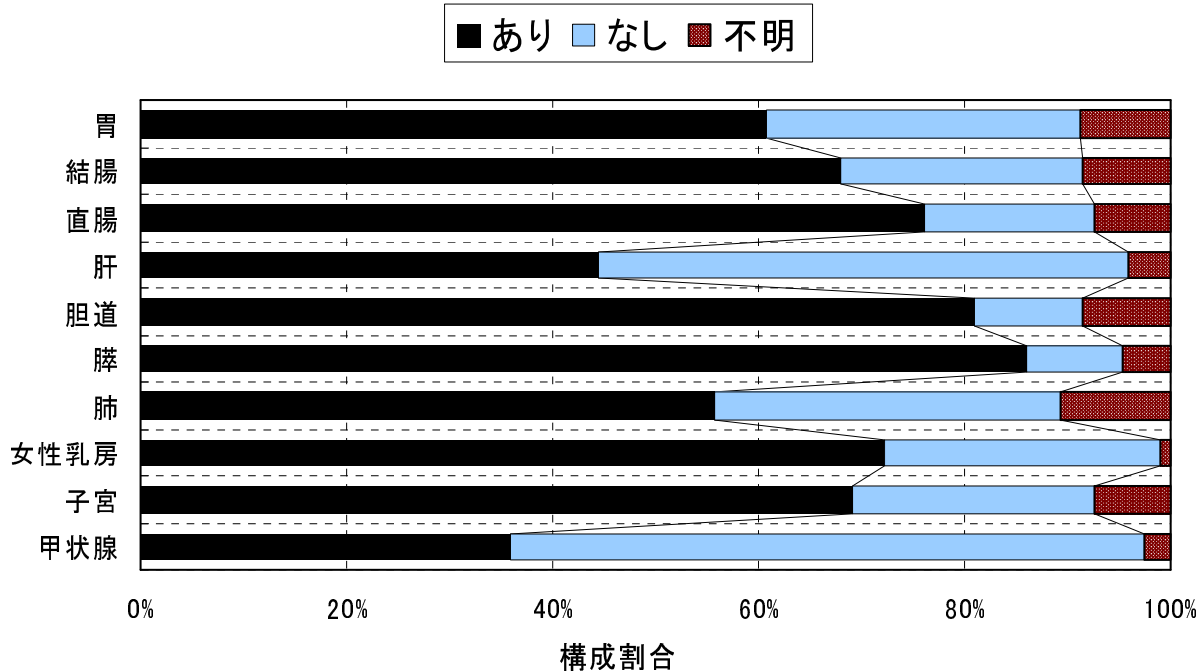


## 2 自覚症状の有無

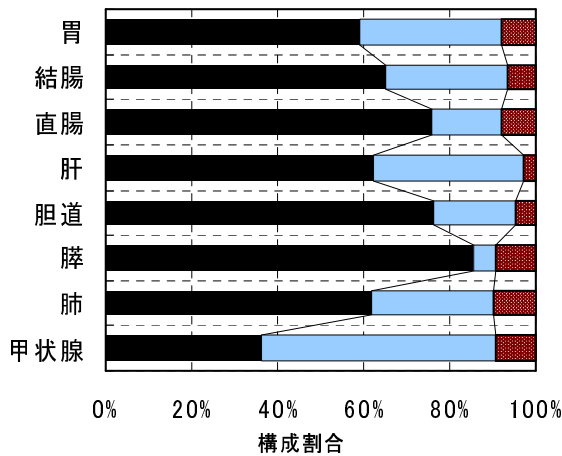
集計対象は1,307であり、男女10部位計で自覚症状あり(63.8%)、自覚症状なし(28.6%)であった。男女計で部位別では、自覚症状ありは膵(86.0%)、胆道(80.9%)、直腸(76.1%)の順となっており、自覚症状なしは、甲状腺(61.5%)、肝(51.4%)の順となっている。

男女別の順は、自覚症状ありは男女計と同様であり、膵(男85.7%、女86.4%)、胆道(男76.2%、女84.6%)、直腸(男75.7%、女77.1%)となっている。(付表3-2)。

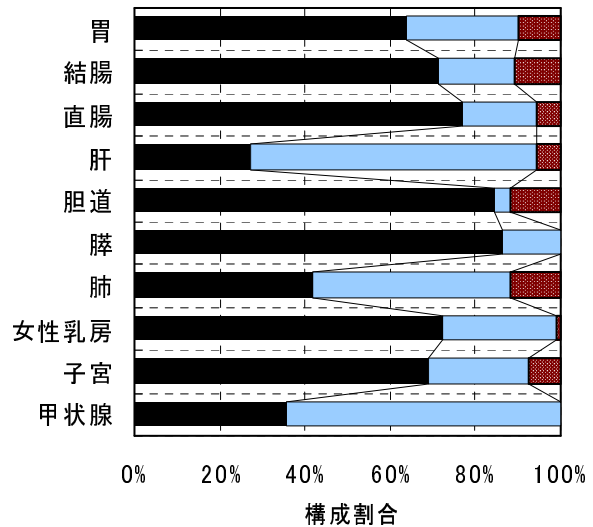
図5-2 自覚症状の有無(男女計)



自覚症状の有無(男)



自覚症状の有無(女)



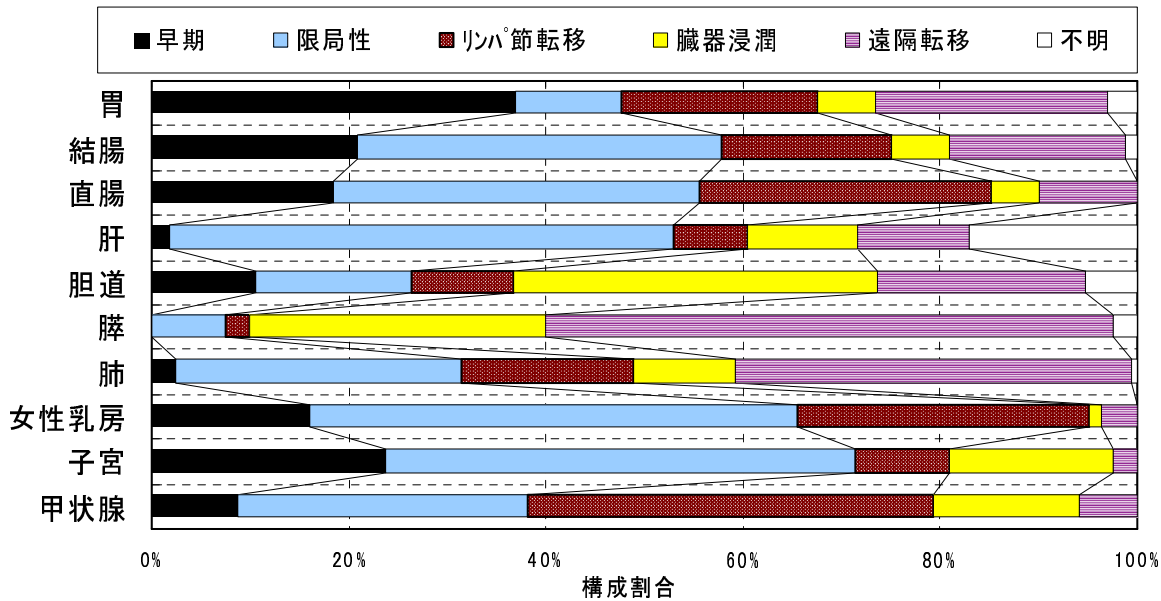
### 3 病巣のひろがり

集計対象は 964 であり、男女 10 部位計で限局性(28.5%)が最も多く、遠隔転移(21.6%)、所属リンパ節転移(19.2%)と続いている。部位別に男女計でみると、早期は胃(36.9%)で多く、限局性は肝(50.9%)で多くなっている。

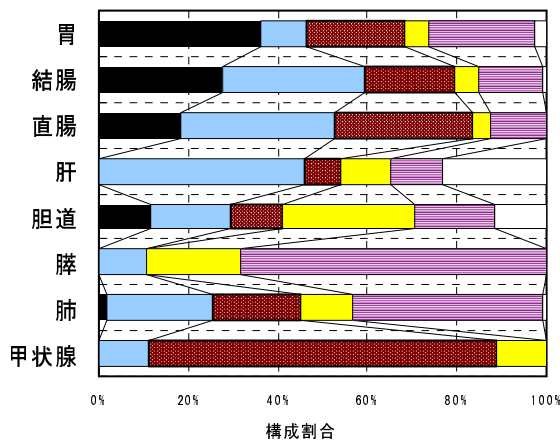
また、所属リンパ節転移は甲状腺(41.2%)で、隣接臓器浸潤は胆道(36.8%)で、遠隔転移は膵(57.5%)が多くなっている(付表 3-3)。

男の部位別では、早期は胃(36.2%)が、限局性は肝(46.2%)が、所属リンパ節転移は甲状腺(77.8%)が、隣接臓器浸潤は胆道(29.4%)が、遠隔転移は膵(68.4%)が最も多くなっている。女の部位別では、早期は胃(38.4%)が、限局性は肝(55.6%)が、所属リンパ節転移は乳房(29.6%)が、隣接臓器浸潤は胆道(42.9%)が、遠隔転移は膵(47.6%)が最も多くなっている。

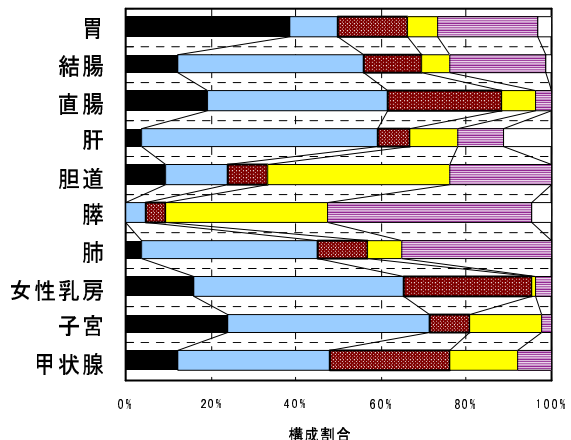
図 5-3 病巣のひろがり (男女計)



病巣のひろがり (男)



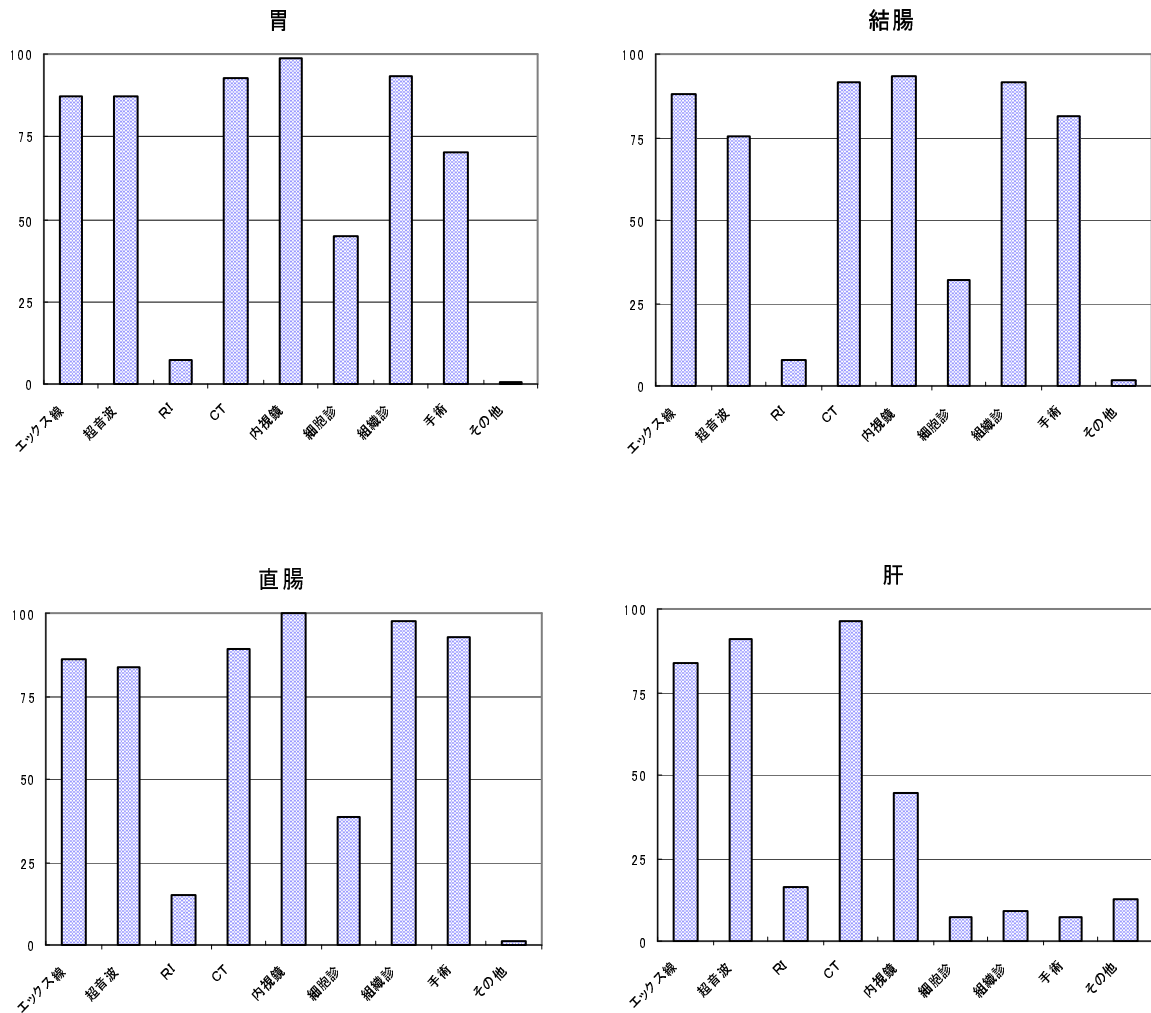
病巣のひろがり (女)



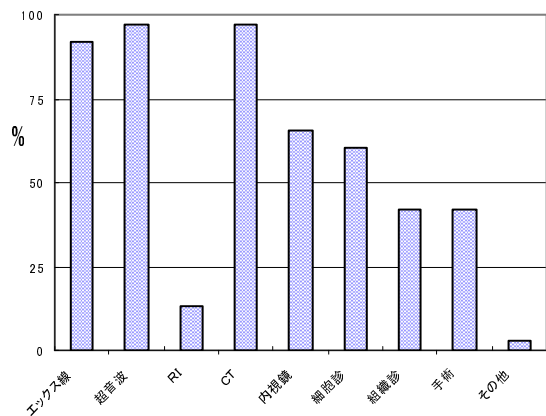
## 4 診断方法

集計対象は 979 であり、男女 10 部位計で診断方法として実施率が高い検査は C T (93.6%)、エックス線(90.4%)、超音波(80.0%)の順であり、実施率が比較的低いのは R I (28.1%)、細胞診(50.2%)となっている。部位別では、消化管では内視鏡、組織診、C Tが高く、肝胆道系ではC Tと超音波が高くなっている。肺はエックス線(100%)、C T (96.4%) が、女性乳房はエックス線(98.8%)、C T (97.6%) が、子宮は組織診(97.7%)、細胞診、超音波(共に 95.3%)が高くなっている(付表 3-4)。

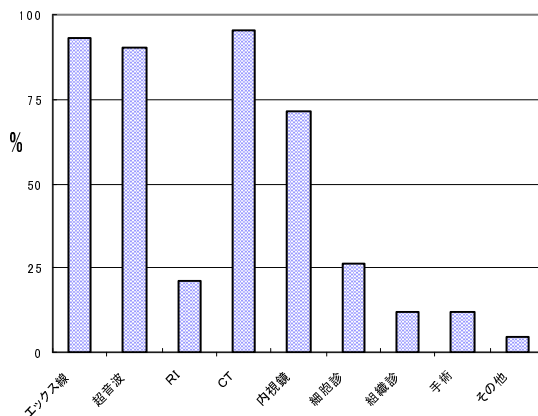
図 5-4 検査実施率(男女計)



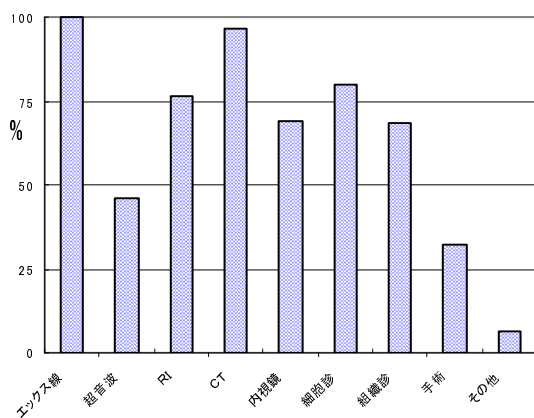
胆道



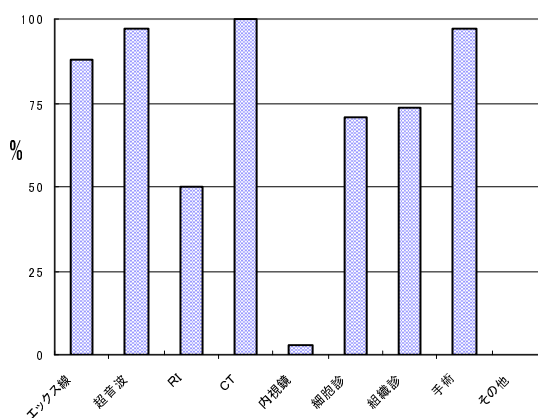
膵



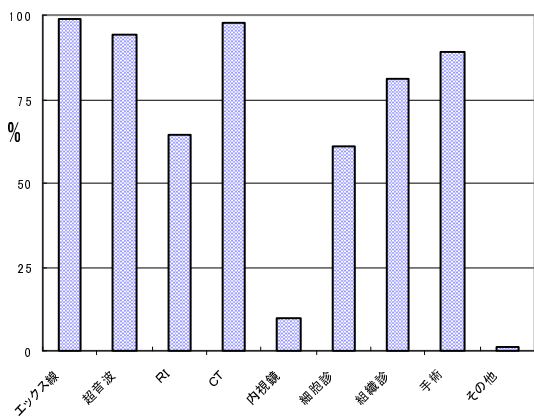
肺



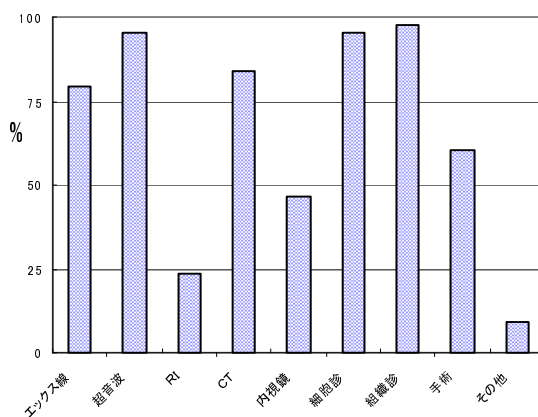
甲状腺



女性乳房



子宮

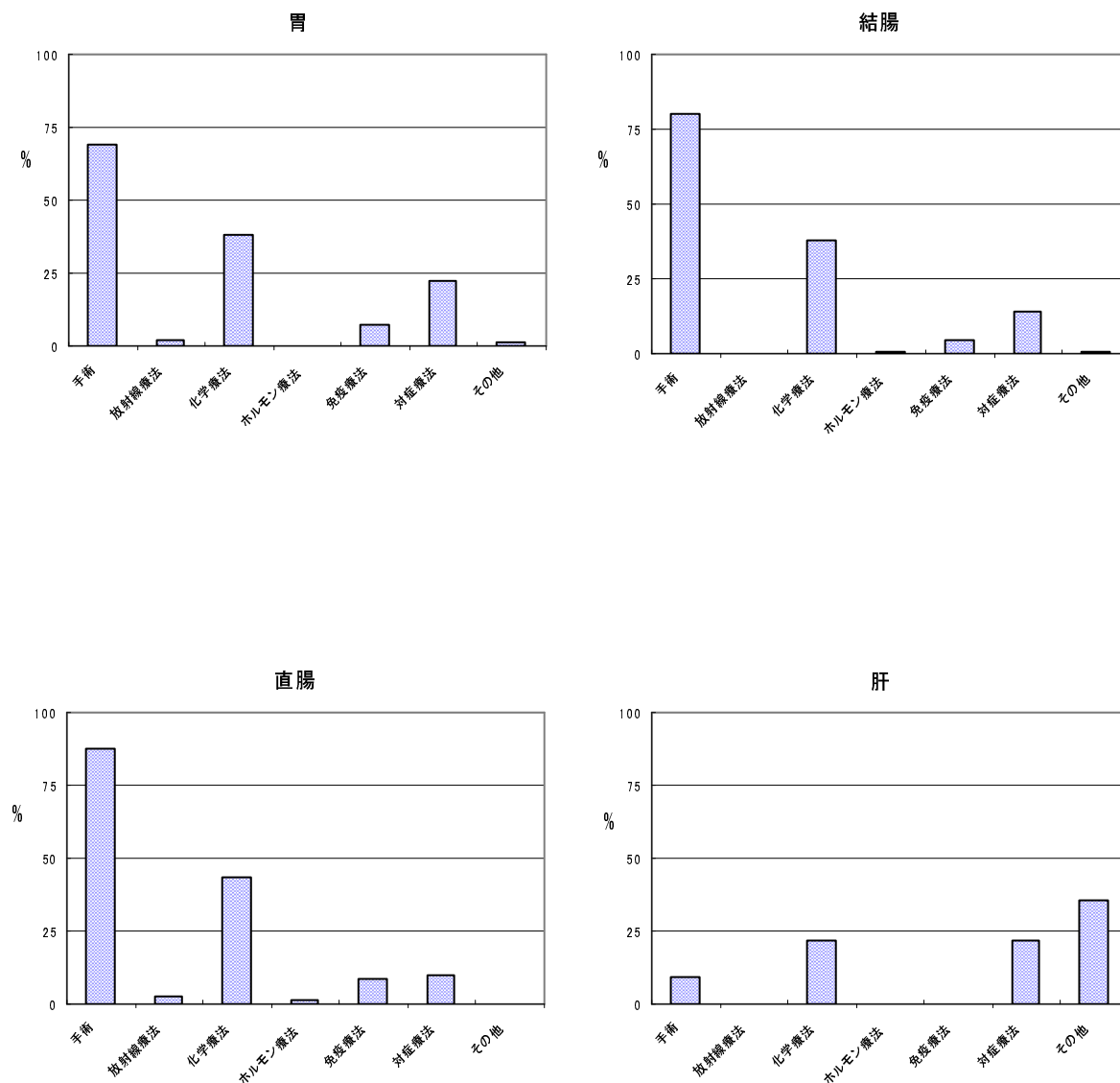


## 5 治療方法

### (1) 治療方法

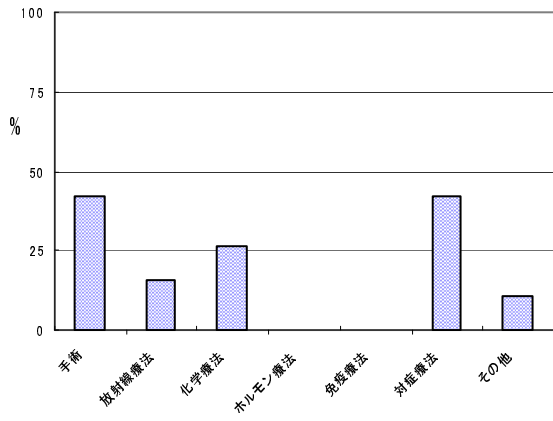
集計対象は 979 であり、男女 10 部位計で手術 (62.4%)、化学療法 (36.3%) が多くっており、部位別で見ると消化管、女性乳房、子宮、甲状腺は手術の割合が多く、約 8 割から 9 割で手術が行われている (付表 3-5)。

図 5-5 治療実施率 (男女計)

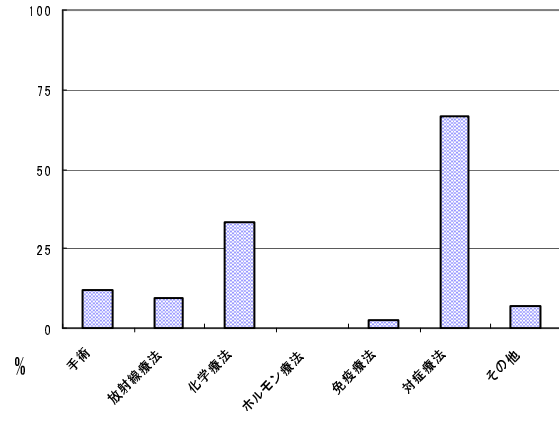




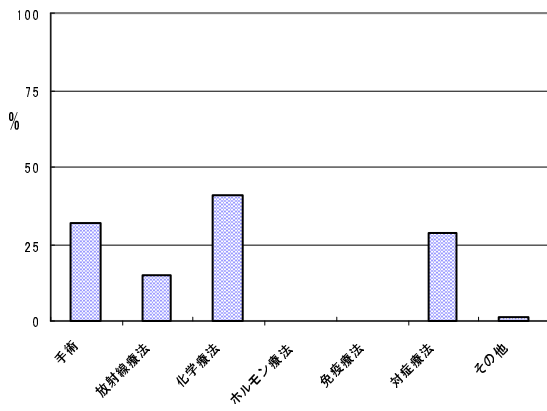
胆道



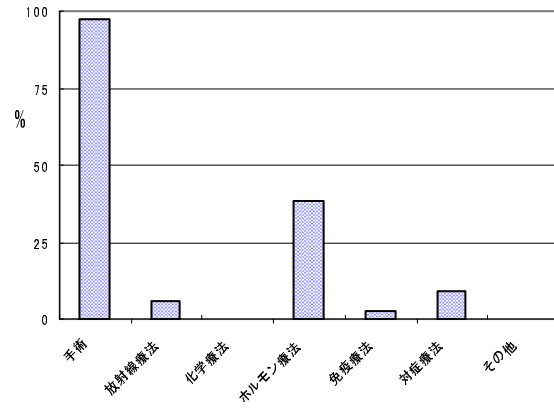
膵



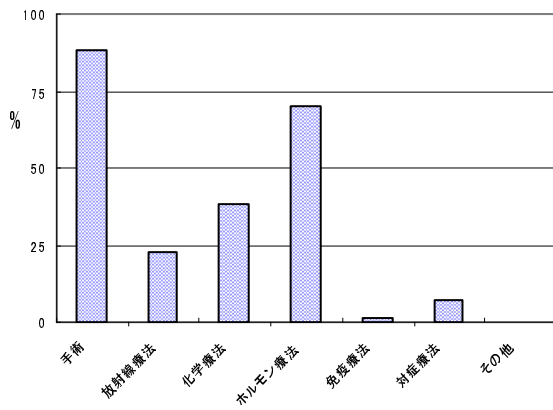
肺



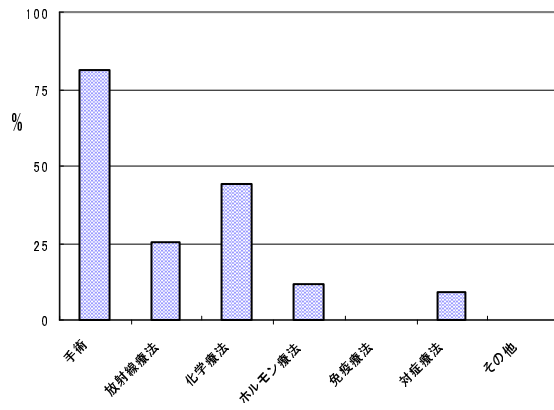
甲状腺



女性乳房



子宮

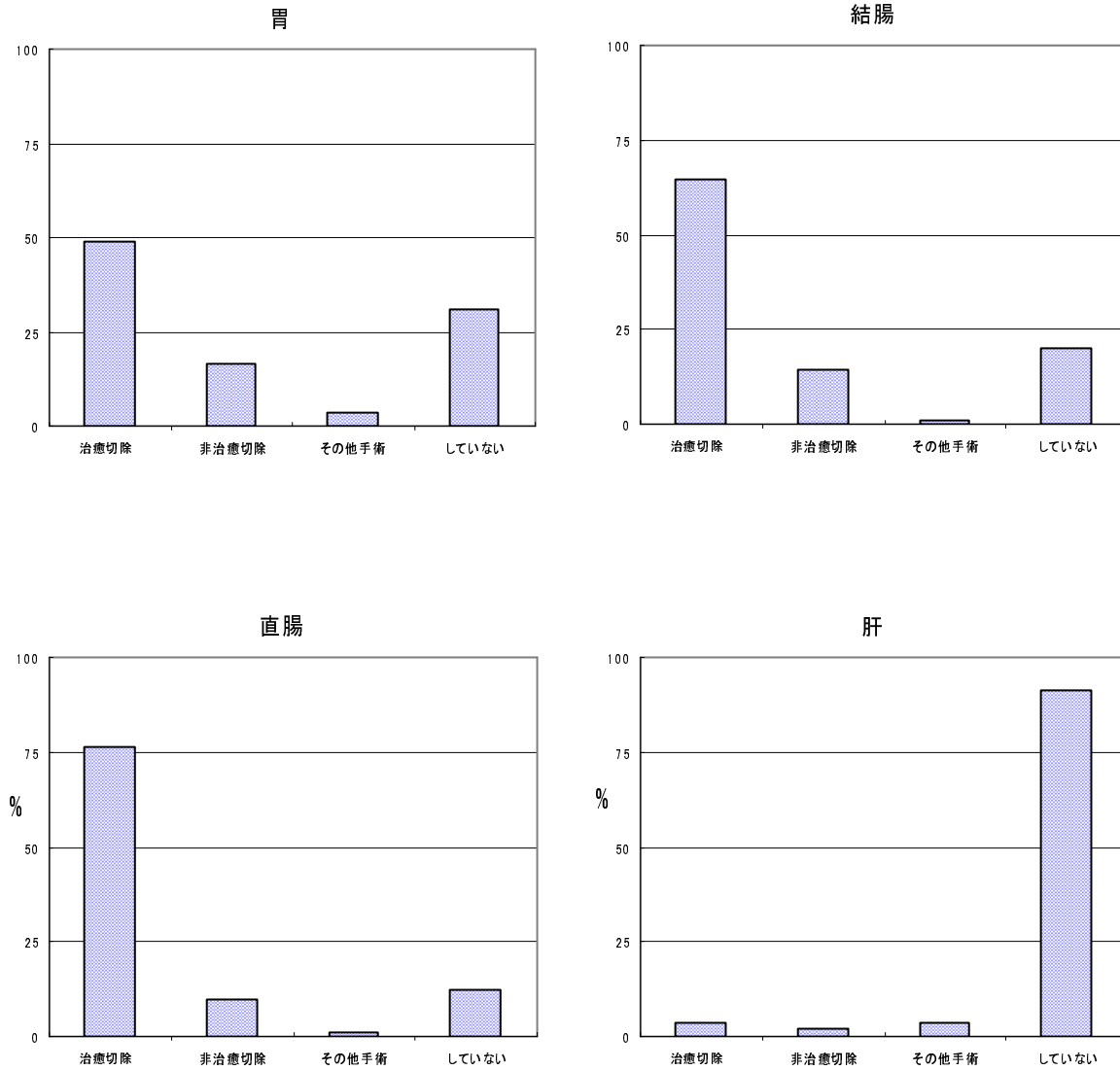


## (2) 手術

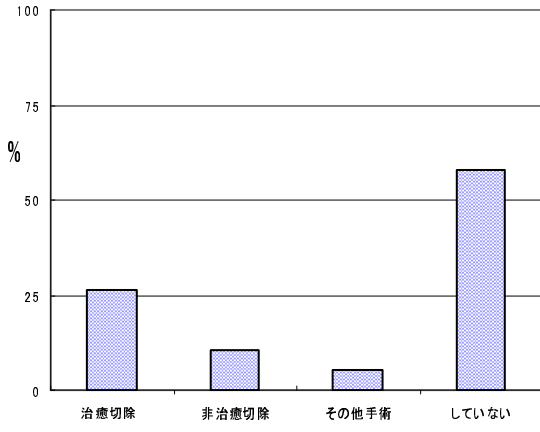
集計対象は 979 であり、そのうち手術を行ったものは 62.4%、行っていないものは 37.6%となっている。

男女計で部位別では、甲状腺(97.1%)、女性乳房(88.1%)、直腸(87.7%)、子宮(81.4%)は手術割合が高くなっている。また、治癒切除の割合は甲状腺(85.3%)、女性乳房(78.6%)で高い割合となっている。一方で、手術を行っていない割合は、肝(91.1%)、膵(88.1%)、肺(68.5%)、胆道(57.9%)で高くなっている(付表 3-6)。

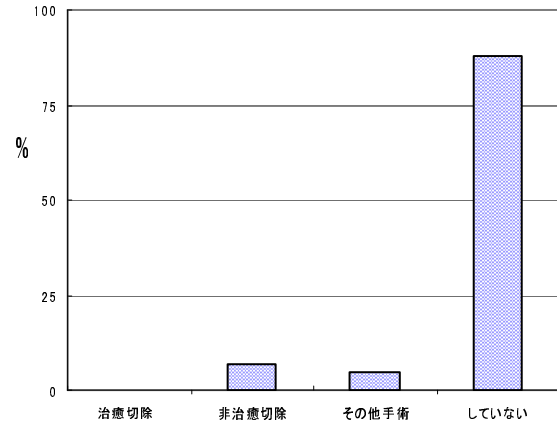
図 5-6 手術 (男女計)



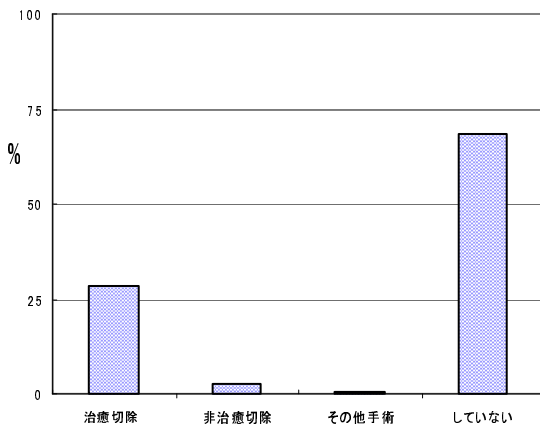
胆道



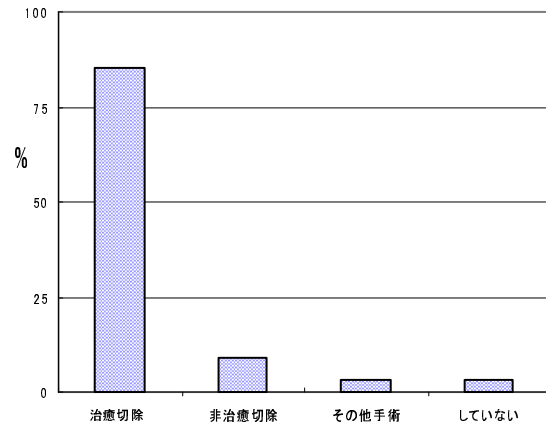
膵



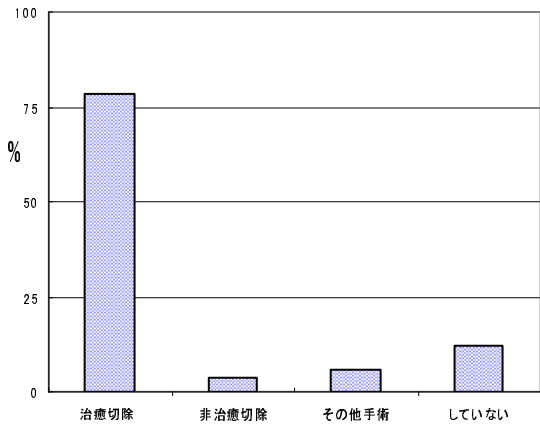
肺



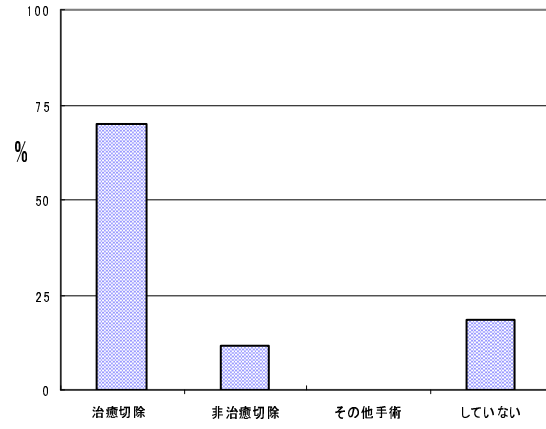
甲状腺



女性乳房



子宮



## VI 地域特性

- 1 医療圏別罹患率及び死亡率(粗罹患率及び粗死亡率)
- 2 医療圏別年齢調整罹患率及び年齢調整死亡率

### 1 医療圏別罹患率及び死亡率(粗罹患率及び粗死亡率)

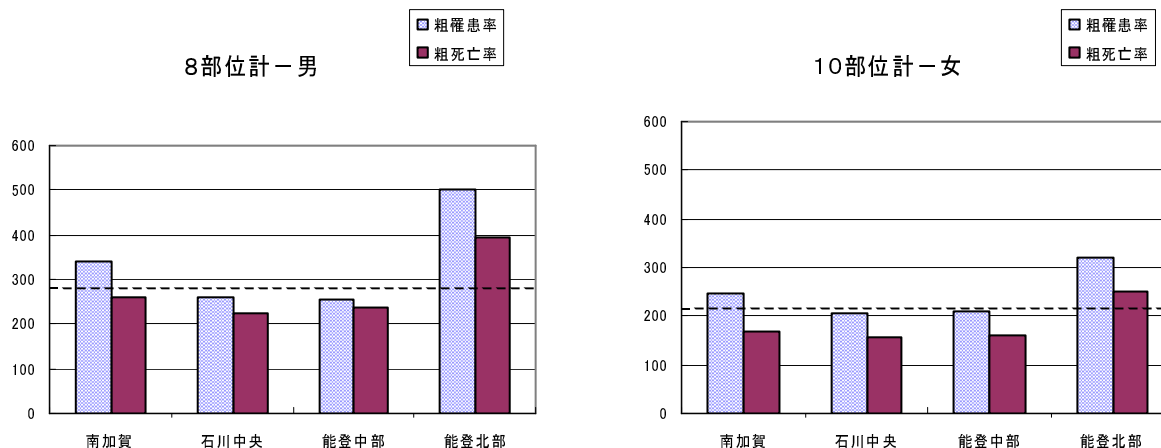
#### (1) 医療圏別罹患率

医療圏別罹患率(人口10万対)を性別にみると、男の全部位計(8部位)では、能登北部が499.4と高く、能登中部が255.5と低い。女の全部位計(10部位)では、能登北部が319.0と高く、石川中央が207.4と低い(付表4-1)。

#### (2) 医療圏別死亡率

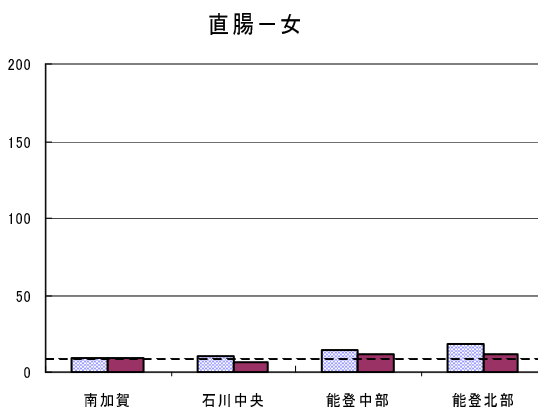
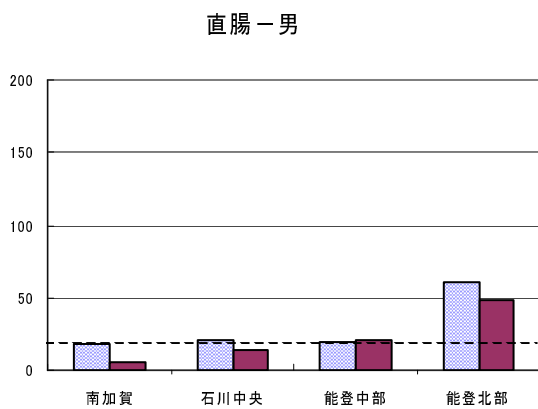
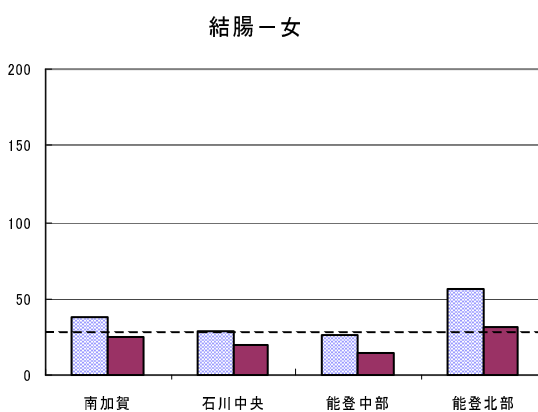
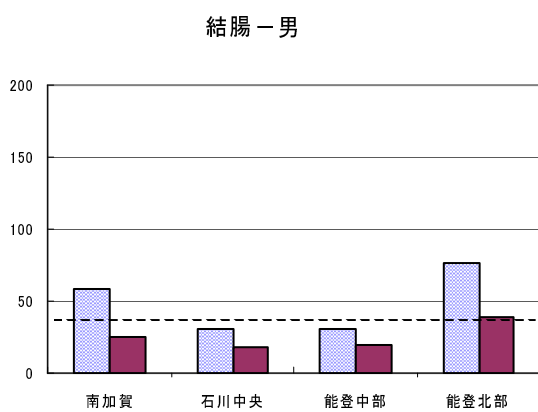
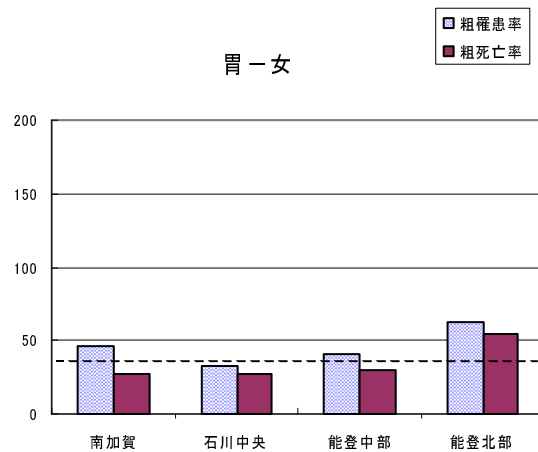
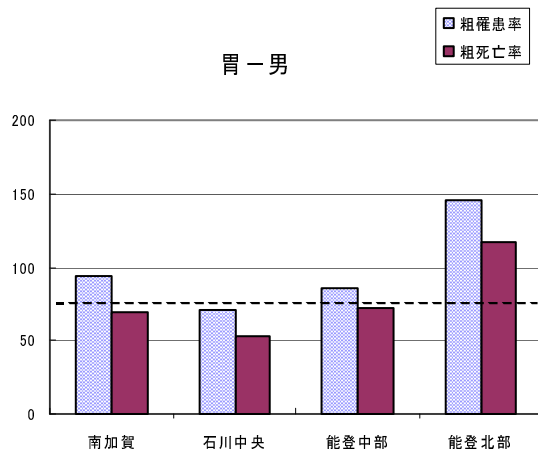
医療圏別死亡率(人口10万対)を性別にみると、男の全部位計(8部位)では、能登北部が392.4と高く、石川中央が224.4と低くなっている。女の全部位計(10部位)では、能登北部が249.3と高く、石川中央が156.5と低く、男と同様の傾向が見られるがその差は小さい(付表4-1)。

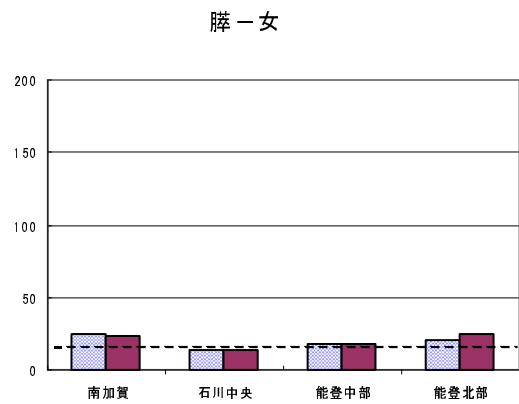
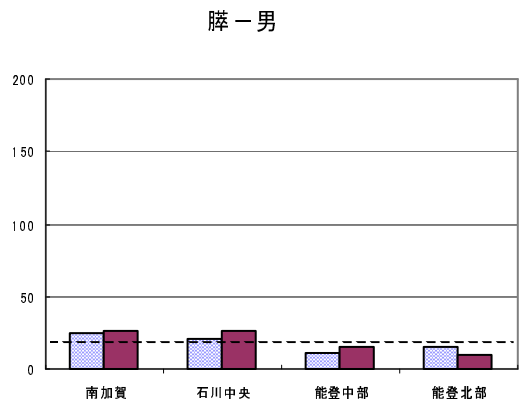
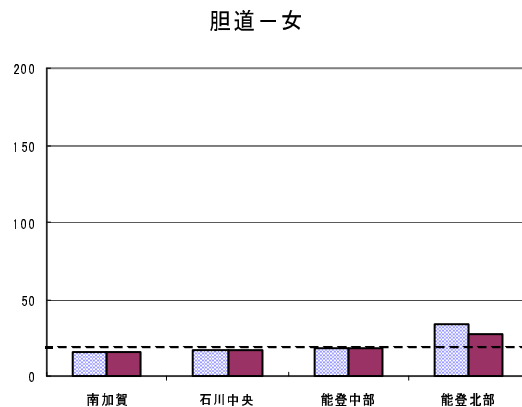
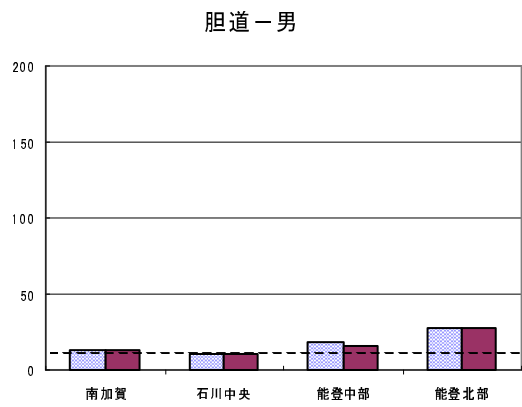
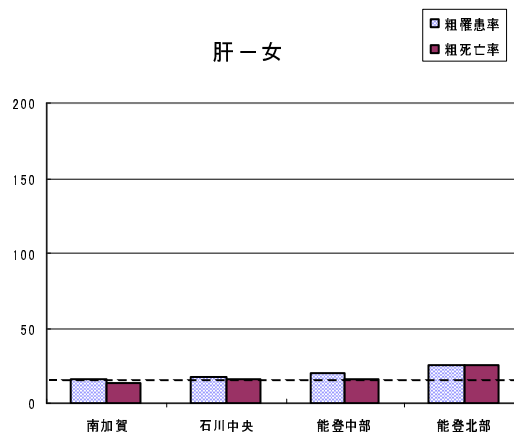
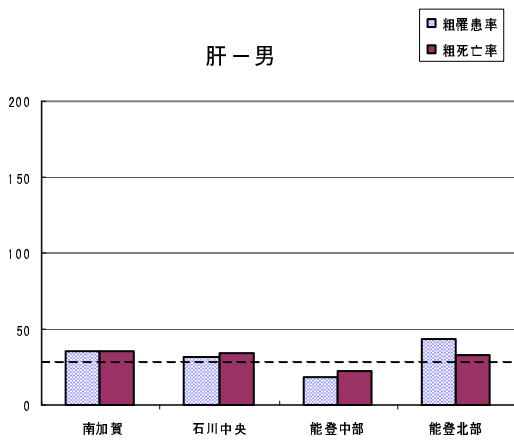
図6-1 医療圏別罹患率、死亡率(人口10万対)



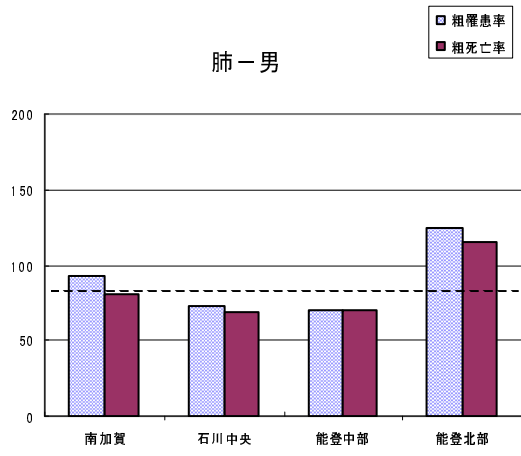
グラフ中の点線は、県全体の粗罹患率を示す。

注) 罹患率と死亡率は同一年内の比較であり、罹患者群と死亡者群が同一集団ではないため、死亡率が罹患率を上回る場合がある。

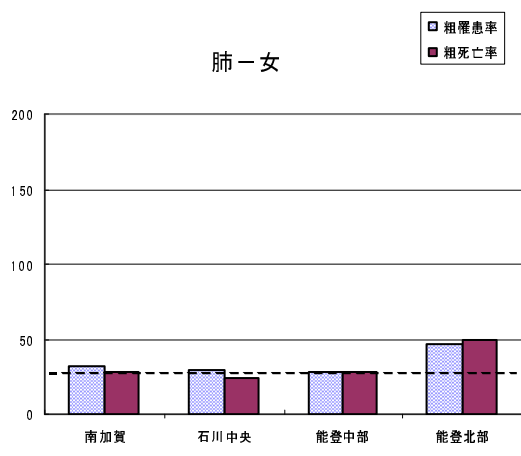




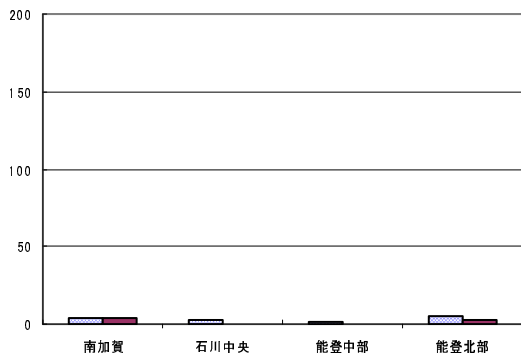
肺-男



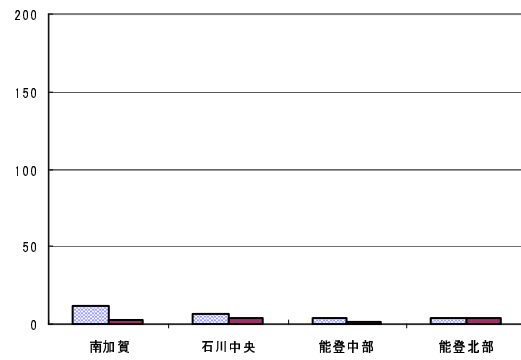
肺-女



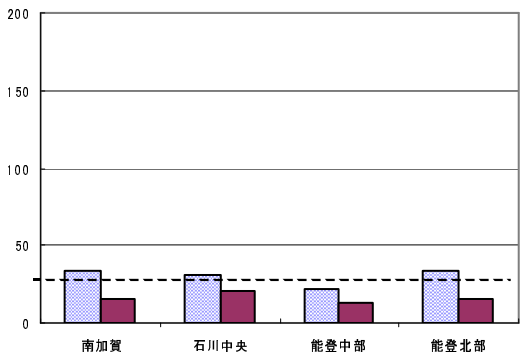
甲状腺-男



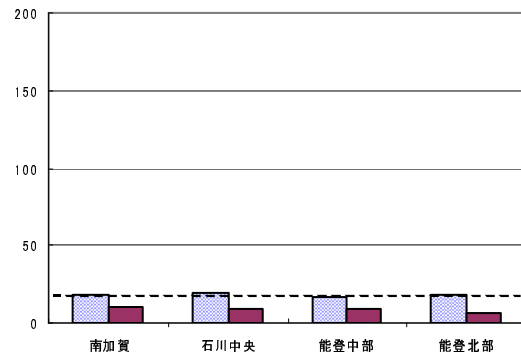
甲状腺-女



女性乳房-女



子宮-女



## 2 医療圏別年齢調整罹患率及び年齢調整死亡率

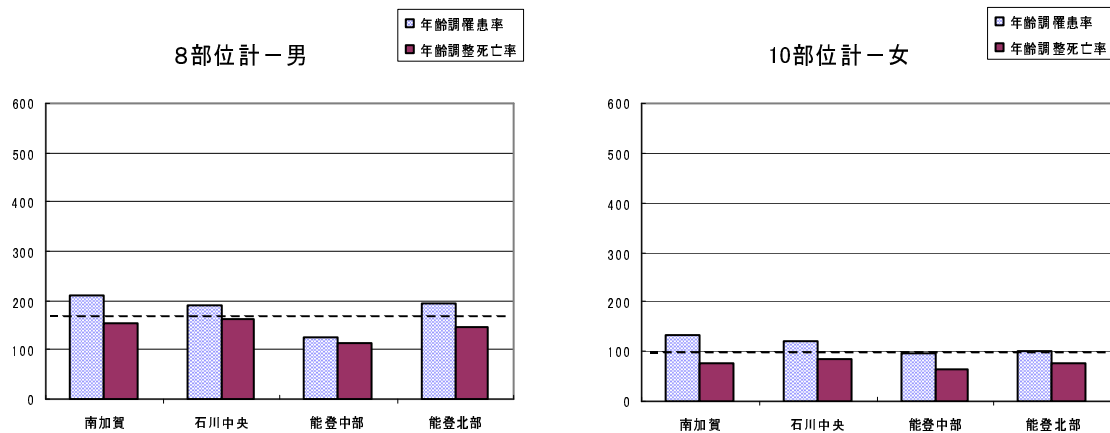
### (1) 医療圏別年齢調整罹患率

医療圏別年齢調整罹患率(人口10万対)を性別にみると、男の全部位計(8部位)では南加賀が208.8と最も高く、能登中部が125.7と最も低くなっている。女の全部位計(10部位)でも、南加賀が131.3と最も高く、能登中部が98.2と最も低くなっている(付表4-1)。

### (2) 医療圏別年齢調整死亡率

医療圏別年齢調整死亡率(人口10万対)を性別にみると、男の全部位計(8部位)、女の全部位計(10部位)とも、石川中央(男161.7,女83.0)が高く能登中部(男114.1,女63.4)が低くなっている。

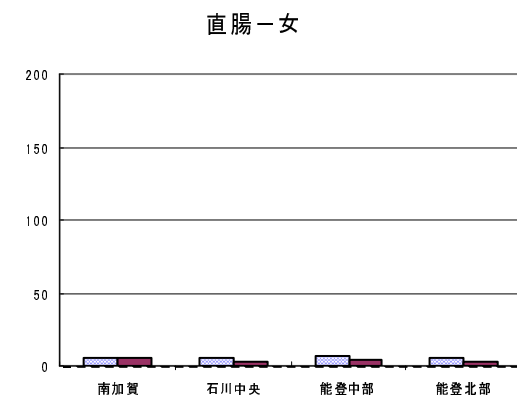
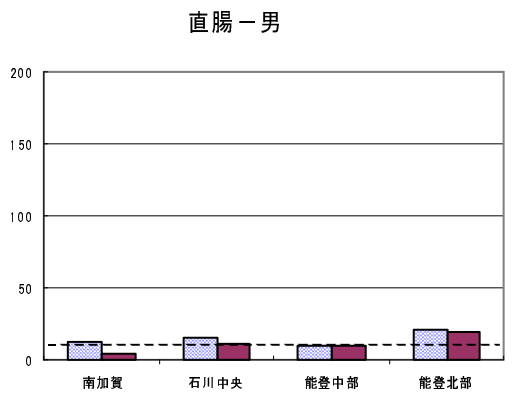
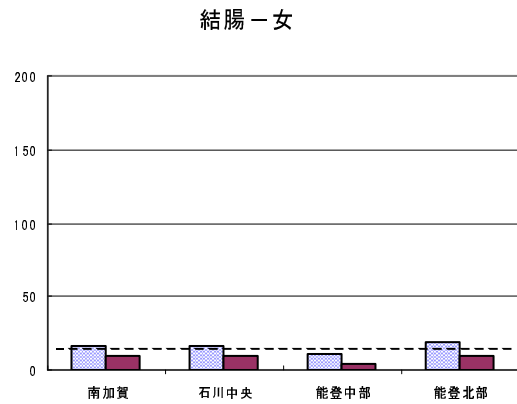
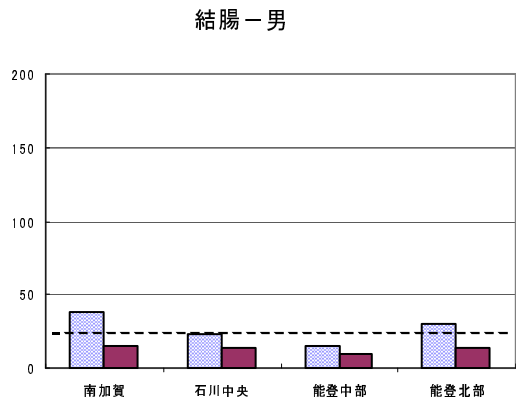
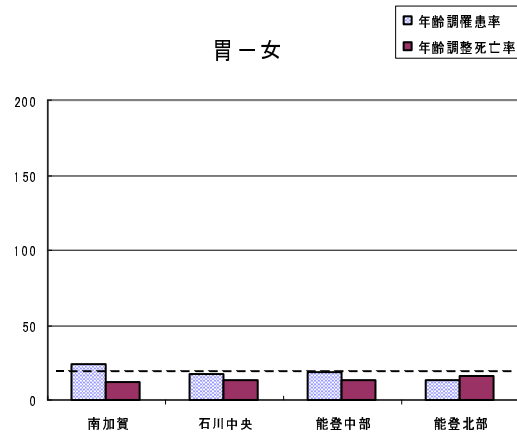
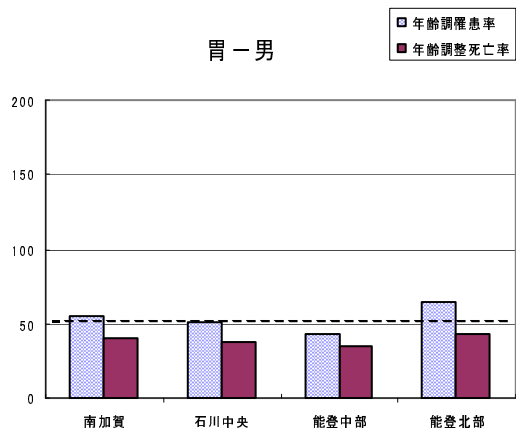
図6-2 医療圏別年齢調整罹患率、年齢調整死亡率(人口10万対)



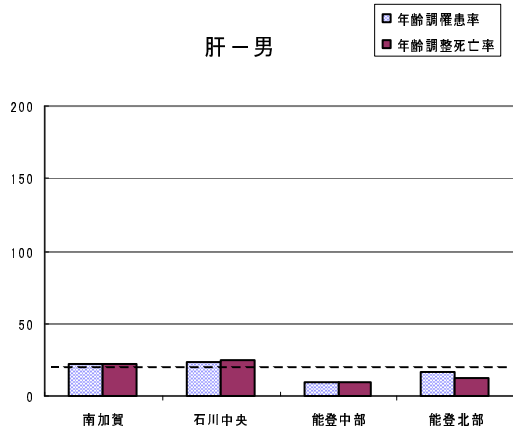
※ グラフ中の点線は、県全体の年齢調整罹患率を示す。

注) 罹患率と死亡率は同一年内の比較であり、罹患者群と死亡者群が同一集団ではないため、死亡率が罹患率を上回る場合がある。

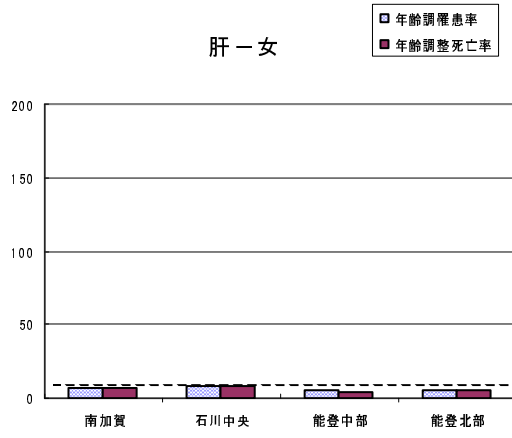




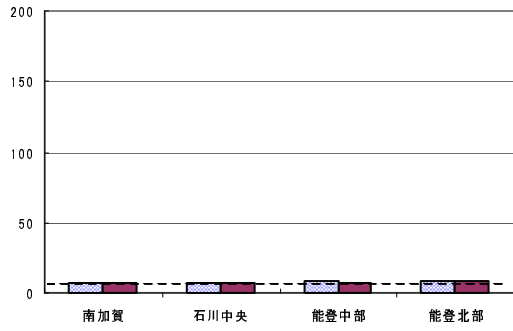
肝-男



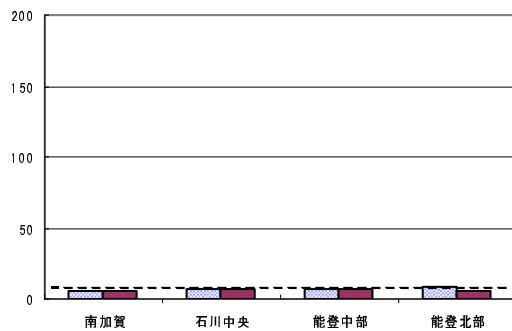
肝-女



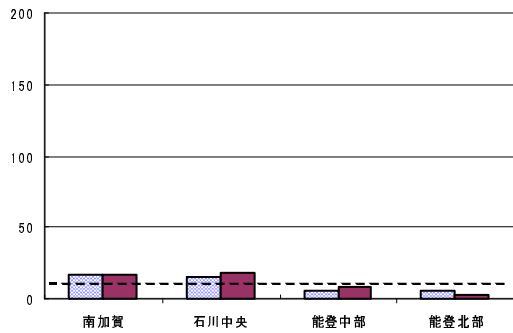
胆道-男



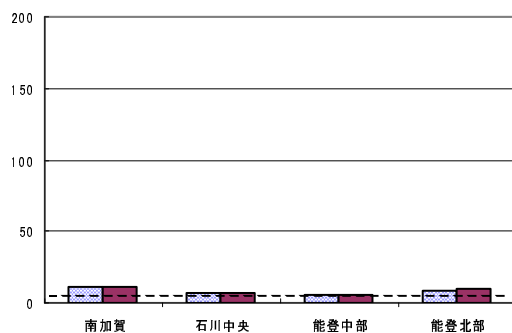
胆道-女

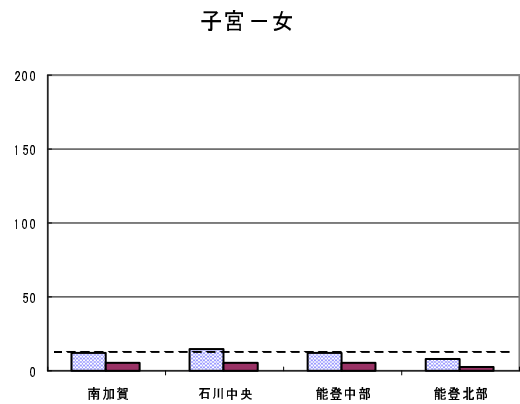
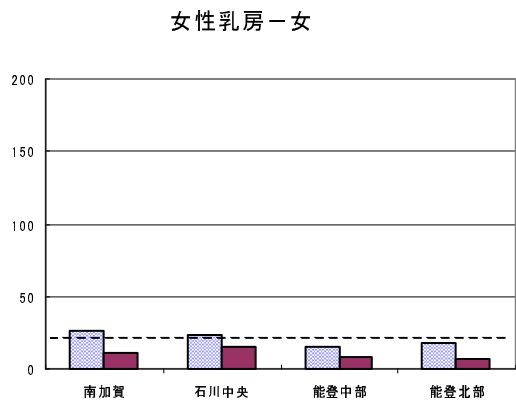
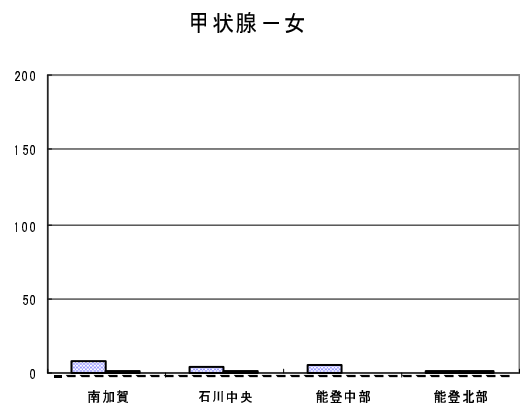
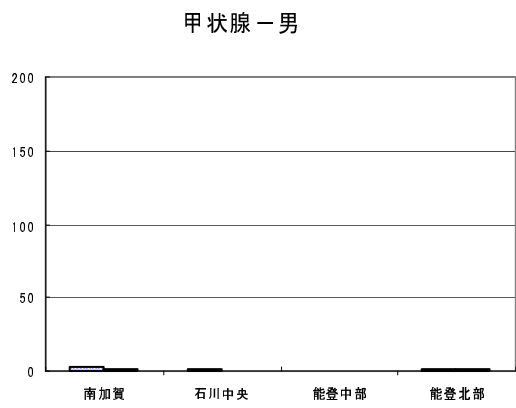
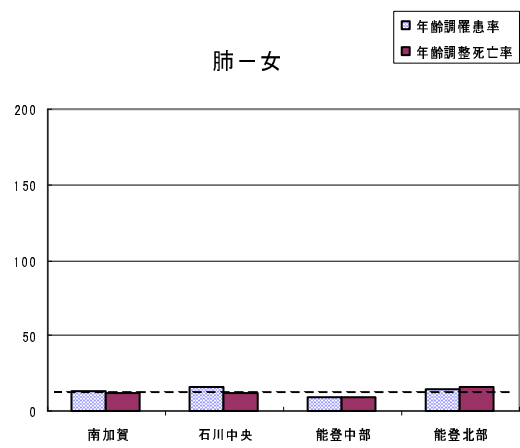
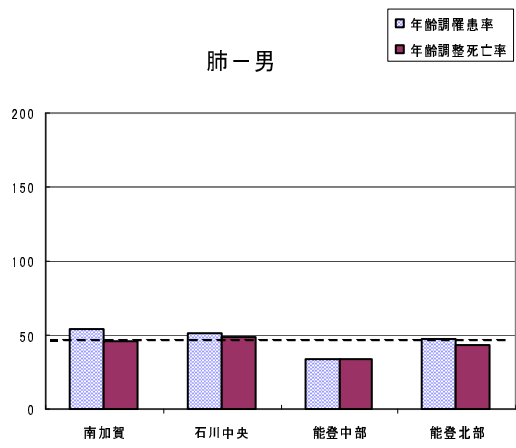


膵-男



膵-女





## VII 全国値との比較

- 1 罹患率の比較
- 2 年齢調整罹患率の比較
- 3 死亡率の比較
- 4 年齢調整死亡率の比較

石川県の罹患率及び年齢調整罹患率(平成 16年値)と全国推計値(平成 13年)とを比較した。全国推計値は、厚生省労働科学研究費補助金第3次対がん総合戦略研究事業「がん罹患・死亡動向の実態把握の研究」班で罹患データを収集し、がん対策情報センターで解析・公表を行っている値を用いた。

また、石川県の死亡率及び年齢調整死亡率(平成 16年値)と全国値についても比較した。全国値は、厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」平成 16年報告書の値を用いた。

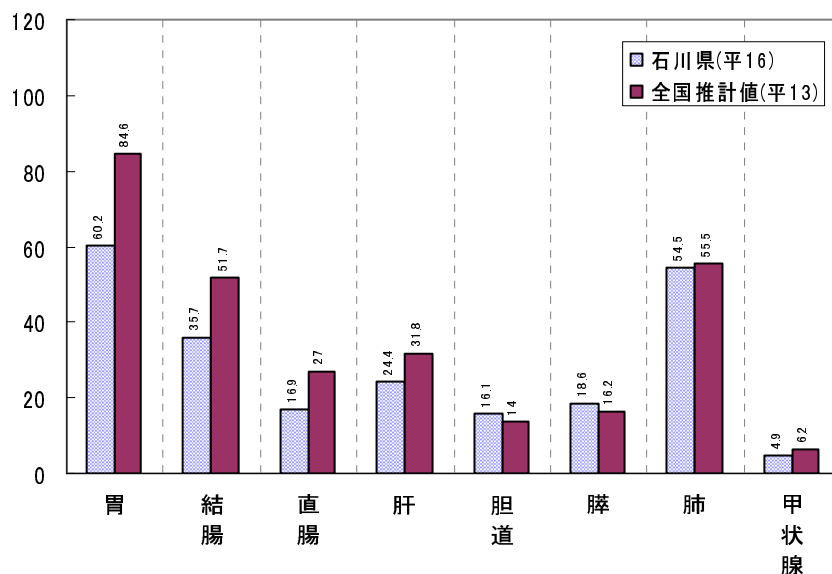
(ただし、「人口動態統計」の死因分類表(死因簡単分類)にない甲状腺がんは除いた。)

### 1 罹患率の比較

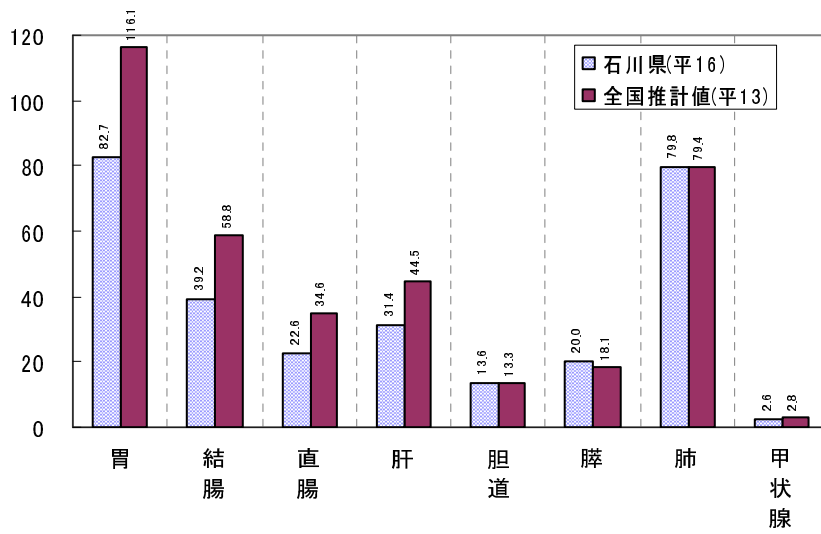
男女計で全国推計値と比較すると、胃、結腸、直腸、肝、肺が低く、胆道、膵が高くなっている。男女別に比較すると、男の胃、結腸、直腸、肝、甲状腺、女の胃、結腸、直腸、肝、肺、乳房、子宮、甲状腺が低く、男の胆道、膵、肺、女の胆道、膵が高くなっている(付表 5-1)。

図 7-1 罹患率(人口10万対)の比較

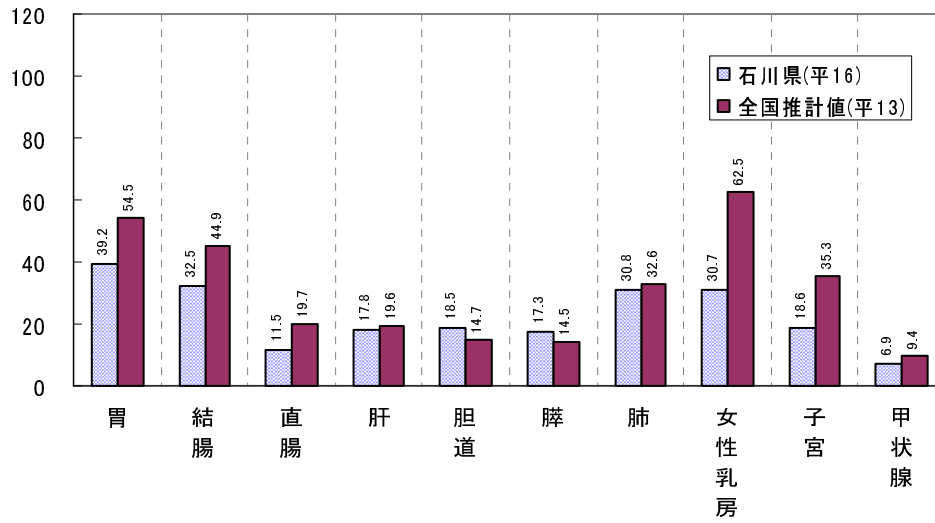
男女計:8部位



男:8部位



女:10部位

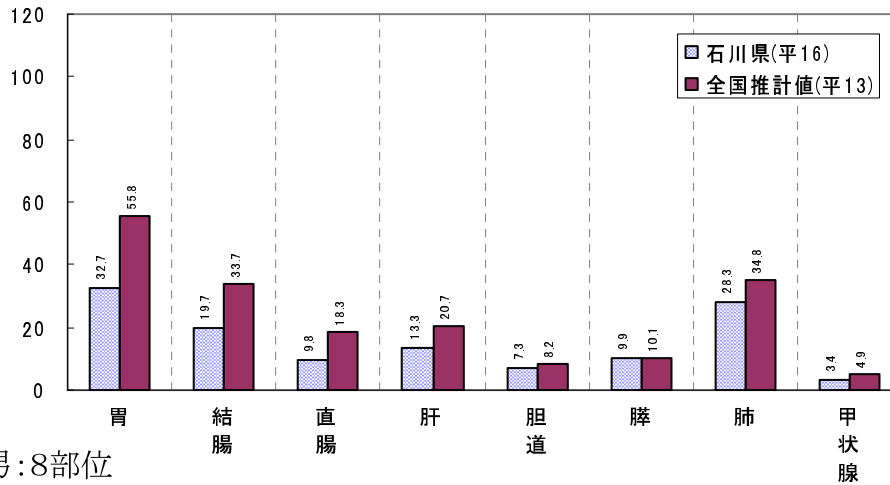


## 2 年齢調整罹患率の比較

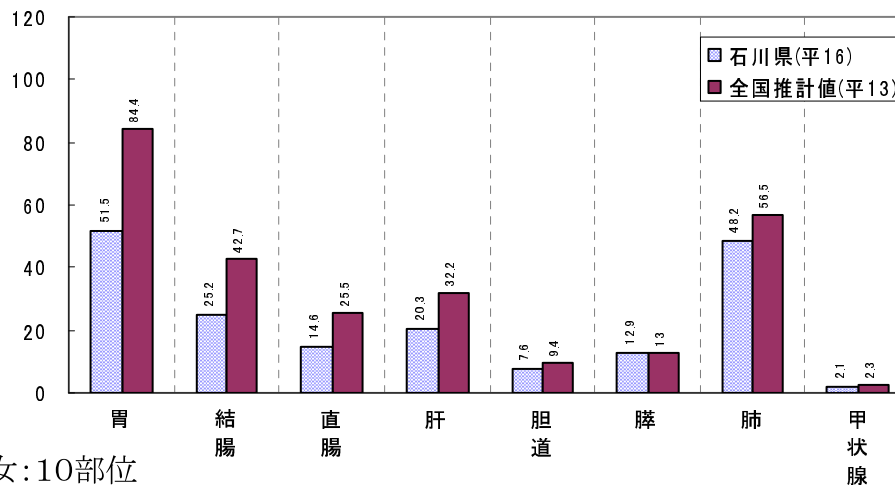
男女計で全国推計値と比較すると、胆道、膵は同レベルであり、胃、結腸、直腸、肝、肺、甲状腺は下回っている(付表 5-2)。

図 7-2 年齢調整罹患率(人口 10 万対)の比較

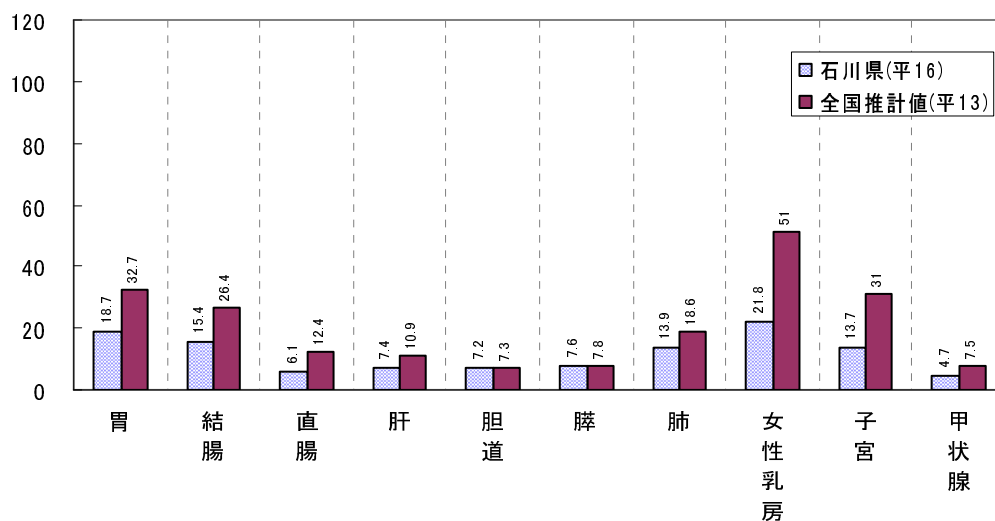
男女計:8部位



男:8部位



女:10部位

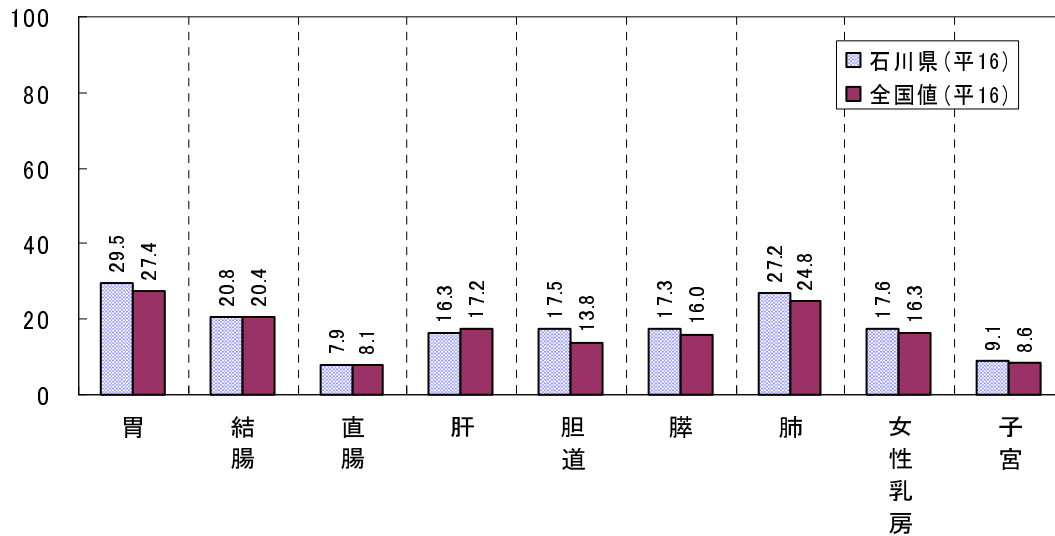
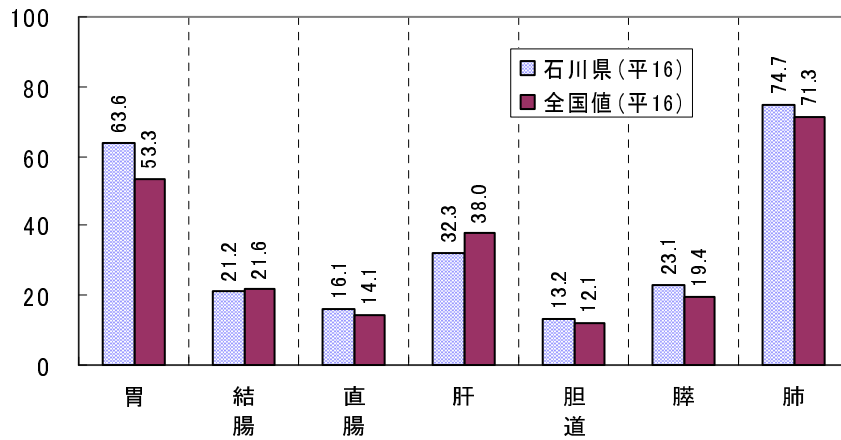
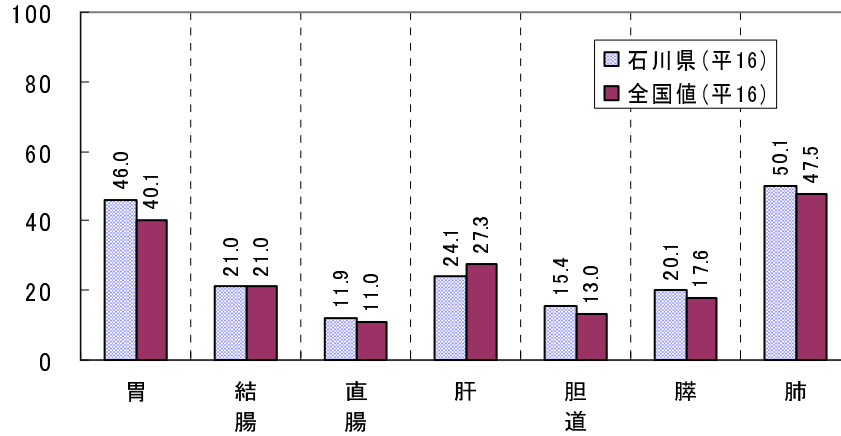


### 3 死亡率の比較

男女計で全国値と比較すると、結腸と肝を除いていずれの部位も高くなっている(付表5-3)。

図 7-3 死亡率(人口10万対)の比較

男女計:7部位



注)データには外国人を含めているため、衛生統計年報(平成15年、石川県健康福祉部)の数値とは一部異なる。

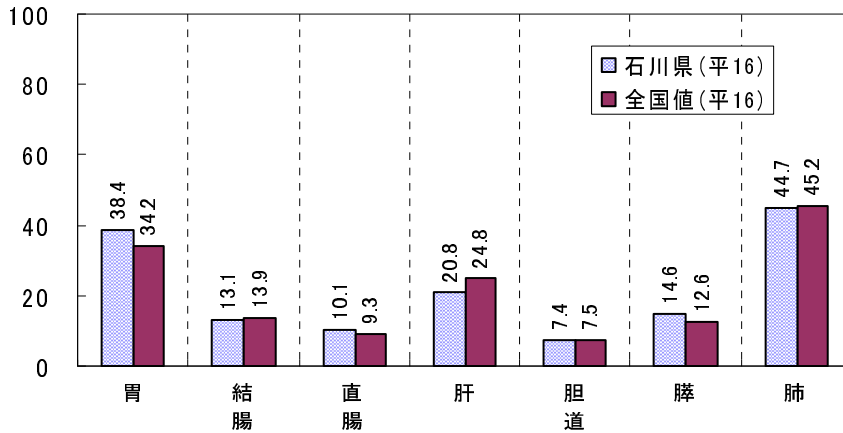
「人口動態統計」の死因分類表(死因簡単分類)にない甲状腺がんは除いた。

## 4 年齢調整死亡率の比較

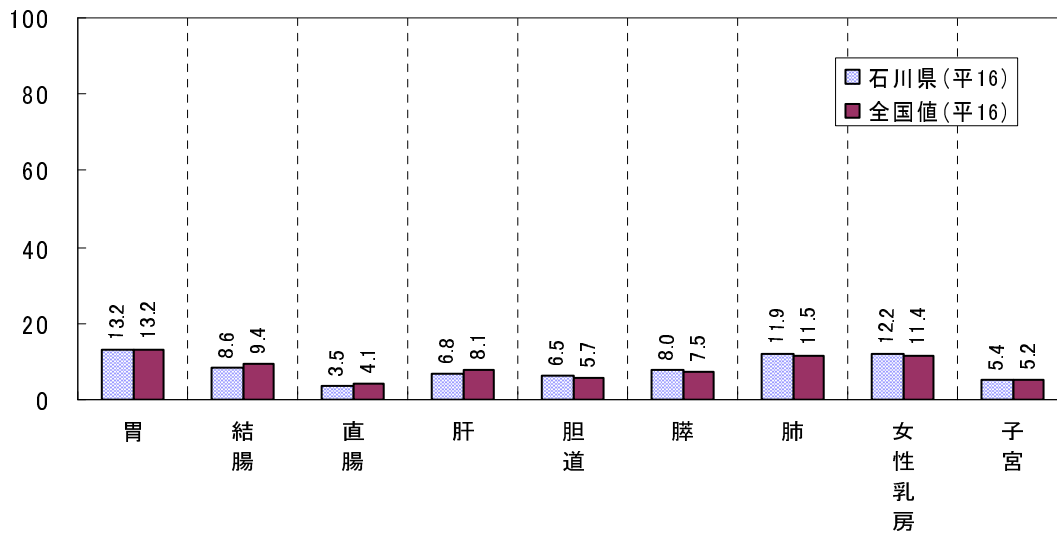
男女別に全国値と比較すると、男の胃が高くなっており、その他の部位では、男女ともほぼ同レベルであった(付表 5-4)。

図 7-4 年齢調整死亡率（人口 10 万対）の比較

男：7部位



女：9部位





## VIII 生存率集計

- 1 生存率集計対象及び方法
- 2 生存率の概要
- 3 生存率と受療状況

### 1 生存率集計対象及び方法

#### (1) 集計対象

平成12年(2000年)に登録された患者を対象とした。

※ 本報告における生存率はDCO(死亡票のみによって登録された者)を除いた患者について算定した。  
また、がんの中には上皮内がんを含んでいる。

表8 生存率集計対象患者数

	総計	胃	結腸	直腸	肝臓	胆道	膵臓	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計	1,470	437	196	140	79	67	59	203	174	65	50
男	775	313	98	88	47	33	32	159	-	-	5
女	695	124	98	52	32	34	27	44	174	65	45

#### (2) 生存率の計算方法

カプラン・マイヤー(Kaplan-Meier)法を用いて、がんに罹患した人の中でがんによる死亡とその他全ての死因による死亡を死亡として、5年生存率を計算した。ただし、がん以外の死因による死亡確率は、患者の性・年齢及び暦年により異なり、累積生存率はこれらの要因により影響を受ける。

この影響を除くために、対象者の性・年齢と等しい一般住民から得た期待生存率で実測生存率を除して得られる相対生存率を併せて計算した。

#### (3) 予後調査の方法

死亡の把握は、罹患届出票と人口動態調査死亡票との照合により行っている。ただし、がん登録患者のうち罹患届出票で登録され、かつ死亡票がない患者を対象とした個々の生存確認調査は行っていない。

## 2 生存率の概要

### (1) 部位別5年生存率、5年相対生存率（付表6-1）

部位別に生存率を見ると、男女計で消化管(胃、結腸、直腸)で5年生存率は50から60%前後であるが、肝、胆道系、膵及び肺は数%から30%弱と生存率は低くなっている。甲状腺は92.0%と最も高くなっている。

図8-1 部位別5年生存率（平成12年）

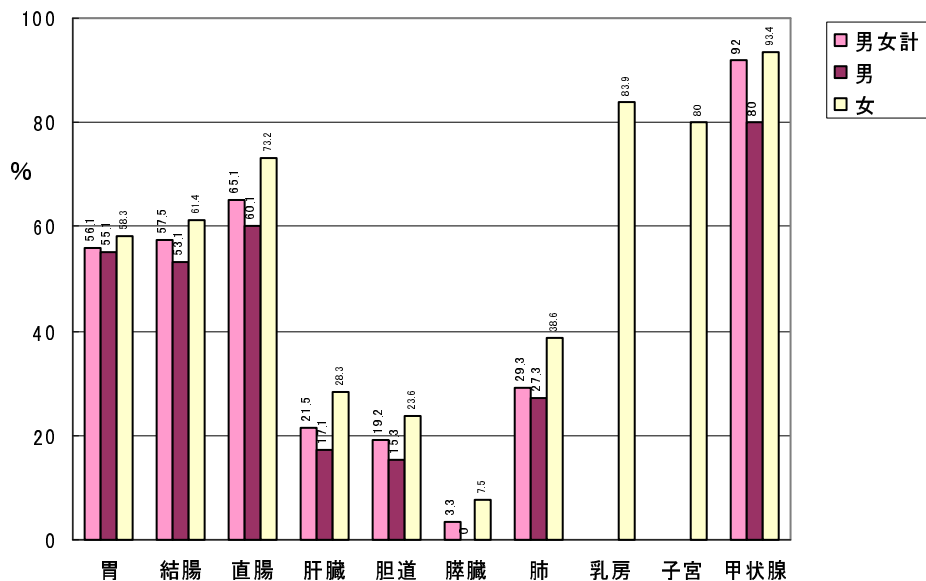


図8-2 部位別5年相対生存率（平成12年）

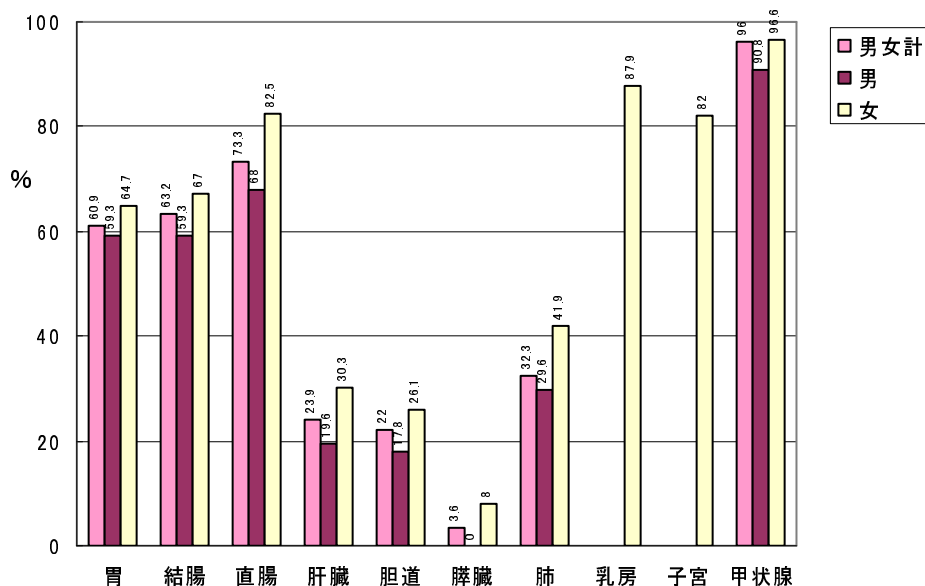
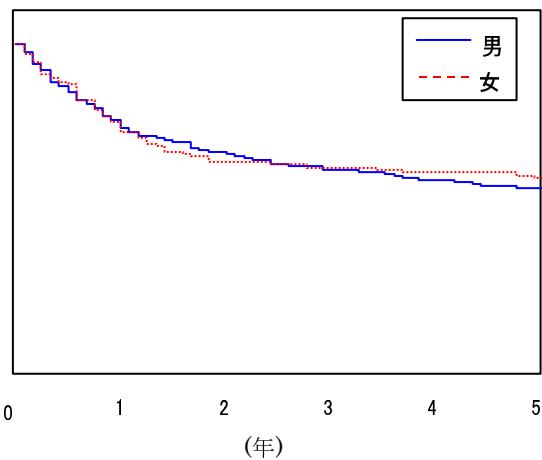
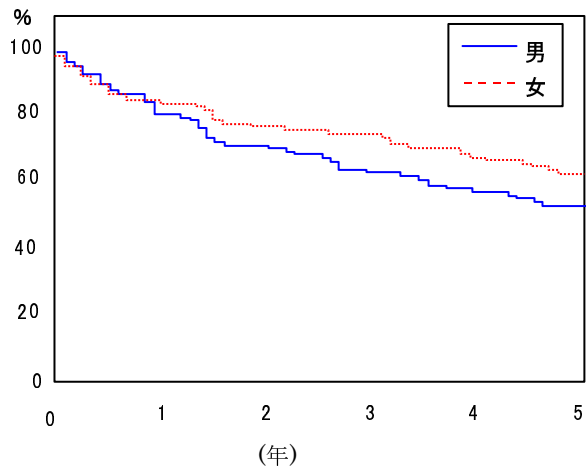


图 8-3 部位別 5 年生存率曲線

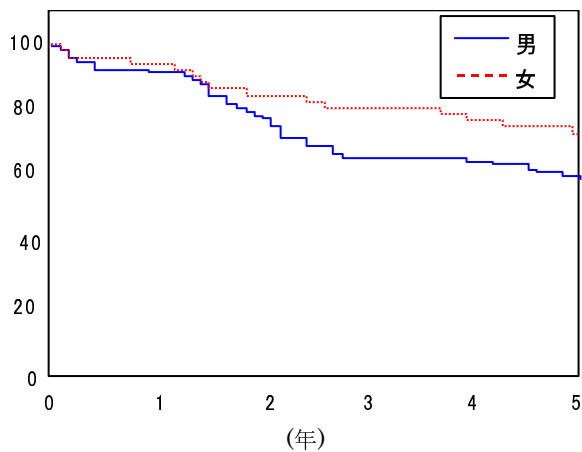
胃



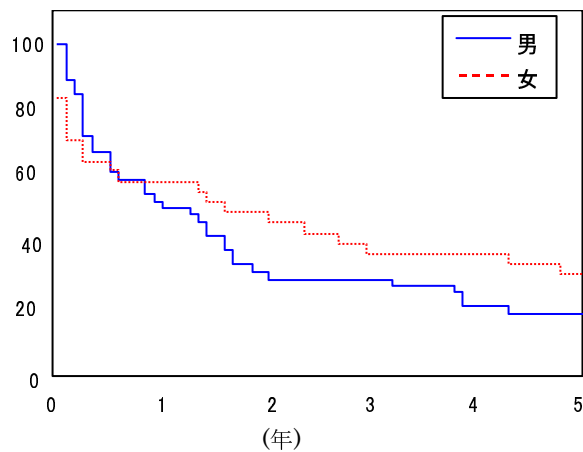
結腸



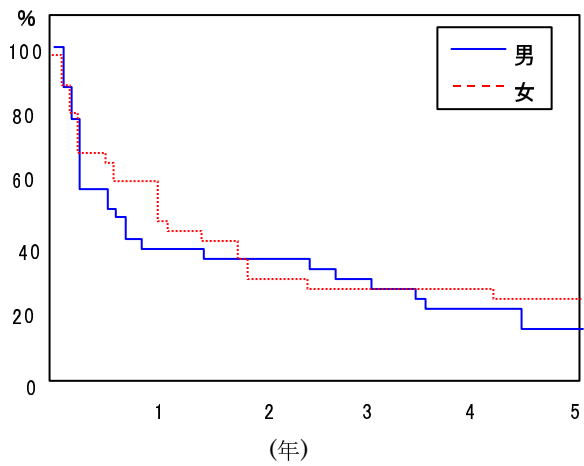
直腸



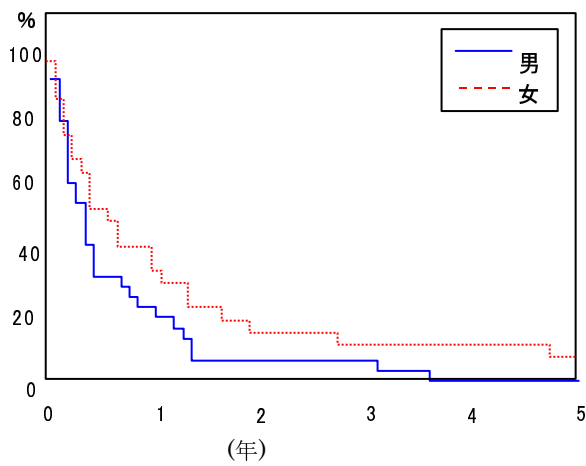
肝



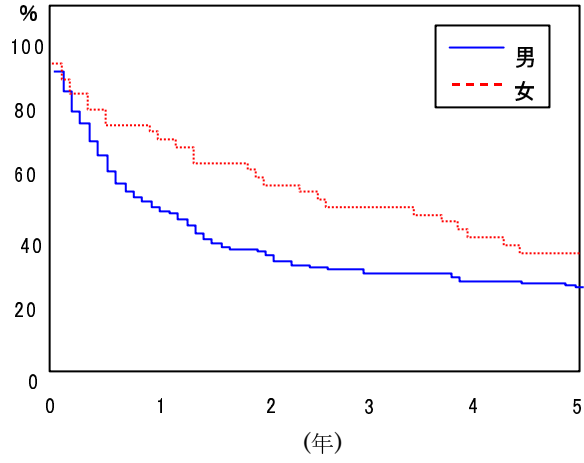
胆道



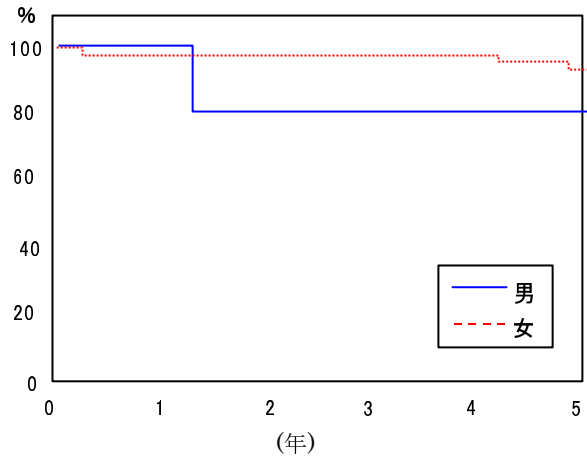
膵



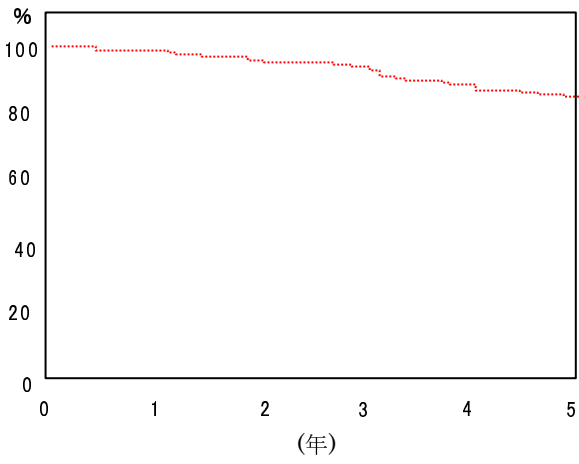
肺



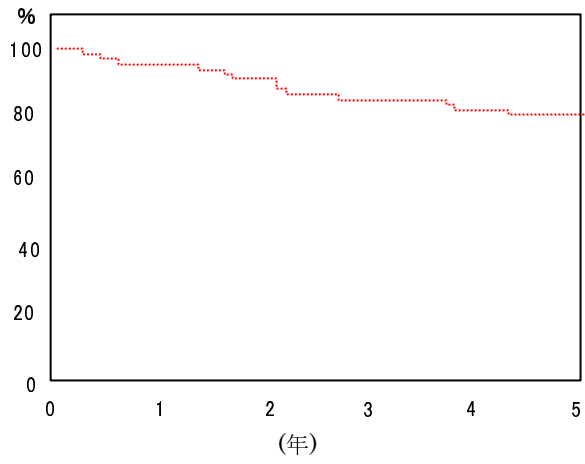
甲状腺



女性乳房



子宫



(1) がん検診受診群と外来群における生存率（付表 6-2）

検診(施設検診と集団検診と健康診断(ドックを含む。))でのがん発見群(以下、「検診群」という。)と検診以外の外来診療(直接受診と他院からの紹介)のがん発見群(以下、「外来群」という。)別に5年生存率を示した。部位は、「健康診査管理指導等事業実施のための指針」に基づき、がん検診を行っている6部位及び甲状腺に限った。いずれの部位も検診群の生存率が外来群の生存率を上回っていた。

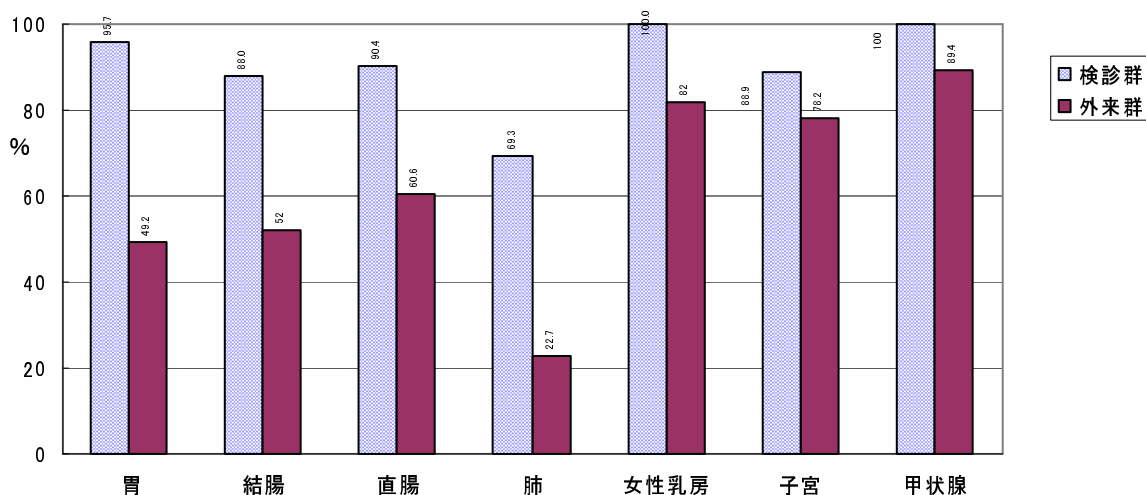


図 8-4 検診群、外来群別 5 年生存率

(2) 病巣のひろがりによる生存率の状況（付表 6-3）

病巣のひろがり別(早期、進行がん)<sup>注)</sup>の5年生存率を示したが、いずれの部位も早期の生存率が進行がんの生存率を上回っていた。

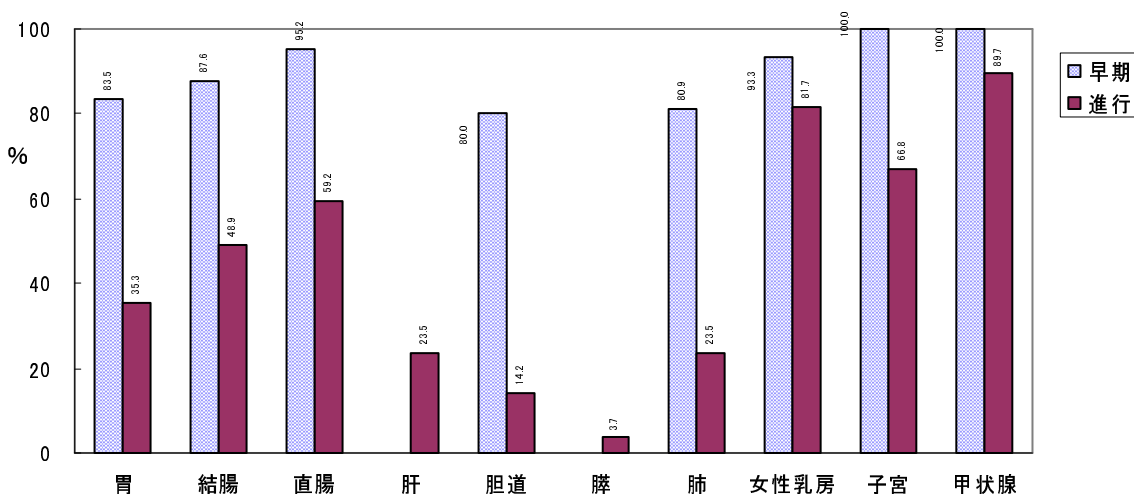


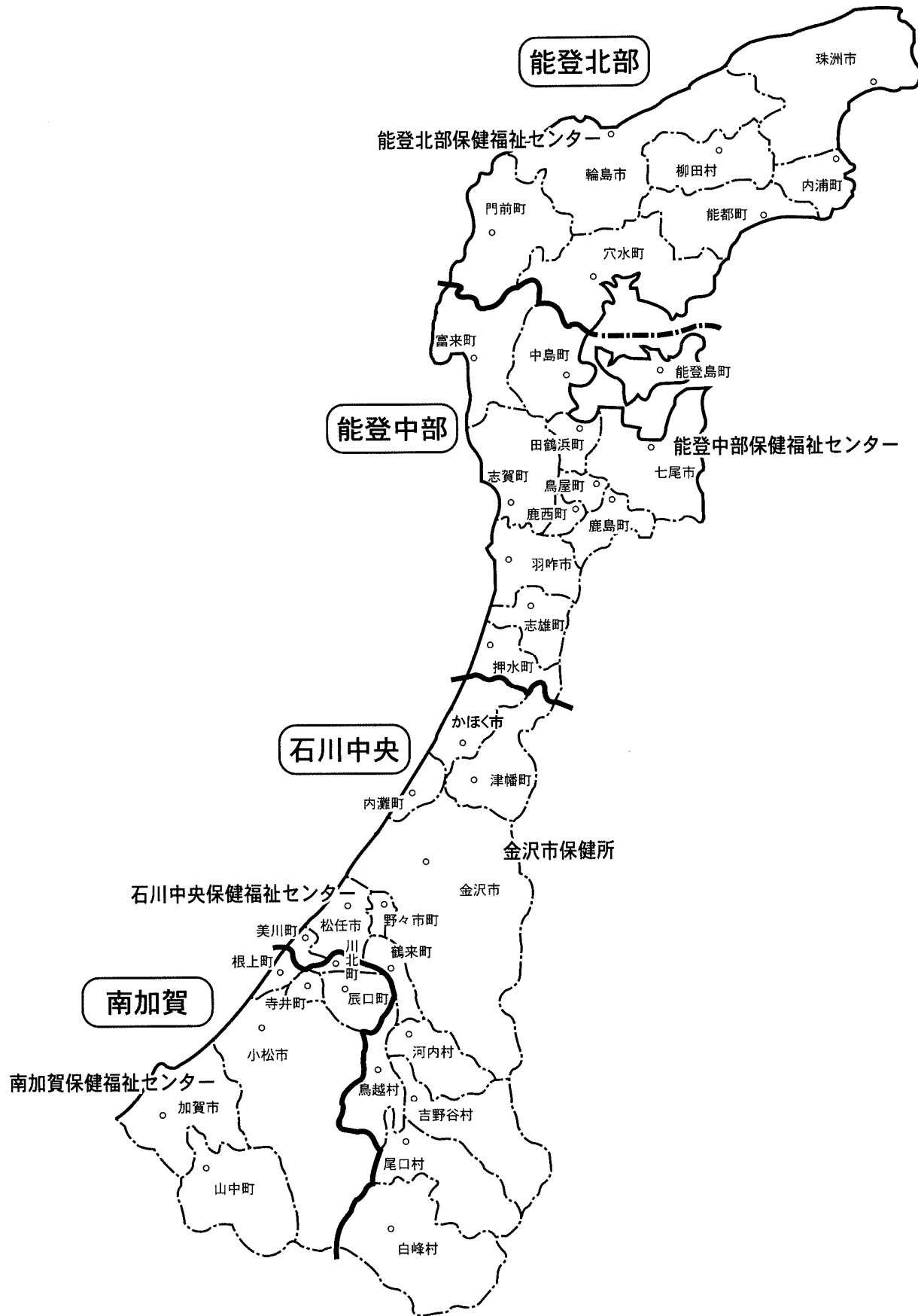
図 8-5 病巣のひろがり別 5 年生存率

※肝、膵の早期は、該当患者がいなかった。

注) 「病巣のひろがり」は次の区分による。

- 早期(上皮内がんを含む。)
- 進行がん(限局性、所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤、遠隔転移)

# <参 考> 二次医療圏域



平成16年4月1日当時

# 付 表





I 罹患集計関係

年齢調整率は直接法、昭和60年モデル人口を使用

(数は人、率は人口10万対) 集計期間 平成16年1月～12月

表1-1 罹患数、罹患率、年齢調整罹患率

(平成16年)

部位	罹患数			罹患率 (人口10万対)			年齢調整罹患率 (人口10万対)		
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
胃	706	468	238	60.2	82.7	39.2	32.7	51.5	18.7
結腸	419	222	197	35.7	39.2	32.5	19.7	25.2	15.4
直腸	198	128	70	16.9	22.6	11.5	9.8	14.6	6.1
肝	286	178	108	24.4	31.4	17.8	13.3	20.3	7.4
胆道	189	77	112	16.1	13.6	18.5	7.3	7.6	7.2
膵	218	113	105	18.6	20.0	17.3	9.9	12.9	7.6
肺	639	452	187	54.5	79.8	30.8	28.3	48.2	13.9
女性乳房	186	—	186	—	—	30.7	—	—	21.8
子宮	113	—	113	—	—	18.6	—	—	13.7
甲状腺	57	15	42	4.9	2.6	6.9	3.4	2.1	4.7
計	3,011	1,653	1,358						

表1-2 部位別罹患率経年変化(平成4年～16年)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計										
平成4	85.0	31.2	20.5	23.4	15.3	15.4	47.7			7.6
平成5	85.8	32.7	18.7	22.4	16.7	14.9	46.0			8.1
平成6	86.4	32.6	19.2	23.4	16.6	17.1	47.7			8.8
平成7	78.4	38.4	21.4	24.6	13.8	15.7	47.7			6.7
平成8	80.3	29.8	20.9	22.9	16.6	16.3	44.7			6.6
平成9	73.6	33.4	19.5	26.7	16.0	15.9	51.7			5.3
平成10	70.5	33.1	19.3	26.1	16.1	17.8	53.1			6.0
平成11	69.5	33.6	21.8	23.7	14.8	18.8	49.6			6.8
平成12	63.7	29.1	18.0	24.4	17.7	17.6	49.1			5.3
平成13	67.8	31.3	17.2	23.9	14.0	18.0	50.3			6.5
平成14	65.8	36.1	19.5	24.1	18.4	17.4	53.7			5.8
平成15	57.3	30.7	15.0	22.5	16.4	17.4	47.8			3.1
平成16	60.2	35.7	16.9	24.4	16.1	18.6	54.5			4.9
男										
平成4	113.6	36.1	26.7	33.8	12.8	17.6	67.7			1.8
平成5	120.9	37.1	24.7	31.4	14.6	17.6	69.8			2.7
平成6	114.1	37.9	23.9	31.7	15.9	20.0	67.7			2.3
平成7	100.2	43.6	27.7	33.1	12.4	18.7	69.9			1.8
平成8	105.8	31.8	24.0	29.0	15.7	18.5	70.1			2.1
平成9	97.6	35.8	24.8	37.8	15.2	18.2	76.8			1.2
平成10	92.9	37.9	24.1	35.1	14.0	19.4	79.3			2.0
平成11	95.5	39.5	25.0	32.0	13.1	21.1	73.2			2.6
平成12	88.9	31.3	22.4	32.2	17.1	19.3	75.8			1.4
平成13	93.4	35.2	22.5	32.4	11.1	19.3	78.3			3.7
平成14	85.7	39.1	24.3	29.7	18.1	17.9	81.6			1.9
平成15	74.2	33.3	19.4	30.1	12.5	20.1	73.3			2.1
平成16	82.7	39.2	22.6	31.4	13.6	20.0	79.8			2.6
女										
平成4	58.3	26.7	14.7	13.7	17.7	13.4	28.5	40.7	24.7	13.1
平成5	53.2	28.6	13.1	14.0	18.7	12.4	24.0	42.0	25.3	13.2
平成6	60.7	27.7	14.8	15.7	17.2	14.3	29.0	41.6	22.6	14.8
平成7	57.9	33.5	15.4	16.6	15.1	12.8	26.9	42.0	20.4	11.3
平成8	56.5	27.8	18.0	17.2	17.4	14.2	21.0	38.2	22.9	10.8
平成9	51.1	31.1	14.4	16.4	16.7	13.8	28.2	41.1	24.4	9.2
平成10	49.6	28.6	14.9	17.7	18.2	16.4	28.6	39.9	18.8	10.5
平成11	45.2	28.1	18.8	15.9	16.4	16.5	27.5	38.3	20.0	10.8
平成12	40.0	27.1	13.9	17.2	18.2	16.1	24.0	36.7	15.4	8.9
平成13	43.8	27.7	12.2	16.0	16.8	16.8	24.0	31.4	18.8	9.2
平成14	47.2	33.2	15.0	18.8	18.6	17.0	27.7	32.8	15.6	9.4
平成15	41.5	28.3	10.9	15.3	20.1	14.8	24.1	26.5	17.0	4.0
平成16	39.2	32.5	11.5	17.8	18.5	17.3	30.8	30.7	18.6	6.9

表1-3 部位別年齢調整罹患率経年変化(平成4年~16年)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計										
平成4	66.3	23.9	15.9	18.4	11.3	11.1	35.3			6.8
平成5	66.2	24.8	14.7	17.3	11.6	10.8	33.6			7.1
平成6	64.4	23.8	14.9	17.5	11.1	12.0	33.9			7.9
平成7	56.4	26.9	15.6	17.5	8.8	10.7	32.7			5.9
平成8	56.3	20.6	14.9	16.3	10.4	10.7	29.7			5.6
平成9	49.6	22.5	14.1	18.7	9.6	10.1	33.5			4.5
平成10	47.2	21.5	13.1	17.4	9.6	11.1	33.6			5.0
平成11	45.3	21.1	14.4	15.3	8.5	11.4	30.8			5.6
平成12	39.6	17.5	11.7	15.7	9.8	10.5	29.1			4.0
平成13	41.2	18.8	10.7	14.6	7.2	10.8	29.1			5.1
平成14	38.6	20.1	12.1	14.6	9.4	9.8	30.7			4.4
平成15	31.8	16.8	8.7	12.8	7.8	9.2	25.6			2.2
平成16	32.7	19.7	9.8	13.3	7.3	9.9	28.3			3.4
男										
平成4	99.1	31.2	23.2	29.4	11.2	15.1	58.0			1.6
平成5	103.4	31.6	21.2	26.8	12.2	14.7	58.6			2.4
平成6	95.3	31.1	20.3	26.8	13.0	16.5	55.5			2.0
平成7	81.6	35.4	22.8	27.0	9.8	15.2	56.2			1.6
平成8	84.5	25.4	19.1	23.1	12.0	14.4	54.4			1.9
平成9	75.4	27.7	20.0	29.1	11.5	13.9	58.1			1.1
平成10	70.8	28.6	18.1	26.5	10.2	14.4	58.7			1.3
平成11	70.5	28.8	18.5	23.5	9.1	15.3	52.3			2.1
平成12	63.6	21.9	16.3	23.3	11.7	13.6	52.6			2.1
平成13	64.5	24.4	15.9	22.9	7.2	13.7	51.9			2.7
平成14	58.0	25.4	16.7	20.2	11.7	12.2	53.6			1.5
平成15	47.9	21.6	12.8	20.1	7.8	12.6	45.8			1.5
平成16	51.5	25.2	14.6	20.3	7.6	12.9	48.2			2.1
女										
平成4	41.1	18.7	10.2	9.5	11.2	8.2	18.7	35.0	21.1	11.5
平成5	37.4	19.6	9.4	9.4	11.4	8.1	15.5	36.4	21.6	11.3
平成6	41.2	18.5	10.2	9.8	9.5	8.2	18.4	36.1	18.8	13.5
平成7	37.5	20.9	10.1	9.8	8.4	7.3	16.2	35.2	17.0	10.0
平成8	35.6	17.1	11.7	10.5	9.1	7.8	12.5	30.5	18.8	8.9
平成9	29.7	18.6	9.4	10.4	8.0	7.4	16.3	34.6	20.0	7.6
平成10	28.9	15.9	9.2	10.2	9.2	8.4	15.4	32.1	14.5	8.5
平成11	26.5	14.9	11.3	8.6	8.4	8.4	15.7	31.2	17.3	8.7
平成12	21.0	14.3	7.9	9.6	8.3	8.2	12.1	28.4	12.6	6.7
平成13	24.0	14.5	6.7	7.7	7.1	8.6	13.0	23.4	14.4	7.5
平成14	23.6	16.2	8.5	10.2	7.7	7.7	13.9	24.5	13.1	7.3
平成15	19.7	13.0	5.5	6.7	7.7	6.8	11.3	18.8	11.8	2.8
平成16	18.7	15.4	6.1	7.4	7.2	7.6	13.9	21.8	13.7	4.7

表1-4 年齢階級別罹患数

## 男女計:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	1,172,528	2712	706	419	198	286	189	218	639	57
0～4歳	54,981	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9	56,520	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14	57,025	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19	63,397	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	66,933	1	0	0	0	0	0	0	0	1
25～29	77,409	4	1	0	0	0	0	0	0	3
30～34	87,018	6	2	1	2	0	0	0	1	0
35～39	73,230	11	1	3	1	0	0	3	1	2
40～44	69,180	21	6	4	3	1	1	0	3	3
45～49	71,114	44	14	7	5	3	0	4	7	4
50～54	83,675	102	29	22	10	12	4	11	12	2
55～59	94,149	217	55	39	26	22	6	17	43	9
60～64	78,674	230	59	41	23	35	11	15	42	4
65～69	62,925	322	85	50	23	38	13	27	80	6
70～74	60,680	404	117	57	21	48	27	31	99	4
75～79	51,074	476	122	64	21	47	33	34	150	5
80～84	34,130	429	101	62	36	38	39	36	110	7
85～89	21,618	269	71	40	17	31	27	25	53	5
90～	8,796	176	43	29	10	11	28	15	38	2

## 男:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	566,129	1653	468	222	128	178	77	113	452	15
0～4歳	28,039	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9	28,997	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14	29,008	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19	32,566	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	35,351	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29	40,236	1	0	0	0	0	0	0	0	1
30～34	43,515	2	0	1	1	0	0	0	0	0
35～39	36,205	7	1	2	0	0	0	3	0	1
40～44	34,086	13	5	2	2	1	0	0	2	1
45～49	35,043	31	9	4	4	3	0	4	4	2
50～54	41,331	59	11	15	5	10	0	8	10	0
55～59	46,341	147	46	22	17	19	4	8	30	0
60～64	38,214	158	44	25	14	26	5	9	29	1
65～69	28,948	224	60	28	17	29	5	17	65	2
70～74	26,627	276	88	37	16	33	14	15	71	0
75～79	21,093	313	83	33	19	24	17	15	116	1
80～84	12,209	234	63	28	20	17	14	15	73	4
85～89	6,433	138	42	17	11	13	12	13	28	2
90～	1,887	65	16	8	2	3	6	6	24	0

※年齢階級別人口は、国勢調査年次は国勢調査人口、中間年は石川県推計人口。

女:10部位

年 齡	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膝	肺	甲状腺
總 計	606,399	1358	238	197	70	108	112	105	187	42
0~4歲	26,942	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~9	27,523	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	28,017	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~19	30,831	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20~24	31,582	1	0	0	0	0	0	0	0	1
25~29	37,173	4	1	0	0	0	0	0	0	2
30~34	43,503	10	2	0	1	0	0	0	1	0
35~39	37,025	17	0	1	1	0	0	0	1	1
40~44	35,094	23	1	2	1	0	1	0	1	2
45~49	36,071	43	5	3	1	0	0	0	3	2
50~54	42,344	74	18	7	5	2	4	3	2	2
55~59	47,808	109	9	17	9	3	2	9	13	9
60~64	40,460	115	15	16	9	9	6	6	13	3
65~69	33,977	127	25	22	6	9	8	10	15	4
70~74	34,053	160	29	20	5	15	13	16	28	4
75~79	29,981	189	39	31	2	23	16	19	34	4
80~84	21,921	221	38	34	16	21	25	21	37	3
85~89	15,185	143	29	23	6	18	15	12	25	3
90~	6,909	122	27	21	8	8	22	9	14	2

年 齡	階級別人口	女性乳房			子 宮				
		小計	浸潤	上皮内	小計	部位不明	頸部	体部	頸部 上皮内
總 計	606,399	186	164	22	113	24	43	31	15
0~4歲	26,942	0	0	0	0	0	0	0	0
5~9	27,523	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	28,017	0	0	0	0	0	0	0	0
15~19	30,831	0	0	0	0	0	0	0	0
20~24	31,582	0	0	0	0	0	0	0	0
25~29	37,173	0	0	0	1	0	0	0	1
30~34	43,503	1	1	0	5	0	1	1	3
35~39	37,025	4	4	0	9	1	5	0	3
40~44	35,094	8	8	0	7	1	3	0	3
45~49	36,071	22	20	2	7	0	1	3	3
50~54	42,344	19	17	2	12	1	5	5	1
55~59	47,808	24	20	4	14	3	5	5	1
60~64	40,460	24	22	2	14	3	3	8	0
65~69	33,977	21	17	4	7	1	3	3	0
70~74	34,053	23	19	4	7	1	5	1	0
75~79	29,981	12	11	1	9	3	3	3	0
80~84	21,921	17	15	2	9	5	3	1	0
85~89	15,185	6	5	1	6	1	4	1	0
90~	6,909	5	5	0	6	4	2	0	0

表1-5 年齡階級別罹患率(人口10万対)

## 男女計:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	1,172,528	256.8	60.2	35.7	16.9	24.4	16.1	18.6	54.5	4.9
0~4歳	54,981	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	56,520	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	57,025	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	63,397	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	66,933	1.5	-	-	-	-	-	-	-	1.5
25~29	77,409	6.5	1.3	-	-	-	-	-	-	3.9
30~34	87,018	13.8	2.3	1.1	2.3	-	-	-	1.1	-
35~39	73,230	32.8	1.4	4.1	1.4	-	-	4.1	1.4	2.7
40~44	69,180	52.0	8.7	5.8	4.3	1.4	1.4	-	4.3	4.3
45~49	71,114	102.7	19.7	9.8	7.0	4.2	-	5.6	9.8	5.6
50~54	83,675	158.9	34.7	26.3	12.0	14.3	4.8	13.1	14.3	2.4
55~59	94,149	270.8	58.4	41.4	27.6	23.4	6.4	18.1	45.7	9.6
60~64	78,674	340.6	75.0	52.1	29.2	44.5	14.0	19.1	53.4	5.1
65~69	62,925	556.2	135.1	79.5	36.6	60.4	20.7	42.9	127.1	9.5
70~74	60,680	715.2	192.8	93.9	34.6	79.1	44.5	51.1	163.2	6.6
75~79	51,074	973.1	238.9	125.3	41.1	92.0	64.6	66.6	293.7	9.8
80~84	34,130	1333.1	295.9	181.7	105.5	111.3	114.3	105.5	322.3	20.5
85~89	21,618	1299.8	328.4	185.0	78.6	143.4	124.9	115.6	245.2	23.1
90~	8,796	2126.0	488.9	329.7	113.7	125.1	318.3	170.5	432.0	22.7

## 男:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	566,129	292.0	82.7	39.2	22.6	31.4	13.6	20.0	79.8	2.6
0~4歳	28,039	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	28,997	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	29,008	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	32,566	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	35,351	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	40,236	2.5	-	-	-	-	-	-	-	2.5
30~34	43,515	4.6	-	2.3	2.3	-	-	-	-	-
35~39	36,205	19.3	2.8	5.5	-	-	-	8.3	-	2.8
40~44	34,086	38.1	14.7	5.9	5.9	2.9	-	-	5.9	2.9
45~49	35,043	85.6	25.7	11.4	11.4	8.6	-	11.4	11.4	5.7
50~54	41,331	142.7	26.6	36.3	12.1	24.2	-	19.4	24.2	-
55~59	46,341	315.1	99.3	47.5	36.7	41.0	8.6	17.3	64.7	-
60~64	38,214	400.4	115.1	65.4	36.6	68.0	13.1	23.6	75.9	2.6
65~69	28,948	770.3	207.3	96.7	58.7	100.2	17.3	58.7	224.5	6.9
70~74	26,627	1029.0	330.5	139.0	60.1	123.9	52.6	56.3	266.6	-
75~79	21,093	1460.2	393.5	156.5	90.1	113.8	80.6	71.1	549.9	4.7
80~84	12,209	1916.6	516.0	229.3	163.8	139.2	114.7	122.9	597.9	32.8
85~89	6,433	2145.2	652.9	264.3	171.0	202.1	186.5	202.1	435.3	31.1
90~	1,887	3444.6	847.9	424.0	106.0	159.0	318.0	318.0	1271.9	-

女:10部位

年 齡	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総 計	606,399	223.9	39.2	32.5	11.5	17.8	18.5	17.3	30.8	6.9
0～4歳	26,942	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9	27,523	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14	28,017	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19	30,831	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～24	31,582	3.2	-	-	-	-	-	-	-	3.2
25～29	37,173	10.8	2.7	-	-	-	-	-	-	5.4
30～34	43,503	23.0	4.6	-	2.3	-	-	-	2.3	-
35～39	37,025	45.9	-	2.7	2.7	-	-	-	2.7	2.7
40～44	35,094	65.5	2.8	5.7	2.8	-	2.8	-	2.8	5.7
45～49	36,071	119.2	13.9	8.3	2.8	-	-	-	8.3	5.5
50～54	42,344	174.8	42.5	16.5	11.8	4.7	9.4	7.1	4.7	4.7
55～59	47,808	228.0	18.8	35.6	18.8	6.3	4.2	18.8	27.2	18.8
60～64	40,460	284.2	37.1	39.5	22.2	22.2	14.8	14.8	32.1	7.4
65～69	33,977	373.8	73.6	64.7	17.7	26.5	23.5	29.4	44.1	11.8
70～74	34,053	469.9	85.2	58.7	14.7	44.0	38.2	47.0	82.2	11.7
75～79	29,981	630.4	130.1	103.4	6.7	76.7	53.4	63.4	113.4	13.3
80～84	21,921	1008.2	173.3	155.1	73.0	95.8	114.0	95.8	168.8	13.7
85～89	15,185	941.7	191.0	151.5	39.5	118.5	98.8	79.0	164.6	19.8
90～	6,909	1765.8	390.8	304.0	115.8	115.8	318.4	130.3	202.6	28.9

年 齡	階級別人口	女性乳房			子 宮				
		小計	浸潤	上皮内	小計	部位不明	頸部	体部	頸部 上皮内
総 計	606,399	30.7	27.0	3.6	18.6	4.0	7.1	5.1	2.5
0～4歳	26,942	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9	27,523	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14	28,017	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19	30,831	-	-	-	-	-	-	-	-
20～24	31,582	-	-	-	-	-	-	-	-
25～29	37,173	-	-	-	2.7	-	-	-	2.7
30～34	43,503	2.3	2.3	-	11.5	-	2.3	2.3	6.9
35～39	37,025	10.8	10.8	-	24.3	2.7	13.5	-	8.1
40～44	35,094	22.8	22.8	-	19.9	2.8	8.5	-	8.5
45～49	36,071	61.0	55.4	5.5	19.4	-	2.8	8.3	8.3
50～54	42,344	44.9	40.1	4.7	28.3	2.4	11.8	11.8	2.4
55～59	47,808	50.2	41.8	8.4	29.3	6.3	10.5	10.5	2.1
60～64	40,460	59.3	54.4	4.9	34.6	7.4	7.4	19.8	-
65～69	33,977	61.8	50.0	11.8	20.6	2.9	8.8	8.8	-
70～74	34,053	67.5	55.8	11.7	20.6	2.9	14.7	2.9	-
75～79	29,981	40.0	36.7	3.3	30.0	10.0	10.0	10.0	-
80～84	21,921	77.6	68.4	9.1	41.1	22.8	13.7	4.6	-
85～89	15,185	39.5	32.9	6.6	39.5	6.6	26.3	6.6	-
90～	6,909	72.4	72.4	-	86.8	57.9	28.9	-	-

表1-6 年齢階級別罹患順位及び罹患数

男女計

年齢階級	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数
総数	胃	706	肺	639	結腸	419	肝	286	膵	218
0~4歳										
5~9										
10~14										
15~19										
20~24	甲状腺	1			子宮	1				
25~29	甲状腺	3	胃	1	直腸	2	結腸	1	肺	1
30~34	子宮	5	胃	2	直腸	2	結腸	3	膵	3
35~39	子宮	9	乳房	4	結腸	3	膵	3	甲状腺	2
40~44	乳房	8	子宮	7	胃	6	結腸	4	直腸	3
45~49	乳房	22	胃	14	結腸	7	肺	7	子宮	7
50~54	胃	29	結腸	22	乳房	19	肝	12	肺	12
55~59	胃	55	肺	43	結腸	39	直腸	26	乳房	24
60~64	胃	59	肺	42	結腸	41	肝	35	乳房	24
65~69	胃	85	肺	80	結腸	50	肝	38	膵	27
70~74	胃	117	肺	99	結腸	57	肝	48	膵	31
75~79	肺	150	胃	122	結腸	64	肝	47	膵	34
80~84	肺	110	胃	101	結腸	62	胆道	39	肝	38
85~89	胃	71	肺	53	結腸	40	肝	31	胆道	27
90~	胃	43	肺	38	結腸	29	胆道	28	膵	15

男

年齢階級	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数
総数	胃	468	肺	452	結腸	222	肝	178	直腸	128
0~4歳										
5~9										
10~14										
15~19										
20~24										
25~29	甲状腺	1								
30~34	結腸	1	直腸	1						
35~39	膵	3	結腸	2	胃	1	甲状腺	1		
40~44	胃	5	結腸	2	直腸	2	肺	2	肝	1
45~49	胃	9	結腸	4	直腸	4	膵	4	肺	4
50~54	結腸	15	胃	11	肝	10	肺	10	膵	8
55~59	胃	46	肺	30	結腸	22	肝	19	直腸	17
60~64	胃	44	肺	29	肝	26	結腸	25	直腸	14
65~69	肺	65	胃	60	肝	29	結腸	28	直腸	17
70~74	胃	88	肺	71	結腸	37	肝	33	直腸	16
75~79	肺	116	胃	83	結腸	33	肝	24	直腸	19
80~84	肺	73	胃	63	結腸	28	直腸	20	肝	17
85~89	胃	42	肺	28	結腸	17	肝	13	膵	13
90~	肺	24	胃	16	結腸	8	胆道	6	膵	6

女

年齢階級	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数
総数	胃	238	結腸	197	肺	187	乳房	186	子宮	113
0~4歳										
5~9										
10~14										
15~19										
20~24	甲状腺	1								
25~29	甲状腺	2	胃	1	子宮	1				
30~34	子宮	5	胃	2	直腸	1	肺	1	乳房	1
35~39	子宮	9	乳房	4	結腸	1	直腸	1	肺	1
40~44	乳房	8	子宮	7	結腸	2	甲状腺	2	胃	1
45~49	乳房	22	子宮	7	胃	5	結腸	3	肺	3
50~54	乳房	19	胃	18	子宮	12	結腸	7	直腸	5
55~59	乳房	24	結腸	17	子宮	14	肺	13	胃	9
60~64	乳房	24	結腸	16	胃	15	子宮	14	肺	13
65~69	胃	25	結腸	22	乳房	21	肺	15	膵	10
70~74	胃	29	肺	28	乳房	23	結腸	20	膵	16
75~79	胃	39	肺	34	結腸	31	肝	23	膵	19
80~84	胃	38	肺	37	結腸	34	胆道	25	肝	21
85~89	胃	29	肺	25	結腸	23	肝	18	胆道	15
90~	胃	27	胆道	22	結腸	21	肺	14	膵	9

Ⅱ 死亡集計関係(年齢調整率は直接法、昭和60年モデル人口を使用)

(数は人:率は人口10万対)集計期間 平成16年1月～12月

表2-1 死亡数、死亡率、年齢調整死亡率

(平成16年)

部位	死亡数			死亡率 (人口10万対)			年齢調整死亡率 (人口10万対)		
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
胃	539	360	179	46.0	63.6	29.5	23.6	38.4	13.2
結腸	246	120	126	21.0	21.2	20.8	10.6	13.1	8.6
直腸	139	91	48	11.9	16.1	7.9	6.4	10.1	3.5
肝	282	183	99	24.1	32.3	16.3	13.1	20.8	6.8
胆道	181	75	106	15.4	13.2	17.5	6.9	7.4	6.5
膵	236	131	105	20.1	23.1	17.3	10.8	14.6	8.0
肺	588	423	165	50.1	74.7	27.2	25.5	44.7	11.9
女性乳房	107	-	107	-	-	17.6	-	-	12.2
子宮	55	-	55	-	-	9.1	-	-	5.4
甲状腺	25	6	19	2.1	1.1	3.1	0.9	0.6	1.1
計	2,398	1,389	1,009						

表2-2 部位別死亡率経年変化(平成4年～16年)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計										
平成4	41.2	13.8	9.7	16.3	12.3	14.0	35.5			1.3
平成5	42.6	15.3	7.4	15.7	13.4	13.3	40.0			1.5
平成6	44.2	14.5	7.9	17.8	13.1	14.8	38.3			1.4
平成7	42.9	18.6	9.2	20.8	12.9	15.5	38.8			0.8
平成8	46.7	17.6	8.9	19.5	13.1	15.5	42.2			1.7
平成9	46.2	19.3	8.0	20.7	13.4	14.0	43.5			0.7
平成10	46.7	19.5	7.9	23.1	13.4	15.7	46.5			1.0
平成11	44.1	19.0	11.2	24.4	14.6	18.7	42.8			1.6
平成12	45.8	20.5	10.0	24.2	15.6	18.9	44.9			1.2
平成13	47.5	20.0	10.2	25.1	12.1	17.4	45.1			1.3
平成14	43.5	23.0	12.9	23.6	17.2	16.4	48.6			1.9
平成15	43.9	22.7	10.6	22.4	16.6	18.0	48.4			1.0
平成16	46.0	21.0	11.9	24.1	15.4	20.1	50.1			2.1
男										
平成4	53.7	15.6	12.4	24.2	11.4	14.9	51.6			0.4
平成5	56.1	14.9	8.9	22.4	11.2	16.7	61.2			0.7
平成6	58.1	16.1	8.9	24.8	11.0	17.2	57.9			1.1
平成7	56.3	20.9	10.9	28.7	10.6	19.0	58.2			0.4
平成8	61.7	19.2	10.5	25.3	12.7	17.6	67.2			1.1
平成9	61.2	21.1	9.9	29.6	12.0	15.6	65.1			0.1
平成10	60.6	20.8	10.1	30.0	11.5	16.2	68.4			0.5
平成11	59.7	19.6	13.6	33.4	12.6	20.6	65.5			0.9
平成12	61.3	21.7	10.4	32.2	15.7	21.9	69.3			0.9
平成13	64.4	23.2	12.8	34.8	9.9	19.2	71.6			1.2
平成14	55.9	22.9	17.9	31.3	15.8	16.2	73.9			1.1
平成15	59.2	23.3	15.2	30.7	13.4	21.1	76.3			0.9
平成16	63.6	21.2	16.1	32.3	13.2	23.1	74.7			1.1
女										
平成4	29.6	12.1	7.1	8.9	13.1	13.1	20.5	10.3	8.4	2.2
平成5	30.1	15.7	5.9	9.4	15.5	10.1	20.2	11.1	8.1	2.3
平成6	31.2	13.0	6.9	11.4	15.0	12.5	20.0	8.9	8.7	1.6
平成7	30.7	16.3	7.3	13.2	15.2	12.2	20.6	13.2	5.6	1.2
平成8	33.1	16.0	6.8	14.0	13.7	13.5	18.6	11.4	9.4	2.3
平成9	32.4	17.4	5.9	12.5	15.0	12.5	23.4	12.7	8.7	1.3
平成10	33.7	18.3	5.9	16.5	15.2	15.2	26.0	12.6	8.3	1.5
平成11	29.5	18.5	9.0	16.0	16.5	16.9	21.6	15.5	7.0	2.3
平成12	31.3	19.4	9.6	16.7	15.6	16.1	22.0	15.6	7.1	1.5
平成13	31.8	17.0	7.7	16.0	14.2	15.8	20.2	14.8	7.6	1.3
平成14	31.8	23.0	8.2	16.3	18.4	16.6	25.0	13.2	6.3	2.6
平成15	29.7	22.2	6.3	14.7	19.6	15.2	22.4	15.5	10.7	1.2
平成16	29.5	20.8	7.9	16.3	17.5	17.3	27.2	17.6	9.1	3.1



表2-3 部位別年齢調整死亡率経年変化(平成4年～16年)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計										
平成4	30.9	10.1	7.0	12.5	8.7	10.1	26.0			0.8
平成5	31.0	10.8	5.4	11.8	9.2	9.4	28.7			1.0
平成6	31.3	10.1	5.7	13.2	8.4	10.4	26.7			1.1
平成7	29.0	12.6	6.3	14.8	8.2	10.5	25.9			0.5
平成8	30.9	11.6	6.3	13.6	8.1	10.2	28.0			1.1
平成9	29.3	12.0	5.5	14.2	8.0	8.7	27.4			0.4
平成10	29.5	12.0	5.1	15.3	7.6	9.8	28.6			0.5
平成11	26.8	11.2	6.9	15.5	8.1	11.2	25.9			0.6
平成12	26.7	11.4	6.1	15.5	8.5	11.5	25.8			0.6
平成13	27.4	11.7	6.2	15.5	6.0	10.3	25.1			0.7
平成14	23.8	11.8	8.0	14.0	8.6	9.0	27.0			0.9
平成15	23.3	11.7	5.7	12.7	7.7	9.6	25.4			0.5
平成16	23.6	10.6	6.4	13.1	6.9	10.8	25.5			0.9
男										
平成4	46.2	13.5	10.5	20.9	9.7	12.8	43.9			0.3
平成5	47.0	12.4	7.5	19.0	9.3	13.9	51.3			0.6
平成6	47.5	13.1	7.3	20.8	8.8	14.3	47.2			0.9
平成7	44.7	16.7	8.8	23.6	8.3	16.0	46.6			0.3
平成8	49.3	15.7	9.1	20.6	9.9	14.2	53.6			0.9
平成9	46.1	16.1	7.9	22.6	9.1	11.8	48.5			0.0
平成10	45.3	15.6	7.5	22.8	8.1	12.2	50.2			0.3
平成11	43.1	13.9	9.9	24.2	8.7	14.9	46.6			0.9
平成12	42.5	15.0	7.5	23.2	10.6	15.6	47.4			0.6
平成13	43.4	16.1	9.0	24.7	6.4	13.5	47.0			0.8
平成14	36.2	14.7	12.3	21.1	10.2	10.7	47.6			0.6
平成15	37.6	14.6	9.7	20.2	8.2	13.5	47.2			0.5
平成16	38.4	13.1	10.1	20.8	7.4	14.6	44.7			0.6
女										
平成4	19.7	7.3	4.7	5.8	7.8	8.0	13.2	8.5	5.8	1.3
平成5	19.2	9.7	3.7	6.2	9.3	6.2	12.5	9.3	5.4	1.3
平成6	19.5	7.8	4.4	7.0	8.0	7.3	12.0	7.7	4.5	0.8
平成7	18.0	10.0	4.4	7.6	8.4	6.9	11.4	10.4	3.4	0.6
平成8	19.5	9.2	4.3	8.5	7.2	7.6	11.2	8.9	6.5	1.3
平成9	17.2	9.1	3.7	7.6	6.9	6.4	12.7	9.9	5.6	0.6
平成10	17.6	9.3	3.3	9.3	7.4	7.9	13.3	9.0	4.8	0.5
平成11	15.1	9.2	4.6	8.5	8.1	8.3	11.5	12.3	3.9	0.5
平成12	15.3	8.7	5.0	9.3	7.1	8.3	10.8	10.5	4.6	0.5
平成13	15.7	8.4	4.2	7.9	5.5	7.9	9.6	10.4	4.5	0.6
平成14	15.1	9.5	4.6	8.5	7.3	7.6	12.3	9.2	3.6	1.0
平成15	12.7	9.7	2.6	6.5	7.3	6.7	10.0	11.0	6.0	0.5
平成16	13.2	8.6	3.5	6.8	6.5	8.0	11.9	12.2	5.4	1.1

表2-4 年齡階級別死亡率(人口10万対)

## 男女計:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	1,172,528	190.7	46.0	21.0	11.9	24.1	15.4	20.1	50.1	2.1
0~4歳	54,981	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	56,520	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	57,025	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	63,397	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	66,933	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	77,409	1.3	1.3	-	-	-	-	-	-	-
30~34	87,018	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35~39	73,230	8.2	1.4	-	1.4	-	-	2.7	2.7	-
40~44	69,180	14.3	4.3	2.9	1.4	1.4	1.4	-	2.9	-
45~49	71,114	39.2	9.8	4.2	2.8	5.6	-	8.4	8.4	-
50~54	83,675	83.7	23.9	14.3	8.4	12.0	2.4	13.1	9.6	-
55~59	94,149	160.4	28.7	19.1	20.2	25.5	4.2	18.1	43.5	1.1
60~64	78,674	205.9	47.0	26.7	11.4	40.7	10.2	22.9	47.0	-
65~69	62,925	395.7	104.9	31.8	23.8	58.8	23.8	47.7	104.9	-
70~74	60,680	542.0	135.1	54.4	24.7	84.0	42.8	52.7	143.4	4.9
75~79	51,074	812.6	186.0	76.4	47.0	94.0	62.7	74.4	260.4	11.7
80~84	34,130	1145.6	275.4	111.3	67.4	102.5	114.3	114.3	339.9	20.5
85~89	21,618	1165.7	319.2	143.4	69.4	129.5	129.5	124.9	231.3	18.5
90~	8,796	1955.5	420.6	329.7	91.0	136.4	295.6	181.9	454.8	45.5

## 男:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	566,129	245.4	63.6	21.2	16.1	32.3	13.2	23.1	74.7	1.1
0~4歳	28,039	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	28,997	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	29,008	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	32,566	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	35,351	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	40,236	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30~34	43,515	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35~39	36,205	11.0	2.8	-	-	-	-	5.5	2.8	-
40~44	34,086	17.6	5.9	-	2.9	2.9	-	-	5.9	-
45~49	35,043	62.8	14.3	8.6	5.7	11.4	-	14.3	8.6	-
50~54	41,331	104.0	21.8	19.4	12.1	19.4	-	16.9	14.5	-
55~59	46,341	230.9	41.0	21.6	32.4	47.5	6.5	19.4	62.6	-
60~64	38,214	303.6	75.9	39.3	15.7	62.8	13.1	31.4	65.4	-
65~69	28,948	597.6	155.5	34.5	38.0	96.7	17.3	62.2	193.5	-
70~74	26,627	833.7	236.6	63.8	37.6	142.7	56.3	60.1	236.6	-
75~79	21,093	1318.0	336.6	104.3	90.1	113.8	80.6	90.1	493.1	9.5
80~84	12,209	1818.3	483.3	131.1	81.9	155.6	106.5	163.8	671.6	24.6
85~89	6,433	2020.8	621.8	202.1	155.4	171.0	171.0	248.7	435.3	15.5
90~	1,887	3497.6	900.9	318.0	106.0	212.0	318.0	371.0	1271.9	-

女:10部位

年 齡	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膀	肺	甲状腺
總 計	606,399	166.4	29.5	20.8	7.9	16.3	17.5	17.3	27.2	3.1
0~4歲	26,942	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	27,523	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	28,017	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	30,831	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	31,582	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	37,173	2.7	2.7	-	-	-	-	-	-	-
30~34	43,503	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-
35~39	37,025	13.5	-	-	2.7	-	-	-	2.7	-
40~44	35,094	31.3	2.8	5.7	-	-	2.8	-	-	-
45~49	36,071	49.9	5.5	-	-	-	-	2.8	8.3	-
50~54	42,344	99.2	26.0	9.4	4.7	4.7	4.7	9.4	4.7	-
55~59	47,808	142.2	16.7	16.7	8.4	4.2	2.1	16.7	25.1	2.1
60~64	40,460	165.6	19.8	14.8	7.4	19.8	7.4	14.8	29.7	-
65~69	33,977	270.8	61.8	29.4	11.8	26.5	29.4	35.3	29.4	-
70~74	34,053	364.1	55.8	47.0	14.7	38.2	32.3	47.0	70.5	8.8
75~79	29,981	500.3	80.1	56.7	16.7	80.1	50.0	63.4	96.7	13.3
80~84	21,921	848.5	159.7	100.4	59.3	73.0	118.6	86.7	155.1	18.2
85~89	15,185	842.9	191.0	118.5	32.9	112.0	112.0	72.4	144.9	19.8
90~	6,909	1679.0	289.5	332.9	86.8	115.8	289.5	130.3	231.6	57.9

年 齡	階級別人口	女性乳房			子 宮				
		小計	浸潤	上皮内	小計	部位不明	頸部	体部	頸部 上皮内
總 計	606,399	17.6	17.6	-	9.1	3.5	4.3	1.3	-
0~4歲	26,942	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	27,523	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	28,017	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	30,831	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	31,582	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	37,173	-	-	-	-	-	-	-	-
30~34	43,503	2.3	2.3	-	-	-	-	-	-
35~39	37,025	-	-	-	8.1	2.7	5.4	-	-
40~44	35,094	17.1	17.1	-	2.8	-	2.8	-	-
45~49	36,071	30.5	30.5	-	2.8	-	-	2.8	-
50~54	42,344	23.6	23.6	-	11.8	2.4	9.4	-	-
55~59	47,808	37.7	37.7	-	12.6	4.2	6.3	2.1	-
60~64	40,460	34.6	34.6	-	17.3	7.4	7.4	2.5	-
65~69	33,977	26.5	26.5	-	20.6	2.9	11.8	5.9	-
70~74	34,053	38.2	38.2	-	11.7	2.9	8.8	-	-
75~79	29,981	26.7	26.7	-	16.7	6.7	6.7	3.3	-
80~84	21,921	45.6	45.6	-	31.9	22.8	4.6	4.6	-
85~89	15,185	13.2	13.2	-	26.3	6.6	13.2	6.6	-
90~	6,909	72.4	72.4	-	72.4	57.9	14.5	-	-

### Ⅲ 受療状況関係

表3-1 来院の動機

動機	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	1,307	356	246	109	74	47	43	217	108	68	39
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
直接受診	636	174	133	56	41	18	21	83	57	33	20
	48.7	48.9	54.1	51.4	55.4	38.3	48.8	38.2	52.8	48.5	51.3
紹介	450	125	72	41	30	26	16	83	26	23	8
	34.4	35.1	29.3	37.6	40.5	55.3	37.2	38.2	24.1	33.8	20.5
施設検診	15	8	1	0	0	0	0	3	1	2	0
※	1.1	2.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.9	2.9	0.0
集団検診	83	22	18	7	0	0	2	18	12	2	2
※	6.4	6.2	7.3	6.4	0.0	0.0	4.7	8.3	11.1	2.9	5.1
健康診断	87	19	16	4	1	0	0	23	11	7	6
※	6.7	5.3	6.5	3.7	1.4	0.0	0.0	10.6	10.2	10.3	15.4
その他	36	8	6	1	2	3	4	7	1	1	3
	2.8	2.2	2.4	0.9	2.7	6.4	9.3	3.2	0.9	1.5	7.7
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

動機	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	684	235	135	74	37	21	21	150			11
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
直接受診	328	110	75	37	19	9	10	63			5
	48.0	46.8	55.6	50.0	51.4	42.9	47.6	42.0			45.5
紹介	233	81	30	29	15	11	8	58			1
	34.1	34.5	22.2	39.2	40.5	52.4	38.1	38.7			9.1
施設検診	7	7	0	0	0	0	0	0			0
	1.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0
集団検診	44	15	12	4	0	0	0	12			1
	6.4	6.4	8.9	5.4	0.0	0.0	0.0	8.0			9.1
健康診断	50	15	14	3	1	0	0	14			3
	7.3	6.4	10.4	4.1	2.7	0.0	0.0	9.3			27.3
その他	22	7	4	1	2	1	3	3			1
	3.2	3.0	3.0	1.4	5.4	4.8	14.3	2.0			9.1
不明	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0

動機	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	623	121	111	35	37	26	22	67	108	68	28
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
直接受診	308	64	58	19	22	9	11	20	57	33	15
	49.4	52.9	52.3	54.3	59.5	34.6	50.0	29.9	52.8	48.5	53.6
紹介	217	44	42	12	15	15	8	25	26	23	7
	34.8	36.4	37.8	34.3	40.5	57.7	36.4	37.3	24.1	33.8	25.0
施設検診	8	1	1	0	0	0	0	3	1	2	0
	1.3	0.8	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.9	2.9	0.0
集団検診	39	7	6	3	0	0	2	6	12	2	1
	6.3	5.8	5.4	8.6	0.0	0.0	9.1	9.0	11.1	2.9	3.6
健康診断	37	4	2	1	0	0	0	9	11	7	3
	5.9	3.3	1.8	2.9	0.0	0.0	0.0	13.4	10.2	10.3	10.7
その他	14	1	2	0	0	2	1	4	1	1	2
	2.2	0.8	1.8	0.0	0.0	7.7	4.5	6.0	0.9	1.5	7.1
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※を併せて「検診」とする。 注) 下欄は構成割合(%)

表3-2 自覚症状の有無

自覚症状 男女計:10部位	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
対象数	1,307	356	246	109	74	47	43	217	108	68	39
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
あり	834	216	167	83	33	38	37	121	78	47	14
	63.8	60.7	67.9	76.1	44.6	80.9	86.0	55.8	72.2	69.1	35.9
なし	374	109	58	18	38	5	4	73	29	16	24
	28.6	30.6	23.6	16.5	51.4	10.6	9.3	33.6	26.9	23.5	61.5
不明	99	31	21	8	3	4	2	23	1	5	1
	7.6	8.7	8.5	7.3	4.1	8.5	4.7	10.6	0.9	7.4	2.6

自覚症状 男:8部位	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
対象数	684	235	135	74	37	21	21	150			11
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
あり	437	139	88	56	23	16	18	93			4
	63.9	59.1	65.2	75.7	62.2	76.2	85.7	62.0			36.4
なし	193	77	38	12	13	4	1	42			6
	28.2	32.8	28.1	16.2	35.1	19.0	4.8	28.0			54.5
不明	54	19	9	6	1	1	2	15			1
	7.9	8.1	6.7	8.1	2.7	4.8	9.5	10.0			9.1

自覚症状 女:10部位	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
対象数	623	121	111	35	37	26	22	67	108	68	28
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
あり	397	77	79	27	10	22	19	28	78	47	10
	63.7	63.6	71.2	77.1	27.0	84.6	86.4	41.8	72.2	69.1	35.7
なし	181	32	20	6	25	1	3	31	29	16	18
	29.1	26.4	18.0	17.1	67.6	3.8	13.6	46.3	26.9	23.5	64.3
不明	45	12	12	2	2	3	0	8	1	5	0
	7.2	9.9	10.8	5.7	5.4	11.5	0.0	11.9	0.9	7.4	0.0

注) 下欄は構成割合 (%)

表3-3 病巣のひろがり

ひろがり	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	964	260	173	81	53	38	40	162	81	42	34
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
早期	182	96	36	15	1	4	0	4	13	10	3
	18.9	36.9	20.8	18.5	1.9	10.5	0.0	2.5	16.0	23.8	8.8
限局性	275	28	64	30	27	6	3	47	40	20	10
	28.5	10.8	37.0	37.0	50.9	15.8	7.5	29.0	49.4	47.6	29.4
所属リンパ節転移	185	52	30	24	4	4	1	28	24	4	14
	19.2	20.0	17.3	29.6	7.5	10.5	2.5	17.3	29.6	9.5	41.2
隣接臓器浸潤	91	15	10	4	6	14	12	17	1	7	5
	9.4	5.8	5.8	4.9	11.3	36.8	30.0	10.5	1.2	16.7	14.7
遠隔転移	208	61	31	8	6	8	23	65	3	1	2
	21.6	23.5	17.9	9.9	11.3	21.1	57.5	40.1	3.7	2.4	5.9
その他	23	8	2	0	9	2	1	1	0	0	0
	2.4	3.1	1.2	0.0	17.0	5.3	2.5	0.6	0.0	0.0	0.0

ひろがり	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	509	174	98	55	26	17	19	111			9
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
早期	104	63	27	10	0	2	0	2			0
	20.4	36.2	27.6	18.2	0.0	11.8	0.0	1.8			0.0
限局性	112	18	31	19	12	3	2	26			1
	22.0	10.3	31.6	34.5	46.2	17.6	10.5	23.4			11.1
所属リンパ節転移	108	38	20	17	2	2	0	22			7
	21.2	21.8	20.4	30.9	7.7	11.8	0.0	19.8			77.8
隣接臓器浸潤	42	9	5	2	3	5	4	13			1
	8.3	5.2	5.1	3.6	11.5	29.4	21.1	11.7			11.1
遠隔転移	128	41	14	7	3	3	13	47			0
	25.1	23.6	14.3	12.7	11.5	17.6	68.4	42.3			0.0
その他	15	5	1	0	6	2	0	1			0
	2.9	2.9	1.0	0.0	23.1	11.8	0.0	0.9			0.0

ひろがり	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	455	86	75	26	27	21	21	51	81	42	25
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
早期	78	33	9	5	1	2	0	2	13	10	3
	17.1	38.4	12.0	19.2	3.7	9.5	0.0	3.9	16.0	23.8	12.0
限局性	163	10	33	11	15	3	1	21	40	20	9
	35.8	11.6	44.0	42.3	55.6	14.3	4.8	41.2	49.4	47.6	36.0
所属リンパ節転移	77	14	10	7	2	2	1	6	24	4	7
	16.9	16.3	13.3	26.9	7.4	9.5	4.8	11.8	29.6	9.5	28.0
隣接臓器浸潤	49	6	5	2	3	9	8	4	1	7	4
	10.8	7.0	6.7	7.7	11.1	42.9	38.1	7.8	1.2	16.7	16.0
遠隔転移	80	20	17	1	3	5	10	18	3	1	2
	17.6	23.3	22.7	3.8	11.1	23.8	47.6	35.3	3.7	2.4	8.0
その他	8	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0
	1.8	3.5	1.3	0.0	11.1	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0

注) 下欄は構成割合 (%)

表3-4 診断方法

診断方法	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	979 100.0	262 100.0	174 100.0	81 100.0	56 100.0	38 100.0	42 100.0	165 100.0	84 100.0	43 100.0	34 100.0
エックス線	885 90.4	229 87.4	153 87.9	70 86.4	47 83.9	35 92.1	39 92.9	165 100.0	83 98.8	34 79.1	30 88.2
超音波	783 80.0	229 87.4	131 75.3	68 84.0	51 91.1	37 97.4	38 90.5	76 46.1	79 94.0	41 95.3	33 97.1
RI	275 28.1	19 7.3	14 8.0	12 14.8	9 16.1	5 13.2	9 21.4	126 76.4	54 64.3	10 23.3	17 50.0
CT	916 93.6	243 92.7	159 91.4	72 88.9	54 96.4	37 97.4	40 95.2	159 96.4	82 97.6	36 83.7	34 100.0
内視鏡	725 74.1	259 98.9	162 93.1	81 100.0	25 44.6	25 65.8	30 71.4	114 69.1	8 9.5	20 46.5	1 2.9
細胞診	491 50.2	118 45.0	56 32.2	31 38.3	4 7.1	23 60.5	11 26.2	132 80.0	51 60.7	41 95.3	24 70.6
組織診	756 77.2	244 93.1	159 91.4	79 97.5	5 8.9	16 42.1	5 11.9	113 68.5	68 81.0	42 97.7	25 73.5
手術	614 62.7	185 70.6	142 81.6	75 92.6	4 7.1	16 42.1	5 11.9	53 32.1	75 89.3	26 60.5	33 97.1
その他	30 3.1	1 0.4	3 1.7	1 1.2	7 12.5	1 2.6	2 4.8	10 6.1	1 1.2	4 9.3	0 0.0

診断方法	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	516 100.0	175 100.0	98 100.0	55 100.0	28 100.0	17 100.0	20 100.0	114 100.0			9 100.0
エックス線	464 89.9	156 89.1	81 82.7	47 85.5	24 85.7	16 94.1	18 90.0	114 100.0			8 88.9
超音波	386 74.8	152 86.9	68 69.4	44 80.0	26 92.9	17 100.0	17 85.0	53 46.5			9 100.0
RI	127 24.6	10 5.7	9 9.2	7 12.7	6 21.4	2 11.8	3 15.0	84 73.7			6 66.7
CT	475 92.1	161 92.0	84 85.7	49 89.1	28 100.0	17 100.0	18 90.0	109 95.6			9 100.0
内視鏡	440 85.3	172 98.3	92 93.9	55 100.0	15 53.6	14 82.4	15 75.0	77 67.5			0 0.0
細胞診	252 48.8	86 49.1	29 29.6	21 38.2	2 7.1	12 70.6	5 25.0	89 78.1			8 88.9
組織診	397 76.9	161 92.0	89 90.8	54 98.2	4 14.3	8 47.1	1 5.0	74 64.9			6 66.7
手術	303 58.7	129 73.7	77 78.6	49 89.1	2 7.1	8 47.1	1 5.0	28 24.6			9 100.0
その他	15 2.9	1 0.6	2 2.0	1 1.8	3 10.7	0 0.0	1 5.0	7 6.1			0 0.0

診断方法	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	463 100.0	87 100.0	76 100.0	26 100.0	28 100.0	21 100.0	22 100.0	51 100.0	84 100.0	43 100.0	25 100.0
エックス線	421 90.9	73 83.9	72 94.7	23 88.5	23 82.1	19 90.5	21 95.5	51 100.0	83 98.8	34 79.1	22 88.0
超音波	397 85.7	77 88.5	63 82.9	24 92.3	25 89.3	20 95.2	21 95.5	23 45.1	79 94.0	41 95.3	24 96.0
RI	148 32.0	9 10.3	5 6.6	5 19.2	3 10.7	3 14.3	6 27.3	42 82.4	54 64.3	10 23.3	11 44.0
CT	441 95.2	82 94.3	75 98.7	23 88.5	26 92.9	20 95.2	22 100.0	50 98.0	82 97.6	36 83.7	25 100.0
内視鏡	285 61.6	87 100.0	70 92.1	26 100.0	10 35.7	11 52.4	15 68.2	37 72.5	8 9.5	20 46.5	1 4.0
細胞診	239 51.6	32 36.8	27 35.5	10 38.5	2 7.1	11 52.4	6 27.3	43 84.3	51 60.7	41 95.3	16 64.0
組織診	359 77.5	83 95.4	70 92.1	25 96.2	1 3.6	8 38.1	4 18.2	39 76.5	68 81.0	42 97.7	19 76.0
手術	311 67.2	56 64.4	65 85.5	26 100.0	2 7.1	8 38.1	4 18.2	25 49.0	75 89.3	26 60.5	24 96.0
その他	15 3.2	0 0.0	1 1.3	0 0.0	4 14.3	1 4.8	1 4.5	3 5.9	1 1.2	4 9.3	0 0.0

注) 下欄は構成割合 (%)

表3-5 治療方法

治療方法	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	979	262	174	81	56	38	42	165	84	43	34
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
手術	611	181	139	71	5	16	5	52	74	35	33
	62.4	69.1	79.9	87.7	8.9	42.1	11.9	31.5	88.1	81.4	97.1
放射線療法	74	5	0	2	0	6	4	25	19	11	2
	7.6	1.9	0.0	2.5	0.0	15.8	9.5	15.2	22.6	25.6	5.9
化学療法	355	100	66	35	12	10	14	67	32	19	0
	36.3	38.2	37.9	43.2	21.4	26.3	33.3	40.6	38.1	44.2	0.0
ホルモン療法	79	0	1	1	0	0	0	0	59	5	13
	8.1	0.0	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	70.2	11.6	38.2
免疫療法	37	19	8	7	0	0	1	0	1	0	1
	3.8	7.3	4.6	8.6	0.0	0.0	2.4	0.0	1.2	0.0	2.9
対症療法のみ	207	58	25	8	12	16	28	47	6	4	3
	21.1	22.1	14.4	9.9	21.4	42.1	66.7	28.5	7.1	9.3	8.8
その他	33	3	1	0	20	4	3	2	0	0	0
	3.4	1.1	0.6	0.0	35.7	10.5	7.1	1.2	0.0	0.0	0.0

治療方法	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	516	175	98	55	28	17	20	114			9
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
手術	294	126	73	46	3	8	1	28			9
	57.0	72.0	74.5	83.6	10.7	47.1	5.0	24.6			100.0
放射線療法	33	5	0	2	0	1	2	21			2
	6.4	2.9	0.0	3.6	0.0	5.9	10.0	18.4			22.2
化学療法	210	77	37	25	8	6	7	50			0
	40.7	44.0	37.8	45.5	28.6	35.3	35.0	43.9			0.0
ホルモン療法	7	0	1	1	0	0	0	0			5
	1.4	0.0	1.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0			55.6
免疫療法	25	13	5	6	0	0	0	0			1
	4.8	7.4	5.1	10.9	0.0	0.0	0.0	0.0			11.1
対症療法のみ	107	32	12	6	6	7	13	31			0
	20.7	18.3	12.2	10.9	21.4	41.2	65.0	27.2			0.0
その他	17	3	0	0	9	2	2	1			0
	3.3	1.7	0.0	0.0	32.1	11.8	10.0	0.9			0.0

治療方法	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	463	87	76	26	28	21	22	51	84	43	25
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
手術	317	55	66	25	2	8	4	24	74	35	24
	68.5	63.2	86.8	96.2	7.1	38.1	18.2	47.1	88.1	81.4	96.0
放射線療法	41	0	0	0	0	5	2	4	19	11	0
	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	23.8	9.1	7.8	22.6	25.6	0.0
化学療法	145	23	29	10	4	4	7	17	32	19	0
	31.3	26.4	38.2	38.5	14.3	19.0	31.8	33.3	38.1	44.2	0.0
ホルモン療法	72	0	0	0	0	0	0	0	59	5	8
	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.2	11.6	32.0
免疫療法	12	6	3	1	0	0	1	0	1	0	0
	2.6	6.9	3.9	3.8	0.0	0.0	4.5	0.0	1.2	0.0	0.0
対症療法のみ	100	26	13	2	6	9	15	16	6	4	3
	21.6	29.9	17.1	7.7	21.4	42.9	68.2	31.4	7.1	9.3	12.0
その他	16	0	1	0	11	2	1	1	0	0	0
	3.5	0.0	1.3	0.0	39.3	9.5	4.5	2.0	0.0	0.0	0.0

注) 下欄は構成割合 (%)



表3-6 手術

手術	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	979	262	174	81	56	38	42	165	84	43	34
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
治癒切除	487	129	112	62	2	10	0	47	66	30	29
	49.7	49.2	64.4	76.5	3.6	26.3	0.0	28.5	78.6	69.8	85.3
非治癒切除	99	43	25	8	1	4	3	4	3	5	3
	10.1	16.4	14.4	9.9	1.8	10.5	7.1	2.4	3.6	11.6	8.8
その他手術	25	9	2	1	2	2	2	1	5	0	1
	2.6	3.4	1.1	1.2	3.6	5.3	4.8	0.6	6.0	0.0	2.9
していない	368	81	35	10	51	22	37	113	10	8	1
	37.6	30.9	20.1	12.3	91.1	57.9	88.1	68.5	11.9	18.6	2.9

手術	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	516	175	98	55	28	17	20	114			9
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
治癒切除	227	87	63	40	1	5	0	24			7
	44.0	49.7	64.3	72.7	3.6	29.4	0.0	21.1			77.8
非治癒切除	54	32	9	6	0	2	0	4			1
	10.5	18.3	9.2	10.9	0.0	11.8	0.0	3.5			11.1
その他手術	13	7	1	0	2	1	1	0			1
	2.5	4.0	1.0	0.0	7.1	5.9	5.0	0.0			11.1
していない	222	49	25	9	25	9	19	86			0
	43.0	28.0	25.5	16.4	89.3	52.9	95.0	75.4			0.0

手術	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	463	87	76	26	28	21	22	51	84	43	25
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
治癒切除	260	42	49	22	1	5	0	23	66	30	22
	56.2	48.3	64.5	84.6	3.6	23.8	0.0	45.1	78.6	69.8	88.0
非治癒切除	45	11	16	2	1	2	3	0	3	5	2
	9.7	12.6	21.1	7.7	3.6	9.5	13.6	0.0	3.6	11.6	8.0
その他手術	12	2	1	1	0	1	1	1	5	0	0
	2.6	2.3	1.3	3.8	0.0	4.8	4.5	2.0	6.0	0.0	0.0
していない	146	32	10	1	26	13	18	27	10	8	1
	31.5	36.8	13.2	3.8	92.9	61.9	81.8	52.9	11.9	18.6	4.0

注) 下欄は構成割合 (%)

## IV 地域特性

年齢調整率は直接法、昭和60年モデル人口を使用  
 (数は人; 率は人口10万対) 集計期間 平成16年1月～12月

表4-1 医療圏別罹患数、罹患率、年齢調整罹患率、死亡数、死亡率、年齢調整死亡率

男8部位、女10部位計

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男	合計	1,653	292.0	182.5	1,389	245.4	149.8
	南加賀	387	340.8	208.8	297	261.5	154.2
	石川中央	851	259.8	189.8	735	224.4	161.7
	能登中部	219	255.5	125.7	203	236.8	114.1
	能登北部	196	499.4	194.7	154	392.4	145.8
女	合計	1,358	223.9	116.7	1,009	166.4	77.1
	南加賀	304	246.3	131.3	209	169.4	77.9
	石川中央	713	207.4	120.3	538	156.5	83.0
	能登中部	199	210.2	98.2	151	159.5	63.4
	能登北部	142	319.0	101.3	111	249.3	74.8

胃

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	706	60.2	32.7	539	46.0	23.6
	南加賀	163	68.8	36.9	112	47.3	23.8
	石川中央	345	51.4	32.3	266	39.6	23.7
	能登中部	113	62.6	28.9	91	50.4	22.0
	能登北部	85	101.5	36.2	70	83.6	26.9
男	合計	468	82.7	51.5	360	63.6	38.4
	南加賀	106	93.3	55.2	79	69.6	40.9
	石川中央	231	70.5	51.3	173	52.8	37.6
	能登中部	74	86.3	43.4	62	72.3	35.1
	能登北部	57	145.2	64.1	46	117.2	43.5
女	合計	238	39.2	18.7	179	29.5	13.2
	南加賀	57	46.2	23.9	33	26.7	11.5
	石川中央	114	33.2	17.9	93	27.0	13.9
	能登中部	39	41.2	19.0	29	30.6	13.3
	能登北部	28	62.9	13.8	24	53.9	15.9

結腸

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	419	35.7	19.7	246	21.0	10.6
	南加賀	113	47.7	26.3	60	25.3	12.2
	石川中央	200	29.8	18.9	126	18.8	11.4
	能登中部	51	28.3	12.8	31	17.2	6.5
	能登北部	55	65.7	23.4	29	34.6	11.1
男	合計	222	39.2	25.2	120	21.2	13.1
	南加賀	66	58.1	38.2	29	25.5	15.5
	石川中央	100	30.5	22.5	59	18.0	13.1
	能登中部	26	30.3	15.1	17	19.8	9.5
	能登北部	30	76.4	30.2	15	38.2	14.2
女	合計	197	32.5	15.4	126	20.8	8.6
	南加賀	47	38.1	16.5	31	25.1	9.6
	石川中央	100	29.1	16.0	67	19.5	10.0
	能登中部	25	26.4	11.3	14	14.8	4.2
	能登北部	25	56.2	19.0	14	31.4	9.2

## 直腸

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	198	16.9	9.8	139	11.9	6.4
	南加賀	32	13.5	8.7	18	7.6	4.4
	石川中央	104	15.5	10.1	68	10.1	6.3
	能登中部	30	16.6	8.1	29	16.1	6.9
	能登北部	32	38.2	11.1	24	28.7	9.9
男	合計	128	22.6	14.6	91	16.1	10.1
	南加賀	20	17.6	11.9	7	6.2	3.8
	石川中央	68	20.8	15.6	47	14.3	10.5
	能登中部	16	18.7	9.9	18	21.0	10.2
	能登北部	24	61.2	20.2	19	48.4	19.1
女	合計	70	11.5	6.1	48	7.9	3.5
	南加賀	12	9.7	5.9	11	8.9	4.8
	石川中央	36	10.5	6.1	21	6.1	2.8
	能登中部	14	14.8	6.8	11	11.6	4.7
	能登北部	8	18.0	5.0	5	11.2	3.0

## 肝

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	286	24.4	13.3	282	24.1	13.1
	南加賀	60	25.3	13.7	58	24.5	12.9
	石川中央	163	24.3	15.7	166	24.7	16.2
	能登中部	35	19.4	7.1	34	18.8	7.0
	能登北部	28	33.4	10.4	24	28.7	8.8
男	合計	178	31.4	20.3	183	32.3	20.8
	南加賀	41	36.1	22.3	41	36.1	22.0
	石川中央	104	31.7	23.9	110	33.6	25.3
	能登中部	16	18.7	9.0	19	22.2	10.3
	能登北部	17	43.3	16.6	13	33.1	12.6
女	合計	108	17.8	7.4	99	16.3	6.8
	南加賀	19	15.4	7.3	17	13.8	6.3
	石川中央	59	17.2	8.4	56	16.3	8.0
	能登中部	19	20.1	5.4	15	15.8	4.5
	能登北部	11	24.7	5.8	11	24.7	5.6

## 胆道

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	189	16.1	7.3	181	15.4	6.9
	南加賀	35	14.8	6.8	34	14.3	6.6
	石川中央	95	14.1	7.3	93	13.9	7.1
	能登中部	33	18.3	7.3	31	17.2	6.5
	能登北部	26	31.0	8.4	23	27.5	7.3
男	合計	77	13.6	7.6	75	13.2	7.4
	南加賀	15	13.2	7.5	15	13.2	7.5
	石川中央	35	10.7	7.3	35	10.7	7.3
	能登中部	16	18.7	8.0	14	16.3	6.7
	能登北部	11	28.0	8.8	11	28.0	9.2
女	合計	112	18.5	7.2	106	17.5	6.5
	南加賀	20	16.2	6.3	19	15.4	6.0
	石川中央	60	17.5	7.3	58	16.9	6.8
	能登中部	17	18.0	7.6	17	18.0	6.9
	能登北部	15	33.7	8.5	12	27.0	6.0

膝

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	218	18.6	9.9	236	20.1	10.8
	南加賀	60	25.3	13.6	59	24.9	13.1
	石川中央	116	17.3	10.7	132	19.7	12.2
	能登中部	27	15.0	5.6	30	16.6	6.6
	能登北部	15	17.9	6.9	15	17.9	6.3
男	合計	113	20.0	12.9	131	23.1	14.6
	南加賀	29	25.5	16.7	30	26.4	16.5
	石川中央	68	20.8	15.4	84	25.6	18.8
	能登中部	10	11.7	5.8	13	15.2	7.9
	能登北部	6	15.3	5.6	4	10.2	2.8
女	合計	105	17.3	7.6	105	17.3	8.0
	南加賀	31	25.1	10.9	29	23.5	10.7
	石川中央	48	14.0	7.2	48	14.0	7.5
	能登中部	17	18.0	5.2	17	18.0	5.3
	能登北部	9	20.2	8.5	11	24.7	9.6

肺

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	639	54.5	28.3	588	50.1	25.5
	南加賀	144	60.8	30.1	126	53.2	25.5
	石川中央	338	50.3	30.7	308	45.9	27.4
	能登中部	87	48.2	20.0	87	48.2	20.1
	能登北部	70	83.6	28.3	67	80.0	27.2
男	合計	452	79.8	48.2	423	74.7	44.7
	南加賀	105	92.5	53.5	92	81.0	46.2
	石川中央	238	72.7	51.9	226	69.0	48.8
	能登中部	60	70.0	34.0	60	70.0	34.4
	能登北部	49	124.9	47.1	45	114.7	43.7
女	合計	187	30.8	13.9	165	27.2	11.9
	南加賀	39	31.6	13.8	34	27.6	11.3
	石川中央	100	29.1	15.3	82	23.8	12.2
	能登中部	27	28.5	9.8	27	28.5	9.5
	能登北部	21	47.2	14.8	22	49.4	15.3

甲状腺

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	57	4.9	3.4	25	2.1	0.9
	南加賀	19	8.0	5.4	8	3.4	1.4
	石川中央	29	4.3	3.3	13	1.9	0.9
	能登中部	5	2.8	2.7	1	0.6	0.3
	能登北部	4	4.8	1.3	3	3.6	0.8
男	合計	15	2.6	2.1	6	1.1	0.6
	南加賀	5	4.4	3.3	4	3.5	2
	石川中央	7	2.1	2.0	1	0.3	0.2
	能登中部	1	1.2	0.5	0	0.0	0.0
	能登北部	2	5.1	2.0	1	2.5	1
女	合計	42	6.9	4.7	19	3.1	1.1
	南加賀	14	11.3	7.5	4	3.2	1.2
	石川中央	22	6.4	4.4	12	3.5	1.3
	能登中部	4	4.2	4.9	1	1.1	0.4
	能登北部	2	4.5	0.8	2	4.5	0.8

女性乳房

	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
計	合計	186	30.7	21.8	107	17.6	12.2
	南加賀	42	34.0	26.6	19	15.4	10.9
	石川中央	108	31.4	22.9	69	20.1	14.7
	能登中部	21	22.2	15.4	12	12.7	8.9
	能登北部	15	33.7	17.5	7	15.7	7.1
浸潤	合計	164	27.0	19.4	107	17.6	12.2
	南加賀	37	30.0	23.9	19	15.4	10.9
	石川中央	99	28.8	21.2	69	20.1	14.7
	能登中部	17	18.0	12.2	12	12.7	8.9
	能登北部	11	24.7	12.7	7	15.7	7.1
上皮内	合計	22	3.6	2.4	0	—	—
	南加賀	5	4.1	2.7	0	—	—
	石川中央	9	2.6	1.7	0	—	—
	能登中部	4	4.2	3.2	0	—	—
	能登北部	4	9.0	4.8	0	—	—

子宮

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
計	合計	113	18.6	13.7	55	9.1	5.4
	南加賀	23	18.6	12.7	12	9.7	5.5
	石川中央	66	19.2	14.9	32	9.3	5.8
	能登中部	16	16.9	12.7	8	8.5	5.6
	能登北部	8	18.0	7.7	3	6.7	2.2
部位不明	合計	24	4.0	2.1	21	3.5	1.7
	南加賀	6	4.9	2.5	6	4.9	2.5
	石川中央	14	4.1	2.4	12	3.5	1.8
	能登中部	2	2.1	0.9	2	2.1	0.9
	能登北部	2	4.5	0.9	1	2.2	0.4
頸部	合計	43	7.1	5.0	26	4.3	2.9
	南加賀	10	8.1	6.2	4	3.2	2.3
	石川中央	27	7.9	5.7	16	4.7	3.2
	能登中部	4	4.2	2.9	5	5.3	3.4
	能登北部	2	4.5	1.6	1	2.2	1.3
体部	合計	31	5.1	3.7	8	1.3	0.8
	南加賀	6	4.9	2.8	2	1.6	0.7
	石川中央	14	4.1	3.2	4	1.2	0.8
	能登中部	7	7.4	5.4	1	1.1	1.3
	能登北部	4	9.0	5.2	1	2.2	0.5
頸部 上皮内	合計	15	2.5	2.9	0	—	—
	南加賀	1	0.8	1.1	0	—	—
	石川中央	11	3.2	3.6	0	—	—
	能登中部	3	3.2	3.5	0	—	—
	能登北部	0	0.0	0.0	0	—	—

## V 全国推計値との比較関係

年齢調整率は直接法、昭和60年モデル人口を使用

(率は人口10万対)

表5-1 罹患率の比較

	男女計		男		女	
	石川県 (平16)	全国推計値 (平13)	石川県 (平16)	全国推計値 (平13)	石川県 (平16)	全国推計値 (平13)
胃	60.2	84.6	82.7	116.1	39.2	54.5
結腸	35.7	51.7	39.2	58.8	32.5	44.9
直腸	16.9	27.0	22.6	34.6	11.5	19.7
肝	24.4	31.8	31.4	44.5	17.8	19.6
胆道	16.1	14.0	13.6	13.3	18.5	14.7
膵	18.6	16.2	20.0	18.1	17.3	14.5
肺	54.5	55.5	79.8	79.4	30.8	32.6
女性乳房					30.7	62.5
子宮					18.6	35.3
甲状腺	4.9	6.2	2.6	2.8	6.9	9.4

表5-2 年齢調整罹患率の比較

	男女計		男		女	
	石川県 (平16)	全国推計値 (平13)	石川県 (平16)	全国推計値 (平13)	石川県 (平16)	全国推計値 (平13)
胃	32.7	55.8	51.5	84.4	18.7	32.7
結腸	19.7	33.7	25.2	42.7	15.4	26.4
直腸	9.8	18.3	14.6	25.5	6.1	12.4
肝	13.3	20.7	20.3	32.2	7.4	10.9
胆道	7.3	8.2	7.6	9.4	7.2	7.3
膵	9.9	10.1	12.9	13.0	7.6	7.8
肺	28.3	34.8	48.2	56.5	13.9	18.6
女性乳房					21.8	51.0
子宮					13.7	31.0
甲状腺	3.4	4.9	2.1	2.3	4.7	7.5

表5-3 死亡率の比較

	男女計		男		女	
	石川県 (平16)	全国値 (平16)	石川県 (平16)	全国値 (平16)	石川県 (平16)	全国値 (平16)
胃	46.0	40.1	63.6	53.3	29.5	27.4
結腸	21.0	21.0	21.2	21.6	20.8	20.4
直腸	11.9	11.0	16.1	14.1	7.9	8.1
肝	24.1	27.3	32.3	38.0	16.3	17.2
胆道	15.4	13.0	13.2	12.1	17.5	13.8
膵	20.1	17.6	23.1	19.4	17.3	16.0
肺	50.1	47.5	74.7	71.3	27.2	24.8
女性乳房					17.6	16.3
子宮					9.1	8.6

表5-4 年齢調整死亡率の比較

	男		女	
	石川県 (平16)	全国値 (平16)	石川県 (平16)	全国値 (平16)
胃	38.4	34.2	13.2	13.2
結腸	13.1	13.9	8.6	9.4
直腸	10.1	9.3	3.5	4.1
肝	20.8	24.8	6.8	8.1
胆道	7.4	7.5	6.5	5.7
膵	14.6	12.6	8.0	7.5
肺	44.7	45.2	11.9	11.5
女性乳房			12.2	11.4
子宮			5.4	5.2

## VI 生存率集計関係

集計対象：平成12年罹患者

表6-1 部位別、性別5年生存率、5年相対生存率 (%)

		胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
5年生存率	男女計	56.1	57.5	65.1	21.5	19.2	3.3	29.3			92.0
	男	55.1	53.1	60.1	17.1	15.3	0.0	27.3			80.0
	女	58.3	61.4	73.2	28.3	23.6	7.5	38.6	83.9	80.0	93.4
5年相対生存率	男女計	60.9	63.2	73.3	23.9	22.0	3.6	32.3			96.0
	男	59.3	59.3	68.0	19.6	17.8	0.0	29.6			90.8
	女	64.7	67.0	82.5	30.3	26.1	8.0	41.9	87.9	82.0	96.6

表6-2 検診群、外来群別5年生存率 (%)

		胃	結腸	直腸	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計	検診群	95.7	88.0	90.4	69.3			100.0
	外来群	49.2	52.0	60.6	22.7			89.4
男	検診群	97.0	91.7	91.7	61.8			100.0
	外来群	47.8	46.2	55.3	20.5			75.0
女	検診群	92.9	84.6	88.9	100.0	100.0	88.9	100.0
	外来群	51.9	58.0	69.9	31.7	82.0	78.2	91.3

表6-3 病巣のひろがり別5年生存率 (%)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
早期がん	83.5	87.6	95.2	-	80.0	-	80.9	93.3	100.0	100.0
進行がん	35.3	48.9	59.2	23.5	14.2	3.7	23.5	81.7	66.8	89.7

※ 進行がんは、限局性、リンパ節転移、隣接臓器浸潤、遠隔転移の患者を総計したものである。



# 資 料



(目的)

第1条 がん予防対策を効果的に推進するため、県民に発生したがん患者に関する情報を収集し、その実態を把握、分析することを目的とする。

(実施主体)

第2条 本事業の実施主体は、石川県とし、社団法人石川県医師会の協力を得て行うものとする。

(事業内容)

第3条 本事業は、次に掲げる事項を実施するものとする。

- (1) がん患者に関する情報の収集
  - (2) がん患者に関する情報の確認及び管理
  - (3) がん患者に関する情報の入力
  - (4) がん患者に関する情報の集計・解析
  - (5) がん患者に関する情報の保管
  - (6) がん患者に関する統計資料の利用及び公表
  - (7) 届出医師及び医療機関への関係するがん患者情報の提供
  - (8) 他県との情報交換
  - (9) その他がん情報管理事業に必要な調査研究
- 本事業のがん患者に関する情報を、「がん登録資料」とする。

(事業の運営)

第4条 本事業は、「石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会」の指導を受けるものとする。

- 2 本事業におけるがん登録資料の利用に関して、「石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会」の意見を求めるものとし、同部会部会長は、議事の審議に関し必要があるときは、会議に委員以外の学識経験者の出席を求め、意見を聴取することができるものとする。
- なお、事業に関する必要な事項は、「石川県地域がん情報管理事業実施要領」に定めるものとする。

(医療機関等の協力)

第5条 本事業は、県内全医療機関及び金沢市の保健所の協力・参加を得て行うものとする。

(守秘義務)

第6条 この事業に従事した者は、業務上知り得た秘密を他に洩らしてはならない。また、その業務を離れた場合も同様とする。

附 則 この要綱は、平成3年7月31日から施行する。

附 則 この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成16年9月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成18年9月1日から施行する。

## ＜資料２＞

# 石川県地域がん情報管理事業実施要領

(趣 旨)

第1 この要領は、「石川県地域がん情報管理事業実施要綱」に基づいて実施する事業に関して、必要な事項を定めるものとする。

(事業の対象)

第2 対象とする疾患の範囲は、「第10回修正国際疾病分類に基づく疾病、障害及び統計分類基本分類」のうち別表に定める悪性新生物とする。

2 がん患者の範囲は、県内に住所を有し、医療機関で前項に規定する疾患の確診・疑診を受けた者及びその疾患による死亡者とする。

(届出の時期)

第3 診療に従事する医師は、他の診療科又は他の医療機関の医師からの届出の有無にかかわらず、第2の1に規定する疾患と確診・疑診したときに届出のものとする。

2 治療が終了・中止されていた者を再び第2の1に規定する疾患と確診・疑診したとき及び届出済の患者を新たに別の第2の1に規定する疾患と確診・疑診したときに届出のものとする。

3 入院患者については、前2項の診断時の届出のほかに退院時（死亡退院を含む。）に届出のものとする。

4 診察に従事する医師から確診・疑診とされた場合及び診断名の変更など届出内容の変更時には、届出のものとする。

(届出の方法)

第4 診療に従事する医師は、別紙様式「石川県悪性新生物届出票」（以下「届出票」という。）により、所定の事項を記載のうえ医師会に届出のものとする。

(死亡情報の届出)

第5 保健所長は、第2の1に規定する疾患に関する人口動態に係る死亡情報を石川県健康福祉部健康推進課を経由し、医師会に送付するものとする。

(業務区分)

第6 関係機関の業務区分は、別紙「石川県地域がん情報管理事業業務区分」により行うものとする。

(情報の照合、検査等)

第7 医師会は、第4、第5による届出を受け、その情報について、照合、検査等を行った後、その情報を石川県保健環境センターに送付するものとする。

(情報の集計・解析等)

第8 石川県保健環境センターは、医師会より送付された情報について、公衆衛生学的集計・解析を行い、その結果を石川県健康福祉部健康推進課に送付するものとする。

(情報の報告等)

第9 石川県健康福祉部健康推進課は、がん情報に関する報告書の作成、事業の運営調整等を行うものとする。

(その他)

第10 この要領に定めるもののほか、必要な事項はその都度石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会で、協議、審議のうえ別に定めるものとする。

附 則 この要領は平成3年7月31日から施行する。

附 則 この要領は平成4年4月1日から施行する。

附 則 この要領は平成12年4月1日から施行する。

附 則 この要領は平成16年9月1日から施行する。

附 則 この要領は平成17年4月1日から施行する。

附 則 この要領は平成18年9月1日から施行する。

## <資料3> 石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領細則

(目的)

第1 この細則は、「石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領」第5に基づき、石川県地域がん情報管理事業資料（以下「がん登録資料」という。）を利用するにあたって必要な事項を定める。

(利用者)

第2 がん登録資料を利用できる者（以下「利用者」という。）は、次の各号に定める者のうち、石川県健康福祉部健康推進課長が石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会の意見を聞き、適切と認めた者とする。

- (1) 石川県健康福祉部、石川県保健環境センター及び石川県医師会において、石川県地域がん情報管理事業に従事する者
- (2) 石川県地域がん情報管理事業に協力している医師、医療機関及び検診機関の管理者
- (3) 悪性新生物の診断、治療及び予防を研究目的としている者

(がん登録資料の利用)

第3 利用者は、がん登録資料の利用にあたっては本要領に定める利用手続きを経なければならない。

(利用の申請)

第4 がん登録資料の利用を希望する者は、健康推進課長あて「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)利用申請書」(様式第1号)により申請しなければならない。

なお、個人を特定しうる情報を含む資料を利用する場合は「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)利用に関する誓約書」(様式第2号)を添えて申請しなければならない。

(利用の審査)

第5 健康推進課長は、前条による申請の審査にあたっては、以下の基準に基づき、申請内容について石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会の意見を聞くものとする。

- (1) 利用目的(研究等)が悪性新生物の診断・治療及び予防を目的としていること。
- (2) 利用目的(研究等)の公益性が高いこと。
- (3) がん登録情報利用の必要性が高いこと。
- (4) がん登録情報の提供による個人又は、第三者の権利利益侵害の可能性がないこと。

2 前項の審査は、次の各号についてはがん登録・評価等部会の部会長、副部会長、法律の専門家による簡易審査とすることができる。簡易審査の結果については、審査を行った委員以外のすべての委員に報告されなければならない。

- (1) 個人を特定しうる情報を含まない統計解析を目的とした資料の提供を希望する場合
- (2) 石川県地域がん情報管理事業に協力している医師または医療機関の管理者が、現在の診療に役立てる等の目的で、届出患者の予後の情報提供を希望する場合
- (3) がん検診の精度管理のため、検診受診者のがん罹患状況などの資料の提供を希望する場合

3 健康推進課長は、「石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会具申」(様式第3号)に基づき、登録資料利用の承認について決定し、「審査結果通知書」(様式第4号)により通知するものとする。

(提供と受領)

第6 利用者は利用を承認された対象範囲及び項目についてのみ、コンピュータ出力帳票又は磁気媒体により提供を受けるものとする。

- なお、オンライン供給による資料の提供は行わないものとする。
- 2 利用者は、「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)受領書」(様式第5号)を健康推進課長に提出しなければならない。
  - 3 利用期間は当該提供に係る承認の日から最長1年間とする。

(返却、消去)

- 第7 利用者は、利用期間が終了したとき、又は利用目的が完了したときには、提供された資料のすべてを返却又は消去し、直ちに「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)返却・消去報告書」(様式第6号)を提出しなければならない。
- 2 前項の様式第6号の提出は、第5第2項第1号については省略することができる。

(利用者の責務)

- 第8 がん登録資料利用者は、次の各号を遵守しなければならない。
- (1) がん登録資料を承認された目的、方法以外に利用してはならない。また、第三者にがん登録資料を譲渡、貸与、閲覧させてはならない。
  - (2) がん登録資料から得た患者個人及び届出医療機関の情報を漏らしてはならない。
  - (3) がん登録資料から得た患者個人、その家族及び届出医療機関と接触してはならない。
  - (4) がん登録資料の保管に最大限配慮しなければならない。

(利用者への検査等)

- 第9 健康推進課長は、この細則によりがん情報を提供した場合、必要に応じてその資料の保管状況等について立ち入り検査し、または報告を聴取することができる。
- 2 がん登録資料の提供を受けた者は、前項の検査、報告に協力しなければならない。
  - 3 健康推進課長は、検査等の結果、利用者に遵守事項の違反があった場合は、ただちに提供した資料の返還を求めることができる。

(利用の明示と成果の報告)

- 第10 利用者は、研究結果の報告、発表、投稿にあたっては、石川県地域がん情報管理事業の資料を利用したことを明記しなければならない。
- 2 利用者は、「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)利用(研究)成果報告書」(様式第7号)と報告、発表、投稿した報告書、抄録、論文の写しを健康推進課長あてに提出しなければならない。
  - 3 前項の様式第7号の提出は、第5第2項第2号、第3号については省略することができる。

(利用状況の報告)

- 第11 健康推進課長は、定期的ながん情報資料の利用状況について、石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会に報告しなければならない。

(主管部局)

- 第12 主管部課は、石川県健康福祉部健康推進課とする。

(その他)

- 第13 健康推進課長は、本取扱要領に記載のない申請事項については、関係機関と協議して定める。

附則：この細則は平成16年1月30日から施行する。

附則：この細則は平成16年9月1日から施行する。

附則：この細則は平成17年4月1日から施行する。

附則：この細則は平成18年9月1日から施行する。

## 別 表

国際疾病分類	種 別
C16	胃の悪性新生物
C18	結腸の悪性新生物
C20、C19、C21	直腸、直腸S字結腸移行部及び肛門の悪性新生物
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物
C23、C24	胆のう(嚢)及び肝外胆管の悪性新生物
C25	膵の悪性新生物
C33、C34	気管、気管支及び肺の悪性新生物
C50(女)、D05(女)	女性乳房の悪性新生物
C55、C53、C54、D06	子宮の悪性新生物
C73	甲状腺の悪性新生物

### <資料4> 石川県地域がん情報管理事業業務区分

- 1 石川県健康福祉部健康推進課の業務
  - (1) がん情報に関する報告書の作成、公表
  - (2) 石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会の事務
  - (3) 登録資料利用の事務
  - (4) 石川県地域がん情報管理事業の関係機関等との連絡調整
  - (5) 届出票等の作成
  - (6) 委託業務の管理
  
- 2 石川県医師会の業務
  - (1) 医療機関に対する届出の依頼及びその体制の確立
  - (2) 届出票の受理及び保管
  - (3) 届出票の検査
  - (4) 届出票の内容に関する医療機関への照会及び訂正
  - (5) 届出情報の入力
  - (6) 登録資料利用の事務
  - (7) 医療機関への届出票等の配布
  - (8) 医療機関への届出謝金の支払
  - (9) 委託業務の報告
  
- 3 石川県及び金沢市の保健所の業務
  - (1) 保健所管内におけるがんに関わる死亡情報の入力及び送付
  - (2) 死亡情報の確認
  
- 4 石川県保健環境センターの業務
  - (1) 情報システムの運用管理
  - (2) 情報の集計、解析、検索
    - ① 年間届出数
    - ② 罹患数(罹患率)
    - ③ 死亡者数(死亡率)
    - ④ 生存率
    - ⑤ 入院率
    - ⑥ 治療方法
    - ⑦ その他公衆衛生学的解析に必要な事項
  - (3) 報告資料の作成
  - (4) 情報の保管

1 障害対策

医師会側の入力情報の障害対策として、悪性新生物届出データをコンピュータ本体の記憶装置から1ヶ月に1回はフロッピーディスクに退避させておくものとする。

2 セキュリティー対策

セキュリティ対策は、次のとおりとする。

(1) 医師会側のシステム及び操作

①システムの起動

医師会側システムは、石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領第2の2の係員ごとに保持する個人用IDフロッピーディスクをセットし、個人パスワードを正しく入力しない限り起動しないものとする。

②情報処理の開始

起動後の情報処理は、システムパスワードを正しく入力しない限り開始されないものとする。

③保健所側データの解読

保健所側より届くデータフロッピーは、キーワードを正しく入力しない限り解読されないものとする。

④出力

医師会側より石川県保健環境センターへのデータフロッピーは、キーワードを付して送付するものとする。

(2) 保健所側のシステム及び操作

①システムの起動

保健所側システムは、パスワードを正しく入力しない限り起動しないものとする。

②出力

保健所側より医師会へのデータフロッピーは、暗号化して送付するものとする。

(3) 石川県保健環境センター側のシステム及び操作

医師会側より届くデータフロッピーは、キーワードを正しく入力しない限り解読されないものとする。



## 石川県生活習慣病検診等管理指導協議会設置要綱

### (目的)

第1条 石川県生活習慣病検診等管理指導協議会(以下、「協議会」という。)は、健康診査管理指導等事業実施のための指針(平成10年3月31日付老健第65号厚生省老人保健福祉局老人保健課長通知)(以下、「指針」という。)に基づき設置し、がん、心臓病、脳血管疾患等の生活習慣病の動向把握、並びに市町及び健診機関に対する検診の実施方法や精度管理、情報の利用等のあり方について、専門的な見地から適切な指導を行うことを目的とする。

### (構成)

第2条 協議会には、次の部会(以下、「部会」という。)を設け、所掌事務を協議する。

- (1) 循環器疾患等部会
- (2) 胃がん部会
- (3) 子宮がん部会
- (4) 肺がん部会
- (5) 乳がん部会
- (6) 大腸がん部会
- (7) がん登録・評価等部会

### (所掌事務)

第3条 協議会は、各部会における健康診査管理事業のあり方の検討及び報告の取りまとめを行う。

2 各部会の所掌事務は、指針の第3に規定する各部会の運営方針による。

### (委員及び部会委員の委嘱等)

第4条 協議会及び部会委員は、次の各号に掲げる者のうちから健康福祉部長が委嘱又は任命し、それぞれ15名以内の委員をもって構成する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 石川県医師会が推薦する者
- (3) 関係団体が推薦する者
- (4) 行政機関の職員
- (5) その他部長が必要と認める者

### (委員の任期)

第5条 協議会及び部会の委員の任期は、2年とする。

2 前項の委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (会長等)

第6条 協議会には、会長及び副会長を各1名置く。

2 協議会の会長及び副会長は、健康福祉部長が指名する。

3 各部会には、部会長及び副部会長を各1名置く。

4 各部会の部会長及び副部会長は、健康福祉部長が指名する。

5 会長及び部会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

6 副会長及び副部会長は、それぞれの会長及び部会長を補佐し、会長及び部会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議の招集)

第7条 会議は、協議会にあつては会長が、部会にあつては各部会長が招集する。  
また、委員の半数以上の出席をもって、会議は成立するものとする。

(庶務)

第8条 協議会、及び部会の庶務は、石川県健康福祉部健康推進課において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、協議会及び各部会の運営に関して必要な事項は  
会長及び部会長が定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成18年9月1日から施行する。

<資料7> 石川県生活習慣病検診等管理指導協議会委員名簿

石川県生活習慣病検診等管理指導協議会

(任期:平成20年8月31日まで)

区 分	氏 名	職 名	備 考
学 識 経 験 者	馬 潤 宏	金沢大学大学院医学系研究科脂質研究講座特任教授	
"	磨 伊 正 義	金沢大学名誉教授	
"	井 上 正 樹	金沢大学大学院医学系研究科教授(分子移植学)	
"	佐 川 元 保	金沢医科大学教授(呼吸機能治療学)	
"	野 口 昌 邦	金沢大学医学部附属病院乳腺科特任教授	
"	高 島 茂 樹	金沢医科大学病院長	
"	中 川 秀 昭	金沢医科大学教授(健康増進予防医学)	
石 川 県 医 師 会 推 薦	加 藤 義 博	石川県医師会副会長	
"	中 村 彰	石川県医師会理事	
そ の 他 の 関 係 機 関 推 薦	素 谷 宏	石川県成人病予防センター理事長	
行 政 機 関	越 田 理 恵	金沢市保健衛生課担当課長	
"	川 島 ひ ろ 子	石川県保健所長会会長	

がん登録・評価等部会

(任期:平成20年8月31日まで)

区 分	氏 名	職 名	備 考
学 識 経 験 者	中 川 秀 昭	金沢医科大学教授(健康増進予防医学)	部会長
"	磨 伊 正 義	金沢大学名誉教授	
"	尾 島 茂 樹	金沢大学大学院法務研究科教授	
"	越 島 久 弥	弁護士	
石 川 県 医 師 会 推 薦	中 村 彰	石川県医師会理事	副部会長
"	大 平 政 樹	石川県医師会理事	
"	倉 西 久 雄	石川県医師会がん登録担当	
そ の 他 の 関 係 機 関 推 薦	橋 本 琢 磨	金沢社会保険病院院長	
"	素 谷 宏	石川県成人病予防センター理事長	
行 政 機 関	越 田 理 恵	金沢市保健衛生課担当課長	
"	林 哲 夫	石川県保健薬検センター所長	
"	柴 田 裕 行	石川県能登北部保健福祉センター所長	

秘 石川県悪性新生物届出票

提出用

- 届出対象者は県内に住所を有する者とします。
- 届出対象となる悪性新生物(がん)は、原発部位が以下のものです。
  - 胃
  - 結腸
  - 直腸
  - 肝
  - 胆道(胆のうを含む。)
  - 膵
  - 肺(左・右・両方)
  - 女性乳房(左・右・両方)
  - 子宮(部位不明・頸部・体部)
  - 甲状腺
- 届出時期は以下のとおりです。速やかに届出してください。
  - 診断時 初発・再発、通院・入院を問わず、貴院にてがんの疑診あるいは確診とされた時
  - 退院時(死亡退院も含む。)
  - 届出内容変更時 診断名変更(取り消しも含む。),「疑診」から「確診」に変更など。ただし、診断名変更の場合は、旧診断名も記入してください。また、変更のない項目は斜線を引いてください。
- 同一患者に2つ以上のがんが発生した場合(転移性は除く。 )には、それぞれにつき届出票を出してください。
- がん患者が在宅死亡した場合も届出が必要です。なお、前医がわかれば「意見欄」にその医療機関名及び主治医名を記入してください。
- 届出時点で記入できない欄は、斜線を引いてください。
- 記入に際しては「記入・届出上の留意事項」を参照してください。  
 なお、ポリペクトミーの有無については、治療目的で行ったものに関して記入してください。

平成 年 月 日記入

フリガナ	生 年 月 日		1 男	届出時期	1 診断時
患者氏名	1 明 2 大 3 昭 4 平 年 月 日		2 女		2 退院時 (死亡退院も含む。)
住 所	石川県	市・郡	町・村	番地	3 届出内容変更時
診 断 名	※	旧診断名	1 初 発 2 再 発	1 確 診 2 疑 診	
原 発 部 位	1 胃 2 結腸 3 直腸 4 肝 5 胆道(胆のうを含む。 ) 6 膵 7 肺( 左 右 両方 ) 8 女性乳房( 左 右 両方 ) 9 子宮( 部位不明 頸部 体部 ) 10 甲状腺			貴院での 診断年月日	年 月 日
病巣のひろがり ( 診 断 時 )	1 早期(上皮内がんを含む。) 進行がん( 2 限局性 3 所属リンパ節転移 4 隣接臓器浸潤 5 遠隔転移) 6 不 明				
貴 院 で の 診 断 方 法	① エックス線( 1 した、 2 していない) ④ C T( 1 した、 2 していない) ⑦組織診( 1 した、 2 していない) ② 超 音 波( 1 した、 2 していない) ⑤ 内視鏡( 1 した、 2 していない) ⑧手 術( 1 した、 2 していない) ③ R I ( 1 した、 2 していない) ⑥ 細胞診( 1 した、 2 していない) ⑨その他( )				
組 織 診 断 名	※				
来 院 の 動 機 ( 検 診 が 動 機 の 場 合 は 3、 4、 5)	1 貴院へ直接受診(検診関係を除く) 2 他院からの紹介(検診関係を除く) 3 施設検診 4 集団検診後の精密検査 5 健康診断(ドックを含む) 6 その他 7 不明			自覚 症状	1 有 2 無 3 不明
診 断 後 の 指 示	1 貴院で再検査又は加療 2 他院へ紹介( 病医院へ 年 月 日 紹介)				
貴 院 で の 治 療 方 法	① 入院 { 1 した( 年 月 日 ~ 年 月 日)、 2 していない } 貴院での前回入院( 1 あり、 2 なし) ② 手術( 年 月 日、 1 治癒切除 2 非治癒切除 3 その他)、 4 手術していない ポリペクトミー { 1 した(a 治癒切除 b 非治癒切除) 2 していない } ③ 放射線療法( 1 した、 2 していない) ⑤ ホルモン療法( 1 した、 2 していない) ⑦ 対症療法のみ( 1 した、 2 していない) ④ 化学療法( 1 した、 2 していない) ⑥ 免疫療法( 1 した、 2 していない) ⑧ その他( )				
退 院 時 の 指 示 及 び 転 帰	1 治療終了(経過観察を含む。 ) 2 貴院で通院加療継続 3 他院へ紹介( 病医院へ 年 月 日 紹介) 4 原病死( 年 月 日) 5 他病死( 年 月 日)			剖 検	1 有 2 無
意 見 欄					

医療機関 所在地  
名称・診療科  
電 話 番 号  
届 出 医 師 名

整理番号(貴院カルテ番号)

※ 受付年月日	年	月	日	
登録年月日	年	月	日	登録番号

※欄は記入しないでください。

## 記入・届出上の留意事項

項 目	内 容
共 通 事 項	記入は、該当する算用数字に○印を付け、それ以外は具体的に記入してください。ただし、届出時点で記入できない欄は斜線を引いてください。
届 出 対 象 者	県内に住所を有する者を対象とします。
届出対象となるがん	届出対象となるがんは、原発部位が以下のものです。 1 胃 2 結腸 3 直腸 4 肝 5 胆道(胆のうを含む)。 6 膵 7 肺(左右両方) 8 女性乳房(左右両方) 9 子宮(部位不明・頸部・体部) 10 甲状腺
患 者 氏 名	氏名は漢字で、フリガナは正しい読み方を確認のうえ記入してください。
住 所	現住所を番地まで正確に記入してください。
届 出 時 期	1 診 断 時 初発・再発、通院・入院を問わず、貴院にてがんの疑診あるいは確診とされた時をいい、速やかに提出してください。 2 退院時(死亡退院も含む。) 3 届出内容変更時 診断名変更(取り消しも含む。),「疑診」から「確診」に変更などの場合です。ただし、診断名変更の場合は、旧診断名も記入してください。また、変更のない項目は斜線を引いてください。
診 断 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん又は肉腫が原発したと考えられる臓器名を詳しく記入してください。</li> <li>・診断名は、必ず日本語で記入してください。</li> <li>・同一患者に2つ以上のがんが発生した場合、転移性によるものを除き、それぞれにつき届出してください。</li> <li>・結腸又は直腸に2つ以上のがんが発生した場合は、上行・横行・下行・S状結腸、直腸、肛門等を異なる部位として、それぞれにつき届出してください。</li> <li>・両側性の臓器(肺・乳房)の場合は、左右どちらか又は両方かを明記してください。</li> </ul>
旧 診 断 名	診断名変更時の届出の場合に、前回届出の診断名を記入してください。
初 発 ・ 再 発	1 初 発 再発や転移でないと判断されるものです。 2 再 発 貴院において、臨床的に治癒状態にあったもので、その後原発がんに関連するがんの発生があった場合です。
原 発 部 位	4 肝 肝原発及び肝内胆管を指します。 5 胆 道 胆のう及び肝外胆管を指します。
貴院での診断年月日	前医での診断の有無にかかわらず、貴院でがんと診断した日を記入してください。
病 巣 の ひ ろ が り (診断時)	6 不 明 届出時点で病巣のひろがり不明な場合です。

項 目	内 容
貴院での診断方法	① ～ ⑧ すべての項目について、(1 した、2 していない)の該当する番号に○印を付けてください。 ⑨ そ の 他 具体的に記入してください。
組 織 診 断 名	がんの病理組織所見を記入してください。 組織診断名が不明の場合は斜線を引いてください。
来 院 の 動 機	3 ～ 5 検診で発見された場合に○印を付けてください。 3 施設 検 診 市町村又は職場が行う医療機関での検診をいいます。
貴院での治療方法	① ～ ⑧ 貴院で行った治療に関してのみ、お答えください。 ① 入 院 入院した場合は、入院年月日、退院年月日を記入してください。 貴院での前回入院の有無を記入してください。 ② 手 術 貴院で手術した場合は、手術実施年月日を記入してください。 1 治癒切除……………腫瘍を完全に摘除しえた時 2 非治癒切除………不完全切除に終わった時 3 その他……………根治手術不能例に対して症状軽減若しくは延命効果を目的とした一手段として行った場合又は試験開腹等 ポリペクトミーは手術に含めないものとし、治療目的で行ったものに関して記入して下さい。 ⑦ 対症療法のみ 他の治療を一切せず、対症療法のみを行った場合です。 ⑧ そ の 他 具体的に記入してください。
退院時の指示及び 帰	3 他院へ紹介 病医院名、紹介日を記入してください。 4 原 病 死 診断名欄に記載した悪性新生物の進行、増悪によって死亡したものです。 5 他 病 死 届出以外のがん又は脳血管障害など他の因子によることが明らかかなものです。
意 見 欄	連絡欄として活用ください。 がん患者が在宅死亡した場合、前医がわかれば、その医療機関名及び主治医名を記入してください。
医 療 機 関	所在地、名称・診療科名、電話番号、届出医師名を記入してください。 整理番号（貴院カルテ番号）により、記載内容について問い合わせることがありますので、患者（カルテ）番号を記入してください。

<資料9>

平成16年度石川県がん情報管理事業におけるがん登録届出医療機関名  
(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

地区	医療機関名	届出数
金沢	うきた病院	4
	金沢市立病院	99
	金沢社会保険病院	58
	金沢西病院	25
	古川医院	1
	国立金沢病院	321
	石川県済生会金沢病院	26
	鈴木レディースホスピタル	1
	丘村クリニック	2
	石川県立中央病院	110
	大平胃腸科外科クリニック	6
	藤田内科胃腸科医院	1
	映寿会みらい病院	55
	城北病院	6
	斉藤内科倉西外科医院	1
石川県成人病予防センター	164	
加賀	公立加賀中央病院	252
	山下医院	5
	上田医院	4
	板谷医院	16
	蓮井医院	3
小松	やわたメディカルセンター	9
	森田病院	2
	神足産婦人科	1
能美	根上総合病院	76
	辰口芳珠記念病院	141

地区	医療機関名	届出数
石川 松任	とみたクリニック	2
	公立松任石川中央病院	175
	新村病院	13
	大倉外科医院	1
	牧野医院	1
	松南病院	5
河北	金沢医科大学病院	332
	二ツ屋病院	14
羽咋	公立羽咋病院	3
	西村内科・胃腸科クリニック	13
	富来病院	7
	加藤病院	2
	村上産婦人科医院	1
	平場内科クリニック	3
七尾	恵寿総合病院	68
	円山病院	4
輪島	公立穴水総合病院	38
	伊藤医院	4
珠洲	升谷病院	37
合計		2,112

【参考:平成15年度届出数 2,253件】

<注> これは上記期間中に届出を受け付けた件数であるので、平成15年度に診断されたとしても、平成16年度中に届出票が提出されると平成16年度分の報告となる。

石川県におけるがん登録  
(平成 16 年標準集計・平成 12 年罹患者生存率集計)

平成 20 年 3 月発行

発行 石川県健康福祉部健康推進課  
石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地  
電話 076(225)1436

集計・解析 石川県保健環境センター  
石川県太陽が丘 1-11  
電話 076(229)2011